

HD ビデオカメラ

# EOS C100

## 使用説明書

Firmware ver. 1.0.8.1.00

Firmware ver. 2.0.9.1.00



HDMI AVCHD

はじめに

準備

撮影

カスタマイズ

再生

接続

静止画

メニュー

その他

# 本機の特長

C100は、スーパー 35mm相当単板CMOSイメージセンサーを搭載。有効画素数約829万画素（3840×2160）のフルピクセルのHD収録に対応し、記録メディアにSDカードを採用した高画質なHDビデオカメラです。

## 高画質HD記録システム

### 829万画素、スーパー 35mm相当単板CMOSと高画質映像エンジン「DIGIC DV Ⅲ」を搭載

有効画素数約829万画素（3840×2160）のスーパー 35mm相当単板式CMOSイメージセンサーと映像エンジン「DIGIC DV Ⅲ」を搭載して、中心解像度1000TV本\*を実現しています。また、高速読み出しによってローリングシャッターひずみを大幅に抑え、低ノイズで鮮やかな色再現、豊かな階調性を実現しました。

\* 取り付けるレンズによって異なります。

### EFレンズに対応

EFレンズマウントを搭載したC100では、キヤノンのEFレンズやEFシネマレンズなど、さまざまなEFマウント対応レンズを使用可能。多彩な映像表現を実現します。

### さまざまな記録信号形式に対応（□ 61）

ビットレート（24 Mbps LPCM、24 Mbps、17 Mbps、7 Mbps）、解像度（1920×1080、1440×1080）、フレームレート（60i、50i、PF30、PF25、PF24、24P）の組合せによって24種類の信号形式で映像を記録できます。24 Mbps LPCMで撮影すると、音声はリニアPCM（16ビット、48kHz）の2チャンネル記録が可能です。

## 優れた機動力と汎用性

### カスタマイズの自由度が高いボディーデザイン（□ 32）

最小幅の抱え持ちスタイルで使用できる本体ボディーに、着脱可能なハンドルユニット、グリップを撮影状況に応じて組み合わせて使用可能。ハンドルユニットを装着すると、XLR端子やマイクホルダーなど、オーディオ仕様も充実。ワンマンオペレーションをサポートします。角度調整が可能なグリップは、さまざまなアングルの撮影にも柔軟に対応できます。

### 視野率100%の液晶画面とファインダー

3.5型の高精細約92.2万ドット相当の液晶画面と約155.5万ドット相当の0.24型ファインダー。100%の視野率で、確実にフレーミングを確認できます。

### 汎用性の高いSDカードを採用

記録メディアに入手しやすく汎用性の高いSDカードを採用。コストパフォーマンスの高い運用が可能です。また、2つのSDカードスロットを搭載し、一方のSDカードがいっぱいになったら自動的に他方のSDカードへ記録したり、同じ映像を同時に記録したりすることができます。

### ワンマンオペレーションに適した充実のオート機能（□ 73、78、80）

ボタンを押しているあいだ、絞りを自動的に調整するPUSH AUTO IRIS。常に適切なホワイトバランスになるよう自動的に調整するオートホワイトバランス。ボタンを押すと、フォーカスを自動的に調整するONE-SHOT AFを搭載。アイリス、ホワイトバランス、フォーカス調整をアシストします。

---

## 制作意図に応える多彩な表現力

### プロの画づくりを実現するカスタムピクチャー (□ 115)

ガンマやカラーマトリクスなどの画質調整により、制作意図に応じた自由な画づくりが可能。ガンマとホワイトバランスは、グラフィカルな表示を採用し、より直感的に画質を調整できます。設定はSDカードに保存して複数のC100で共有することもできます。

### シネマ撮影に適したCanon Logガンマ (□ 60)

「**CP** CINEMA固定」を使えば、映画撮影用の設定を簡単に行えます。Canon Logガンマによって撮像素子の特性を十分に引き出し、広いダイナミックレンジを確保したポスト処理ができます。

---

## 業務用途に対応する拡張性

### タイムコード生成と重畳出力 (□ 88、91、178)

内蔵のタイムコードジェネレーターでタイムコードを生成できます。生成したタイムコードは、映像とともにSDカードに記録されるほか、HDMI OUT端子に出力される映像にも表示されます。また、HDMI出力に、タイムコードやユーザービットを重畳することができます。

### 快適な操作環境を実現するカスタマイズ機能

40種類の機能から使用頻度の高いものを15個のアサインボタンに割り当て可能。よく使うメニュー項目をあらかじめ登録して使用したり（マイメニュー）、各種機能の設定を変更して好みの操作性に合わせたり（カスタムファンクション）、画面上の表示項目をカスタマイズしたり（カスタムディスプレイ）することも可能です。さらに、これらのカスタマイズ設定を含むすべてのメニュー設定やカスタムピクチャー設定をSDカードに保存／読み出しできるので、複数のC100と設定を共有できます。

---

## 使いやすさを向上させるさまざまな機能

- 残量の目安や寿命（劣化度）を確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリー (□ 22)。
- 電源ONのままバッテリー交換を可能にする、DC IN端子。
- ハンドルユニット上部にアクセサリを取り付け可能な1/4インチハンドルネジ。
- ファンタム電源供給 (+48V) に対応した音声入力用外部XLR端子 (□ 92)。
- 防振構造を採用した外部マイクホルダーと外部マイク用ケーブルクランプ。
- 撮影中であることをどこからでも確認できる前部／後部タリーランプ。
- 明るさをチェックする波形モニター (WFM) とフォーカスをアシストするエッジモニターを搭載 (□ 103)。
- 撮影した映像を手軽にMPEG-2データに変換。

# Contents

本機の特長.....	2
本書の読みかた.....	8

## はじめに

商品を確認する.....	10
各部の名称.....	11
本体の名称.....	11
グリップの名称.....	17
ハンドルユニットの名称.....	18

## 準備

電源を準備する.....	22
バッテリーを使う.....	22
コンセントにつないで使う.....	25
電源を入れる／切る.....	26
日時を設定する.....	27
日付と時刻を設定する.....	27
撮影中に日時を表示する.....	27
メニューで設定を変える.....	28
メニュー操作の基本.....	28
マイメニューを使う.....	30
カメラを準備する.....	32
本機の構成例.....	32
レンズを準備する.....	34
ハンドルユニットを取り付ける.....	38
ファインダーの視度を調整する.....	39
液晶画面を使う.....	40
液晶画面／ファインダーを調整する.....	41

本体を三脚に取り付ける.....	42
グリップを取り外す／取り付ける.....	43
ストラップを取り付ける.....	44
端子カバーを取り外す／取り付ける.....	45
内蔵冷却ファン.....	45
SDカードを準備する.....	46
使用可能なSDカード.....	46
SDカードを入れる／出す.....	47
初期化する.....	48
記録／再生に使用するSDカードスロットを切り換える.....	49
SDカードスロット記録方式を選ぶ.....	50
SDカードの記録可能時間を確認する.....	50
SDカードを修復する.....	51
ブラックバランスを調整する.....	52

## 撮影

動画を撮影する.....	54
準備する.....	54
撮影する.....	55
撮影時の画面表示.....	58
CINEMAプリセットとCanon Log.....	60
Canon Log使用時の映像を画面で確認する(ビューアシスト).....	60
映像の信号形式を選ぶ.....	61
システム周波数を選ぶ.....	61
ビットレートを選ぶ.....	62
フレームレートを選ぶ.....	62
ジョイスティックで機能を設定する.....	63
シャッタースピードを調整する.....	64
設定可能なシャッタースピード.....	64
モードを選択して調整する.....	65

「安全上のご注意」と「取り扱い上のご注意」を必ずお読みください(199～204ページ)。

フリッカーを抑える.....	67
ISO感度/ゲインを調整する.....	68
設定可能な値.....	68
モードを選択して調整する.....	68
NDフィルターを切り換える.....	70
アイリスを調整する.....	71
オートで調整する.....	71
マニュアルで調整する.....	72
露出を調整する.....	73
測光方式を設定する.....	74
ホワイトバランスを調整する.....	75
ホワイトバランスセットで調整する.....	75
プリセット設定/色温度設定で調整する.....	77
オートホワイトバランスで調整する.....	78
フォーカスを調整する.....	79
レンズのフォーカシングで調整する.....	79
ONE-SHOT AF(ワンショットAF).....	80
コンティニユアスAF.....	80
フォーカスアシスト機能を使う.....	82
ズームを操作する.....	84
マーカー/ゼブラパターンを表示する.....	85
マーカーを表示する.....	85
ゼブラパターンを表示する.....	86
タイムコードを設定する.....	88
カウントアップ方式を選ぶ.....	88
ドロップフレーム/ノンドロップフレームを 切り換える.....	89
タイムコードを保持する(タイムコードホールド)...	90
ユーザービットを設定する.....	91
任意の16進数を設定する.....	91
時刻または日付を設定する.....	91
ユーザービットを出力する.....	91
音声を記録する.....	92
外部マイク/外部ライン入力機器を本機に 接続する.....	93

内蔵マイク/Φ3.5mmマイクの音声を選擇する.....	94
内蔵マイク/Φ3.5mmマイクの録音レベルを 調整する.....	94
外部マイク(XLR端子)/外部ライン入力 (XLR端子)の音声を選擇する.....	97
XLR端子の録音レベルを調整する.....	98
ヘッドホンでモニターする.....	100
カラーバー/テストトーンを記録する.....	101
カラーバーを記録する.....	101
テストトーンを記録する.....	102
波形モニターを表示する.....	103
モニター表示を選ぶ.....	103
波形モニター(Waveform Monitor)のタイプを 選ぶ.....	103
エッジモニター(Edge Monitor)のタイプを選ぶ....	104
レックレビューで確認する.....	105
直前に撮影した映像を確認する.....	105
プレ記録を行う.....	106
常時記録を行う.....	107
リモートコントローラー RC-V100(別売)を使う.....	109

## カスタマイズ

アサインボタンの機能を変更する.....	112
機能を変更する.....	114
アサインボタンに割り当てた機能を使う.....	114
カスタムピクチャーを使用する.....	115
カスタムピクチャーファイルを登録する.....	116
撮影に使用するカスタムピクチャーファイルを 選ぶ.....	118
カスタムピクチャーファイルをコピーする.....	119
カスタムピクチャーの設定項目.....	121
ガンマカーブ、色平面を見ながら調整する.....	127

機能や表示をカスタマイズする .....	128
カスタムファンクションで設定できる項目 .....	128
カスタムディスプレイで設定できる項目 .....	128
設定データの保存と読み出し .....	129
設定データをSDカードに保存する .....	129
設定データをSDカードから読み込む .....	129

## 再生

クリップを再生する .....	132
インデックス画面 .....	132
再生する .....	134
クリップを操作する .....	137
クリップメニューで操作する .....	137
クリップをコピーする .....	138
クリップ/ショットを消去する .....	139
SD動画に変換(ダウンコンバート)する .....	140
SD動画を消去する .....	141

## 接続

出力信号形式 .....	144
映像信号形式と出力信号形式 .....	144
外部モニターを接続する .....	145
接続のしかた .....	145
HDMI OUT端子を使用する .....	146
コンポジット出力端子を使用する .....	146
SD出力時の表示方式を選ぶ .....	147
出力映像に画面表示を重畳する .....	148

音声出力を選択する .....	149
映像と音声のタイミングを選ぶ (モニターディレイ) .....	149
音声出力チャンネルを選ぶ .....	149
AV OUT端子の音声出力レベルを選ぶ .....	150
クリップをパソコンに保存する .....	151

## 静止画

静止画を記録する .....	154
カメラモードで静止画を記録する .....	154
記録した動画から静止画を切り取る .....	155
静止画を再生する .....	156
静止画インデックス画面を表示する .....	156
再生する .....	156
静止画を操作する .....	158
静止画メニューで操作する .....	158
静止画をコピーする .....	158
静止画を消去する .....	160
カスタムピクチャーファイルをコピーする .....	162

## メニュー

メニュー一覧 .....	166
メニューの階層 .....	166
メニューの設定項目 .....	167

## その他

ステータス画面を表示する.....	182
操作のしかた.....	182
カメラステータス画面.....	183
アサインボタンステータス画面.....	184
オーディオステータス画面.....	185
メディアステータス画面.....	186
ビデオステータス画面.....	187
バッテリー／使用時間ステータス画面.....	187
カスタムピクチャステータス画面.....	188
ファイル番号をリセットする.....	190
トラブルシューティング.....	191
電源.....	191
撮影中.....	191
再生中.....	192
表示やランプ.....	193
画面や音.....	194
アクセサリ.....	195
他機.....	195
エラーメッセージ.....	196
安全上のご注意.....	199
取り扱い上のご注意.....	201
ビデオカメラ本体.....	201
バッテリー.....	202
SDカード.....	203
充電式内蔵電池.....	203
その他のご注意.....	204
日常のお手入れ.....	205
ビデオカメラ本体を清掃する.....	205
アクセサリ紹介.....	206
主な仕様.....	207
C100 本体.....	207
付属ユニット.....	209
付属品.....	210
対応レンズと機能.....	211
バッテリーの充電時間／使用時間の目安.....	212
索引.....	214
保証書と修理対応.....	219

# 本書の読みかた

## ISO感度／ゲインを調整する

映像アンプの増幅量をISO感度またはゲインで設定できます。設定時の刻み幅は、ISO感度／ゲインそれぞれ個別に設定できます。

**設定可能な値**

ISO感度	1段	設定可能な値				感度拡張時のみ*1
	1段	320**2, 400, 800, [850]*3, 1600, 3200, 6400, 12800, 20000**4				
1/3段	320, 400, 500, 640, 800, [850]*3, 1000, 1250, 1600, 2000, 2500, 3200, 4000, 5000, 6400, 8000, 10000, 12800, 16000, 20000					25600, 32000, 40000, 51200, 64000, 80000
	ノーマル (3 dB)	-6 dB, -3 dB, 0 dB, 3 dB, 6 dB, 9 dB, 12 dB, 15 dB, 18 dB, 21 dB, 24 dB, 27 dB, 30 dB				33 dB, 36 dB, 39 dB, 42 dB
ゲイン	オフライン (0.5 dB)	0 ~ 24 dB				-

\*1 カメラ設定メニュー → 「ISO/Gain」 → 「感度拡張」を「入」にするると選択できる (□ 163)。  
 \*2 刻み幅が1段のときでも最大値。画質は悪化しない。  
 \*3 1 [ ] に表記したISO感度で、Canon Logカメラに選んだダイナミックレンジを実現するために必要な感度。ゲインの3.5 dBに相当。  
 \*4 「感度拡張」が「1/2」のときのみ設定可能。

**モードを選択して調整する**

- 設定方法を選ぶ
  - カメラ設定メニュー → 「ISO/Gain」 → 「選択」を順に選択。
  - 「ISO」または「Gain」を選択 → ジョイスティックを押す。

## ISO感度／ゲインを調整する

2 設定時の刻み幅を選ぶ

「ISO」を選んだとき  
 ① カメラ設定メニュー → 「ISO/Gain」 → 「ISOステップ」を順に選ぶ。  
 ② 「1段」または「1/3段」を選ぶ → ジョイスティックを押す。

「Gain」を選んだとき  
 ① カメラ設定メニュー → 「ISO/Gain」 → 「Gain」を順に選ぶ。  
 ② 「ノーマル」または「オフライン」を選ぶ → ジョイスティックを押す。

3 値を調整する

- ISO/GAINボタンを押す。
  - 画面のISO/GAINの背景がオレンジ色になる。
  - ジョイスティックを押してISO / GAIN設定に入ることできる (□ 63)。
  - ジョイスティックを上下に押しつけて数値を選ぶ。
  - ジョイスティックを押す。
    - ISO/GAINの設定値が決定され、オレンジ色の表示が解除される。

MEMO ISO感度／ゲインを上げると画面が多少ざらつくことがあります。ISO感度／ゲインを上げると、画面に赤、緑、青の輝点が入ることがあります。このときはシャッタースピードを上げるか、ISO感度／ゲインを下げてください。  
 ● ISO感度／ゲインの切り換え時、画面にノイズが現れることがあります。撮影中は、ISO感度／ゲインを切り換えしないでください。

68

69

## POWER(電源)スイッチの位置を示すマーク

CAMERA MEDIA CAMERAにする

CAMERA MEDIA MEDIAにする

CAMERA MEDIA CAMERAかMEDIAにする

## コラムのマーク

**必ず守っていただきたいこと**

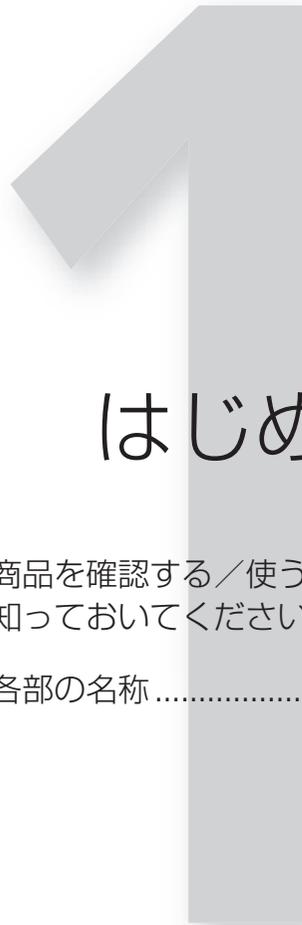
**知っておいていただきたいこと**

## 次のページに続くことを示すマーク

## 本文中の表記

- 参照ページを示す
- 参考になるページなどを示す
- 画面** ファインダーの画面、または液晶画面のこと
- SDカード** SD / SDHC / SDXCメモリーカードのこと
- カメラモード** 動画撮影モードのこと
- メディアモード** 再生モードのこと

- 音声入力端子は「CH1、CH2」と、録音するチャンネルは「チャンネル」と表記しています。
- 本書で使用しているイラストのレンズはEF24-70mm F2.8L II USMを取り付けています。また、作例写真はスチルカメラで撮影したものです。
- 本書では、見やすくするために加工した画面を一部使用しています。



# はじめに

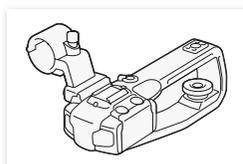
商品を確認する／使う前に 知っておいてください.....	10
各部の名称 .....	11

# 商品を確認する

C100には、次のものが付属しています。ご使用になる前に足りないものはないか確認してください。



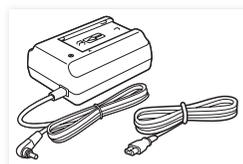
ビデオカメラ本体



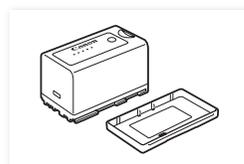
ハンドルユニット



グリップ (本体装着)



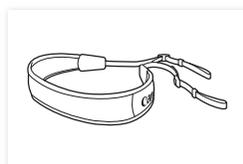
ACアダプター CA-935



バッテリーパック BP-955



ボディキャップ  
(本体装着)



ショルダーストラップ  
SS-1200



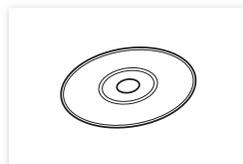
サムレスト



メジャーフック  
(1個。本体装着)



1/4インチ用三脚ベース



 **PIXELA CORPORATION**  
Data Import Utility  
(動画の取り込み用)\*

\* ソフトウェアの説明書 (PDF)が入っています。

## 使う前に知っておいてください

### 必ずためし撮りをしてください

事前に24 Mbps LPCMのビットレート (□ 61)で約15分間ためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。万一、ビデオカメラが正常に動作しないときは、「トラブルシューティング」(□ 191)をご確認ください。

### 記録内容の補償はできません

ビデオカメラやSDカードなどの不具合により、記録や再生ができなかった場合であっても、記録内容の補償はご容赦ください。

### 著作権にご注意ください

録画・録音したビデオは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

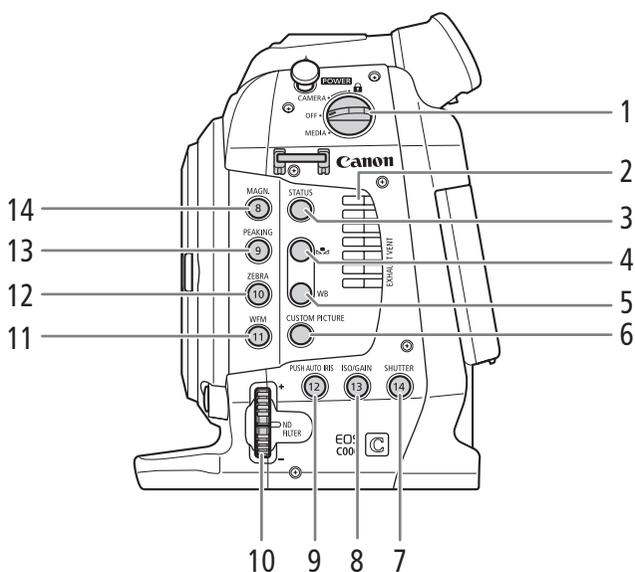
### 液晶画面について

液晶画面は精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、まれに常時点灯する画素や点灯しない画素が発生することがあります。

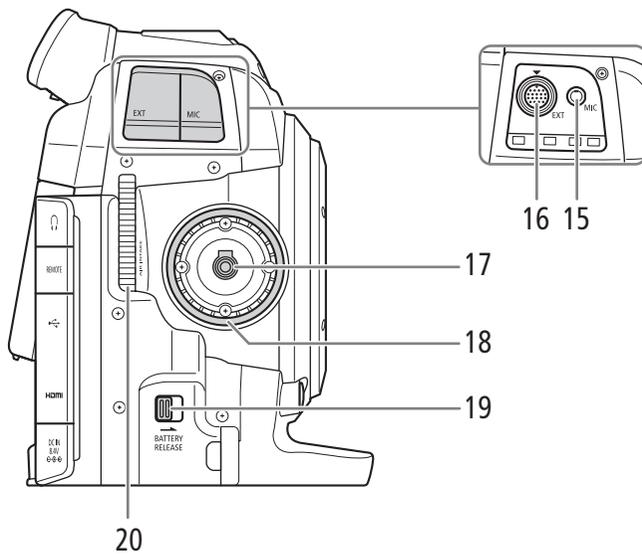
# 各部の名称

各部の機能と使いかたについては、▶▶に記載されているページをご覧ください。

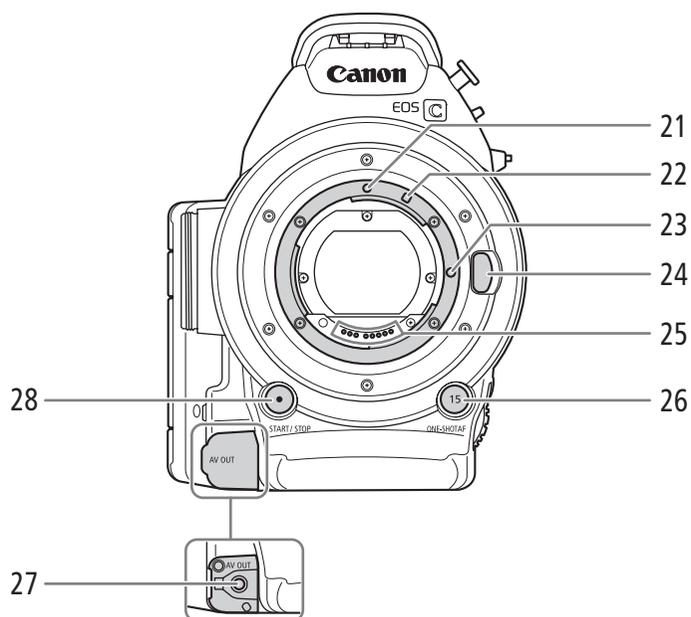
## ■ 本体の名称



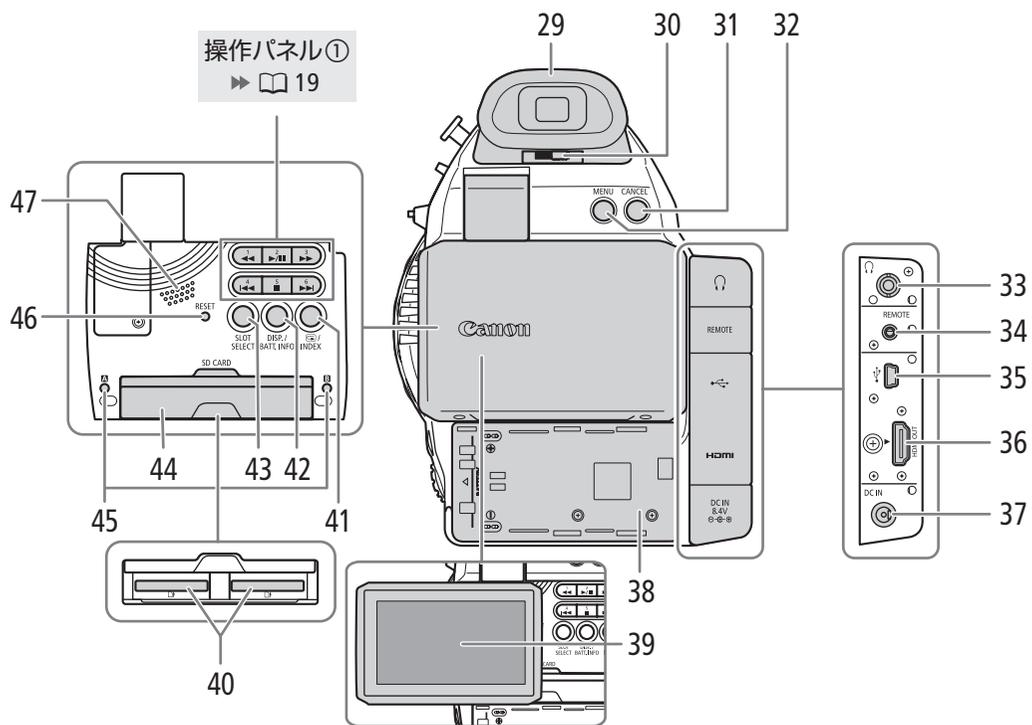
- |  |  |
|--|--|
| 1 <b>POWER</b> (電源)スイッチ ▶▶ 26                                  | 10 <b>ND FILTER</b> (NDフィルター)<br>切り換え+/-ダイヤル ▶▶ 70 |
| 2 排気口 ▶▶ 45  | 11 <b>WFM</b> (波形モニター) /<br>アサイン11ボタン ▶▶ 103、112   |
| 3 <b>STATUS</b> (ステータス)ボタン ▶▶ 182                              | 12 <b>ZEBRA</b> (ゼブラ) /アサイン10ボタン ▶▶ 86、112         |
| 4 <b>WB</b> (ホワイトバランスセット)ボタン ▶▶ 75                             | 13 <b>PEAKING</b> (ピーキング) /アサイン9ボタン<br>▶▶ 82、112   |
| 5 <b>WB</b> (ホワイトバランス)ボタン ▶▶ 75                                | 14 <b>MAGN.</b> (拡大) /アサイン8ボタン ▶▶ 82、112           |
| 6 <b>CUSTOM PICTURE</b> (カスタムピクチャー)ボタン<br>▶▶ 115               |  |
| 7 <b>SHUTTER</b> (シャッター) /<br>アサイン14ボタン ▶▶ 66、112              |  |
| 8 <b>ISO/GAIN</b> (ゲイン) /<br>アサイン13ボタン ▶▶ 68、112               |  |
| 9 <b>PUSH AUTO IRIS</b> (プッシュオートアイリス) /<br>アサイン12ボタン ▶▶ 73、112 |  |



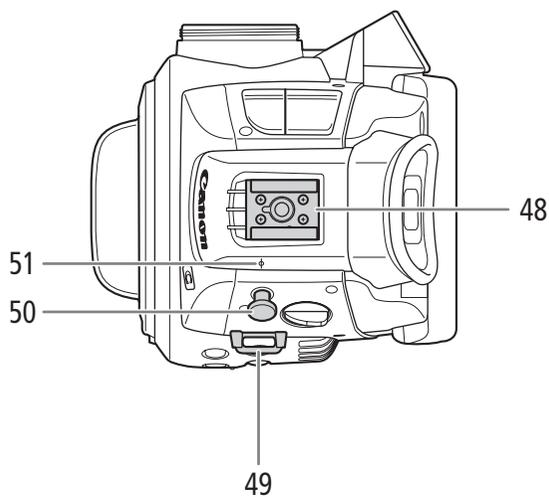
- 15 MIC(マイク)端子 ▶▶ 38
- 16 EXT端子 ▶▶ 38
- 17 グリップ接続端子 ▶▶ 43
- 18 グリップ取り付け部 ▶▶ 43
- 19 **BATTERY RELEASE**  
(バッテリー取り外しスイッチ) ▶▶ 23
- 20 吸気口 ▶▶ 45



- 21 EFレンズ取り付け指標 ▶▶ 34
- 22 EF-Sレンズ取り付け指標 ▶▶ 34
- 23 レンズロックピン
- 24 レンズロック解除ボタン ▶▶ 34
- 25 レンズ接点 ▶▶ 201
- 26 **ONE-SHOT AF**(ワンショットAF) /  
アサイン**15**ボタン ▶▶ 80、112
- 27 **AV OUT**端子 ▶▶ 145
- 28 **START/STOP**(スタート/ストップ)ボタン ▶▶ 55



- 29 ファインダー ▶▶ 19
- 30 視度調整レバー ▶▶ 39
- 31 **CANCEL**(キャンセル)ボタン ▶▶ 28
- 32 **MENU**(メニュー)ボタン ▶▶ 28
- 33 ♪(ヘッドホン)端子 ▶▶ 100
- 34 **REMOTE**(リモート)端子  
● 市販のリモコンなどを接続する。
- 35 USB端子 ▶▶ 151
- 36 **HDMI OUT**端子 ▶▶ 145
- 37 **DC IN**端子 ▶▶ 25
- 38 バッテリー装着部 ▶▶ 23
- 39 液晶画面 ▶▶ 40
- 40 SDカードスロット (**SD A** / **SD B**) ▶▶ 47
- 41 ⏪(レックレビュー)  
**INDEX**(インデックス)ボタン ▶▶ 105、133
- 42 **DISP.**(ディスプレイ)ボタン/  
**BATT. INFO**(バッテリー情報)ボタン ▶▶ 59、24
- 43 **SLOT SELECT**(スロット選択)ボタン ▶▶ 49
- 44 SDカードカバー ▶▶ 47
- 45 **SD**カードアクセスランプ (**SD A** / **SD B**)  
▶▶ 47
- 46 **RESET**(リセット)ボタン ▶▶ 194
- 47 内蔵スピーカー ▶▶ 136



48 アクセサリーシュー \*

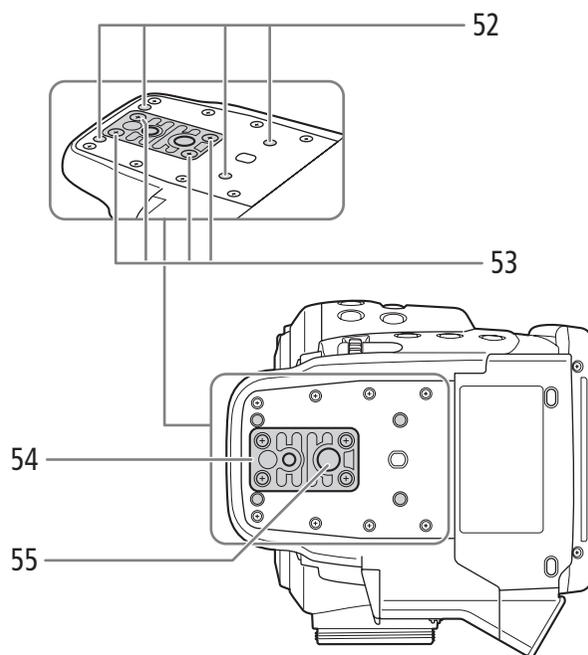
- 1/4インチネジ付き。

49 ストラップ取り付け部 ▶ 44

50 メジャーフック

- メジャーを使って撮像面からの距離を測るときに使う。

51 φ 撮像面マーク



52 別売の三脚アダプター TA-100取り付け部 ▶ 42

53 三脚ベース取り付けネジ ▶ 42

54 三脚取り付け穴

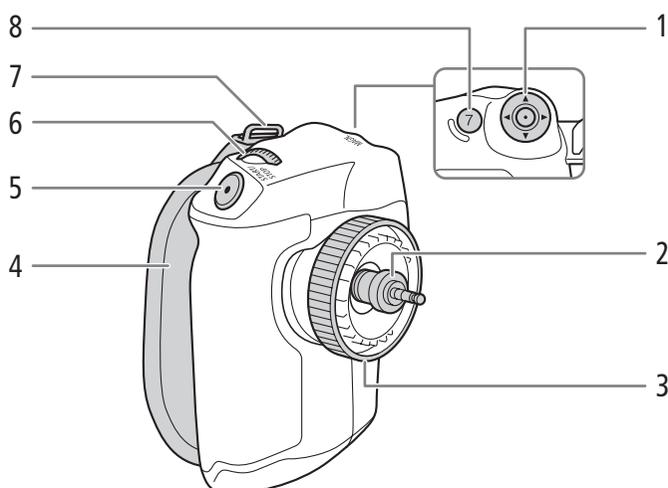
55 3/8インチネジ用三脚ベースTB1 ▶ 42

## ■ グリップの名称

ご購入時グリップは本体に取り付けられています。グリップを取り外すと、ジョイスティックを使用して行うすべての設定を操作することはできません\*。

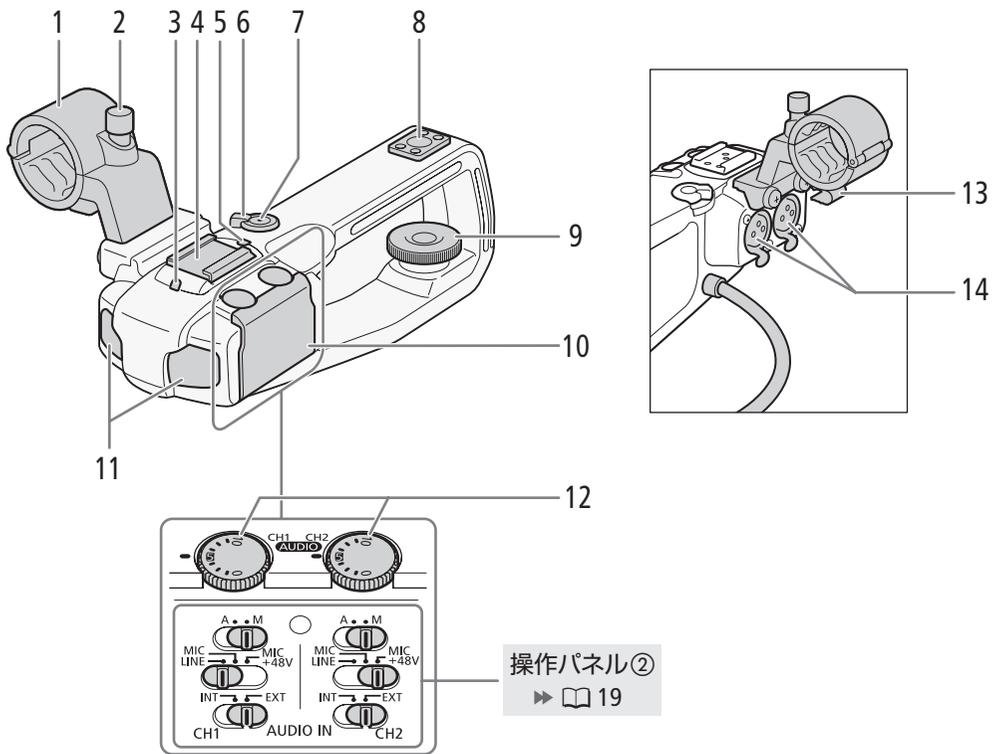
また、電子ダイヤル(□ 71)、MAGN./アサイン7ボタン(□ 82)などを使用して本機を操作することもできません。

\* MENU(メニュー)設定(□ 28、166)、ホワイトバランス、ISO感度/ゲイン、シャッタースピード設定(□ 63)、カスタムピクチャー設定(□ 115)など。静止画再生時以外は、グリップを取り外しても、アサインボタンに「上」「下」「左」「右」「SET」を割り当てることで、アサインボタンを押して設定を操作できます(□ 112)。



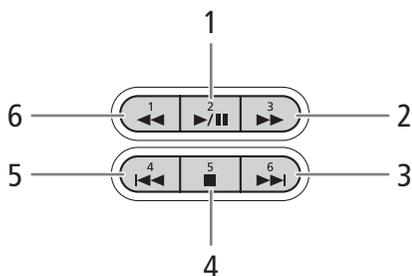
- 1 ジョイスティック ▶ □ 28
- 2 接続プラグ ▶ □ 43
- 3 取り付けネジ ▶ □ 43
- 4 グリップベルト ▶ □ 44
- 5 **START/STOP**(スタート/ストップ)ボタン ▶ □ 55
- 6 電子ダイヤル ▶ □ 72
- 7 ストラップ取り付け部 ▶ □ 44
- 8 **MAGN.**(拡大) /アサイン7ボタン ▶ □ 82、112

## ■ ハンドルユニットの名称



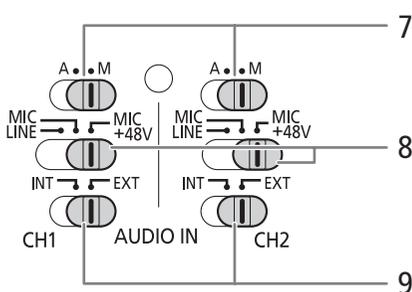
- |                                   |                                 |
|-----------------------------------|---------------------------------|
| 1 外部マイクホルダー ▶▶ 193                | 8 1/4インチハンドルネジ                  |
| 2 外部マイク固定ネジ ▶▶ 193                | 9 取り付けネジ ▶▶ 198                 |
| 3 前部タリーランプ ▶▶ 155                 | 10 AUDIO(録音レベル)カバー ▶▶ 195、198   |
| 4 アクセサリーシュー                       | 11 内蔵マイク ▶▶ 194                 |
| 5 後部タリーランプ ▶▶ 155                 | 12 AUDIO(録音レベル)調整つまみ ▶▶ 194、198 |
| 6 ロックレバー ▶▶ 157                   | 13 ケーブルクランプ ▶▶ 193              |
| 7 START/STOP(スタート/ストップ)ボタン ▶▶ 155 | 14 XLR端子 (CH1/CH2) ▶▶ 193、197   |

## 操作パネル①



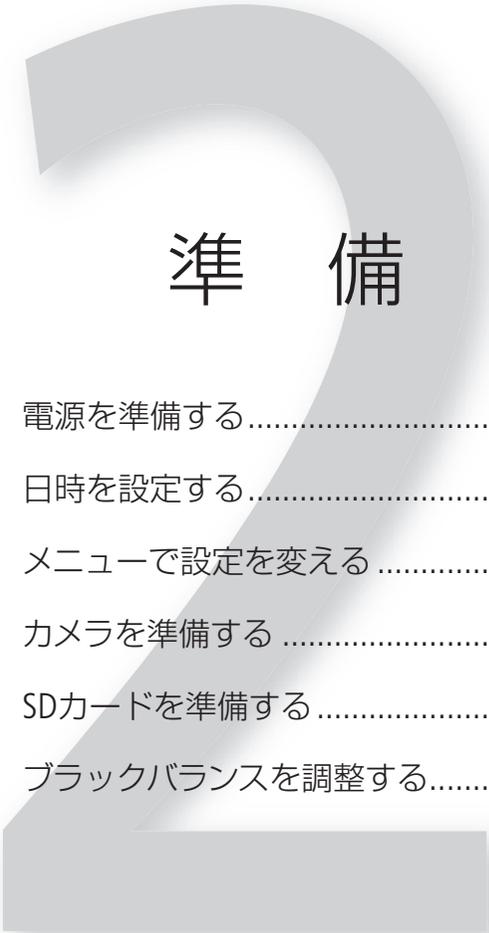
- 1 ▶/|| (再生/一時停止) /アサイン2ボタン  
▶ 134、112
- 2 ▶▶ (早送り) /アサイン3ボタン ▶▶ 136、112
- 3 ▶▶| (次スキップ) /アサイン6ボタン ▶▶ 136、112
- 4 ■ (停止) /アサイン5ボタン ▶▶ 134、112
- 5 |◀◀ (前スキップ) /アサイン4ボタン ▶▶ 136、112
- 6 ◀◀ (早戻し) /アサイン1ボタン ▶▶ 136、112

## 操作パネル②



- 7 **AUDIO** (録音レベル) 切り換えスイッチ (CH1/CH2) ▶▶ 98
- 8 XLR端子切り換えスイッチ (CH1/CH2) ▶▶ 97
- 9 **AUDIO IN** (音声入力) 切り換えスイッチ (CH1/CH2)  
▶▶ 94、97





# 準備

電源を準備する.....	22
日時を設定する.....	27
メニューで設定を変える.....	28
カメラを準備する.....	32
SDカードを準備する.....	46
ブラックバランスを調整する.....	52

# 電源を準備する

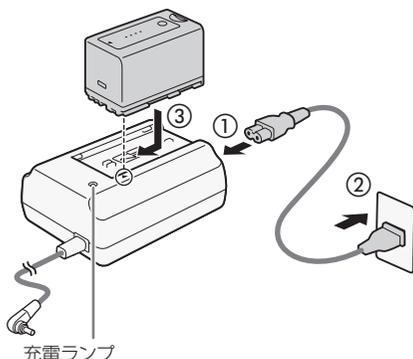
電源は、バッテリーまたはコンセントから使用します。バッテリーが取り付けられている状態で、家庭用コンセントに接続するとコンセントからの電源で動作します。バッテリーは充電してから使います。

## ■ バッテリーを使う

本機は、バッテリーパックBP-955(付属)を使用できます。インテリジェントシステムに対応していますので、残量を確認することができます。

### 充電する

付属のACアダプターを使って充電します。バッテリーパックを使うときは、ショート防止用端子カバーを取り外します。(P202)



	1秒間に1回点滅 → 0 ~ 34%
	1秒間に2回点滅 → 35 ~ 69%
	1秒間に3回点滅 → 70 ~ 99%

- 1 ACアダプター(付属)のDCプラグをビデオカメラ本体のDC IN端子に接続しているときは、DCプラグを抜く
  - DCプラグがビデオカメラ本体に接続されていると、バッテリーパックの充電はできない。
- 2 ACアダプターに電源コードを差し込む(①)
- 3 電源プラグをコンセントに差し込む(②)
- 4 バッテリーパックの先端を▼に合わせて、押し付けながらカチッと音がするまでスライドさせる(③)
  - 充電ランプが点滅して、充電が始まる。
  - 充電中は、充電ランプの点滅のしかたで充電量(目安)を確認できる。点滅→点灯に変わったら充電終了。
- 5 バッテリーパックをスライドさせて、取り外す
- 6 電源プラグをコンセントから抜き、電源コードをACアダプターから抜く



### ご注意

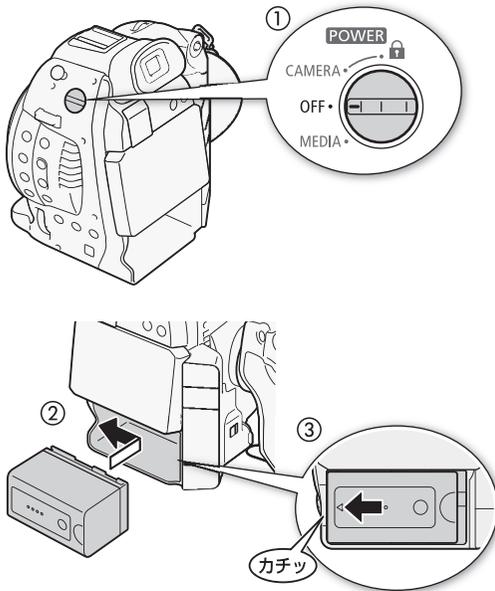
- ACアダプターに指定された製品以外を接続しないでください。
- 10℃～30℃の場所で充電することをおすすめします。0℃未満、40℃を超える場所では充電できません。



### MEMO

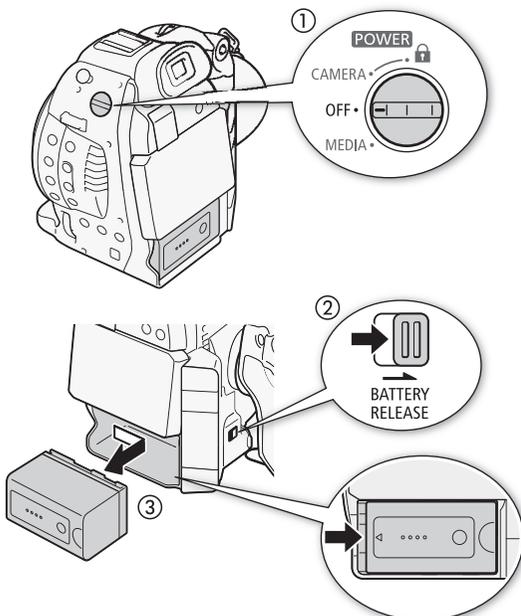
- ACアダプターやバッテリーに異常があると、充電ランプが消灯し、充電を中止します。
- バッテリーの取り扱いについては、202ページをご覧ください。
- バッテリーの充電時間とフルに充電したときの使用時間は、212ページをご覧ください。
- フル充電したバッテリーも少しずつ放電します。使用直前に充電することをおすすめします。
- バッテリーパックを充電するときは、DCプラグをビデオカメラ本体からはずしてください。

## 本体に取り付ける



- 1 POWER(電源)スイッチをOFFにする (①)
- 2 バッテリーパックを図のように奥に押しつけながら左にスライドさせ (②)、カチッと音がするまで入れる (③)

## 本体から取り外す

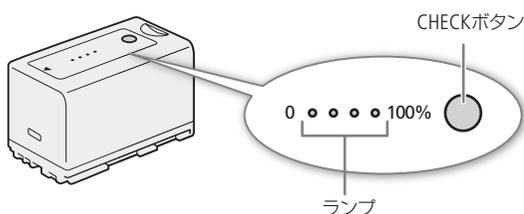


- 1 POWER(電源)スイッチをOFFにする (①)
- 2 BATTERY RELEASE (バッテリー取り外し) レバーを矢印の方向に押し (②)、バッテリーパックを右にスライドさせて、バッテリーパックを取り出す (③)

## 残量を確認する

BP-955 (付属) は、本機の電源を入れなくても、次の方法でバッテリーの残量 (目安) を確認できます。また、電源を入れたあとは、カメラモード/メディアモードの各画面 (□ 58、132) や、バッテリー/使用時間ステータス画面 (□ 187) で確認することもできます。

### バッテリー単独で確認する

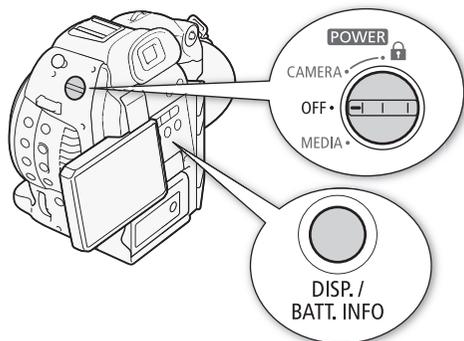


#### 1 バッテリーパック上のCHECKボタンを押す

- 約3秒間ランプが点灯してバッテリーの残量 (目安) を確認できる。

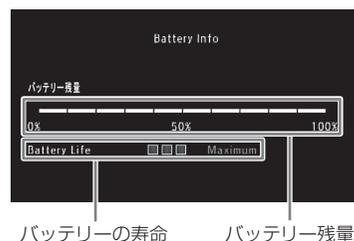
☼ ○ ○ ○	0 ~ 25%
☼ ☼ ○ ○	26 ~ 50%
☼ ☼ ☼ ○	51 ~ 75%
☼ ☼ ☼ ☼	76 ~ 100%

### 本体に取り付けて確認する (バッテリー情報)



#### 1 本機が電源OFFのとき DISP. (ディスプレイ) / BATT.INFO (バッテリー情報) ボタンを押す

- バッテリー残量が、画面に5秒間表示される。
- バッテリーが消耗していると、表示されないことがある。

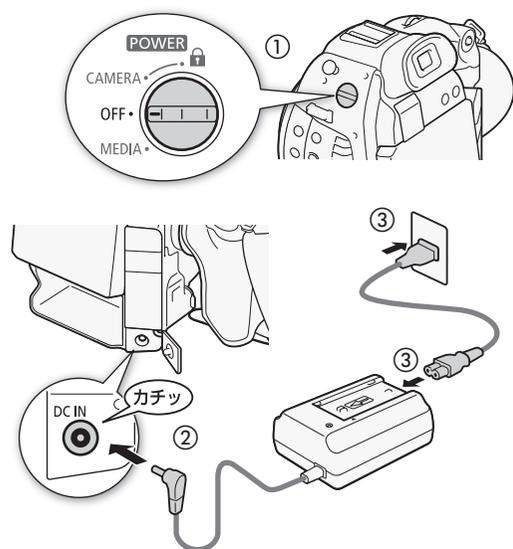


## MEMO

- 撮影可能時間 (□ 58、212) をより正しく表示するために、ご購入直後にバッテリーを初めて使うときは、一度充電完了まで充電してから使い切ってください。
- バッテリーは、充放電を繰り返すと少しずつ劣化して容量が少なくなります。BP-955 (付属) を本機に取り付けると、バッテリー情報画面またはバッテリーステータス画面 (□ 187) でバッテリーの寿命を確認できます。寿命をより正確に確認するには、バッテリーを充電してから使い切ってください。

## ■ コンセントにつないで使う

付属のACアダプター CA-935を使って、コンセントにつないで使用できます。



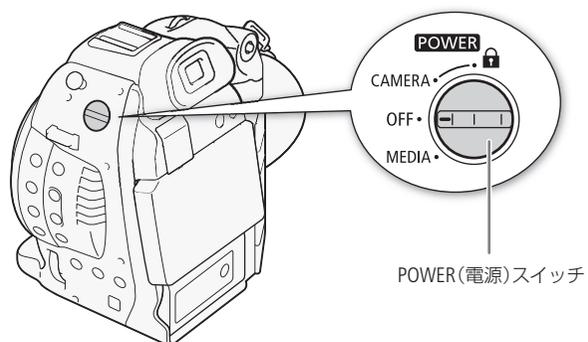
- 1 POWER(電源)スイッチをOFFにする (①)
- 2 ACアダプターにバッテリーパックを取り付けているときは、バッテリーパックを取り外す
  - ACアダプターにバッテリーパックを取り付けていると、本機が正常に動作しないことがある。
- 3 DC IN端子にDCプラグを接続する (②)
- 4 ACアダプターに電源コードを差し込み、電源プラグをコンセントに差し込む (③)

**!** **ご注意** ACアダプターを抜き差しするときは、必ずビデオカメラの電源を切ってください。

**MEMO** 本機をコンセントにつなぐと、電源を入れたままバッテリーを交換することができます。

## ■ 電源を入れる／切る

本機には、撮影用のカメラモードと再生用のメディアモードとがあり、電源を入れるときに選択します。POWER(電源)スイッチを「CAMERA」にして電源を入れるとカメラモードに、「MEDIA」にして電源を入れるとメディアモードになります。



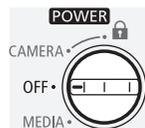
カメラモードで起動するとき

POWER(電源)スイッチをCAMERAにする。



メディアモードで起動するとき

POWER(電源)スイッチをMEDIAにする。



電源を切るとき

POWER(電源)スイッチをOFFにする。

# 日時を設定する

CAMERA MEDIA

はじめてお使いになるときは、日付・時刻を設定する画面が表示されます\*。操作に使用するボタンなどの位置を次ページの図で確認して、日時を設定してください。

\* 内蔵のリチウム2次電池が放電したときも同様です。

## ■ 日付と時刻を設定する



- ① ジョイスティックを上下に押しして「年」の数字を選び、ジョイスティックを垂直に押す。
  - カーソルが「月」に移動する。
  - ジョイスティックを押すたびに、年→月→日→時→分の順にカーソルが移動する。
- ② ①の操作を繰り返して、日付/時刻を設定する。
- ③ カーソルが一番右の「セット」にある状態で、時報に合わせてジョイスティックを垂直に押す。
  - 日時設定が完了する。

## ■ 撮影中に日時を表示する

CAMERA MEDIA

撮影中に現在の日時を画面下方に表示できます。



- ① MENUボタンを押す。
- ② ジョイスティックを上下に押しして  (LCD/VF設定メニュー) を選ぶ ▶ ジョイスティックを垂直に押す。
- ③ 同様に、「Custom Display 2」▶「日付/時刻」を順に選ぶ ▶ ジョイスティックを垂直に押す。
- ④ 「日付/時刻」、「時刻」、「日付」のいずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを垂直に押す。
  - 日時を表示しないときは、ここで「切」を選ぶ。
- ⑤ MENUボタンを押す。



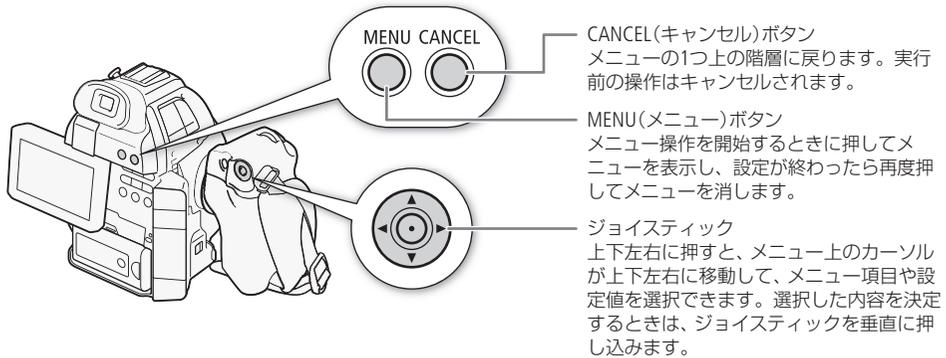
### MEMO

- 日時設定は、その他機能メニュー ▶ 「日時設定」 ▶ 「日付/時刻」で変更できます。また、タイムゾーンは、その他機能メニュー ▶ 「タイムゾーン」で変更できます(176)。
- 本機を3ヶ月近く使わないでくと、内蔵の充電式リチウム電池が放電して日付/時刻の設定が解除されることがあります。そのときは、内蔵のリチウム電池を充電してから設定し直してください(203)。

# メニューで設定を変える

CAMERA MEDIA

本機のさまざまな機能をメニューによって設定することができます。また、よく使うメニュー項目をあらかじめマイメニュー（[P.30](#)）に登録して設定することもできます。ここではメニュー設定の基本操作や共通操作について説明しますので、本書の各項目で説明されているメニュー設定を操作するときの参考にしてください。メニューの種類については「メニュー一覧」（[P.166](#)）をご覧ください。



## ■ メニュー操作の基本

例をあげてメニューの基本操作を説明します。

例：「ピーキング」を「2」に設定する場合

MENU



### 1 メニューを表示させる

- ① MENUボタンを押す。
  - MENU操作モードになり、画面にメニューが表示される。
  - MENUは、最後にMENUを消したときの状態が保持されたまま表示される（電源をOFF/ONすると初期状態に戻る）。

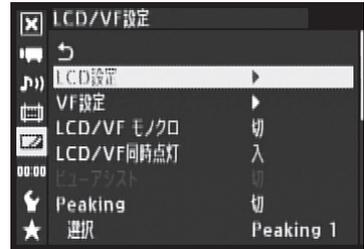
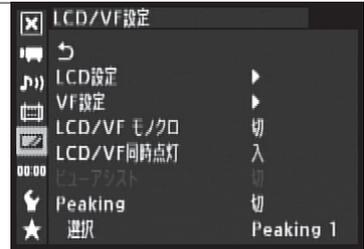




## 2 設定するメニューを選ぶ

- ① ジョイスティックを上下に押し、設定するメニューを選ぶ。
  - 選んだメニューのサブメニューが表示される。
- ② ジョイスティックを垂直に押し\*。
  - カーソルがメニュー項目に移動する。
  - ジョイスティックを右に押し、カーソルをメニュー項目に移動することもできる。
  - 表示しきれないメニュー項目があるときは、メニューの右端にスクロールバーが表示される。カーソルを上下に移動するとメニューがスクロールする。

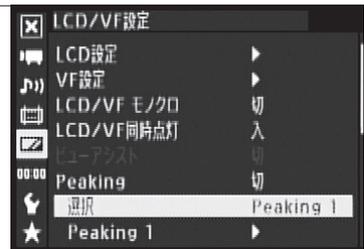
\* 以降、この操作を「ジョイスティックを押し」と記載する。



## 3 設定するメニュー項目を選ぶ

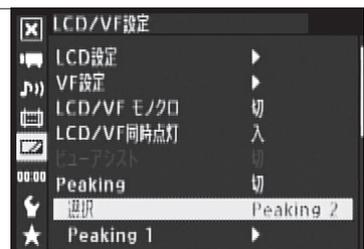
- ① ジョイスティックを上下に押し、設定するメニュー項目を選ぶ。
- ② ジョイスティックを押し。
  - カーソルが設定内容に移動する。
  - メニュー項目の右側に表示される「▶」は、下の階層にメニュー項目があることを示す。このメニュー項目を選んだときは、再度①、②の操作を行って、下の階層のメニュー項目を選ぶ。
  - 「CANCELボタンを押し\*」、「ジョイスティックを左に押し」、「▶を選ぶ」、のいずれかを行うと、カーソルが1つ上の階層に戻る。

\* 以降、この操作を「CANCELを押し」と記載する。



## 4 設定内容を選び、設定する

- ① ジョイスティックを上下に押し、設定内容を選ぶ。
- ② ジョイスティックを押し。
  - 選んだ設定内容を決定し、上の階層のメニュー項目に戻る。



MENU



## 5 メニューを消す

- ① MENUボタンを押す。
  - メニュー操作モードが終了し、メニューが消える。



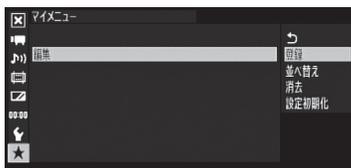
MEMO

- 他の機能の設定内容などによって設定できない項目は、灰色で表示されることがあります。
- MENUボタンを押すと、メニューはいつでも終了します。
- リモートコントローラー RC-V100 (別売) を使用しているときは、RC-V100の上/下/左/右/SET (設定) ボタンがジョイスティックと同様に機能します。SET (設定) ボタンは、ジョイスティックを垂直に押す操作と同じで、選択した内容を決定するときに使用します。
- 現在の設定内容の一部を、ステータス画面で確認できます(182)。

## ■ マイメニューを使う

よく使うメニュー項目をあらかじめ登録しておき、必要なときに簡単に設定することができます。アサインボタンにマイメニューを割り当てておけば、1ボタン操作でマイメニューを開くこともできます。マイメニューにはメニュー項目を14個まで登録できます。

例：カメラ設定メニュー ▶ 「ISO/Gain」 ▶ 「選択」を追加する場合

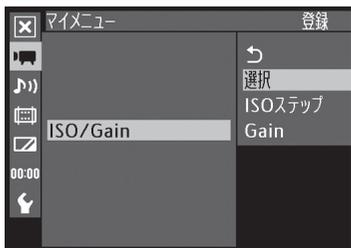


### 1 マイメニューの「登録」を選ぶ

- ① マイメニュー ▶ 「編集」 ▶ 「登録」を順に選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - メニューが青色になり、マイメニューに登録するメニュー項目を選ぶ画面になる。

登録を中止するとき

CANCELを押す。

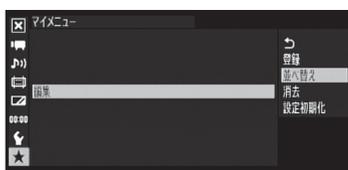


### 2 マイメニューに登録するメニュー項目を選ぶ

- ① カメラ設定メニュー ▶ 「ISO/Gain」 ▶ 「選択」を順に選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ② 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ③ ジョイスティックを押す。
  - 「ISO/Gain 選択」がマイメニューに登録される。

## 登録したメニュー項目を並べ換える

マイメニューに登録したメニュー項目を並べ換えることができます。



## 1 マイメニューの「並べ替え」を選ぶ

- ① マイメニュー ▶ 「編集」 ▶ 「並べ替え」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - マイメニューに登録されているメニュー項目が一覧表示される。



## 2 メニュー項目を選んで並べ替える

- ① 並べ替えるメニュー項目を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 選んだメニュー項目の左に◆が表示される。
- ② ジョイスティックを上下に押して、移動先を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - メニュー項目が移動する。

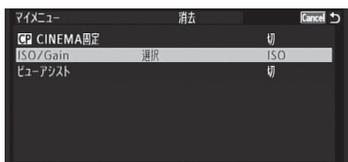
## 登録したメニュー項目を消去する

マイメニューに登録したメニュー項目を、1項目ずつまたはすべて消去することができます。



## 1 マイメニューの「消去」または「設定初期化」を選ぶ

- ① マイメニュー ▶ 「編集」 ▶ 「消去」または「設定初期化」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



## 2 消去する

「消去」を選んだとき

消去するメニュー項目を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

- ① 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 「消去」を選んだときは選んだメニュー項目が、「設定初期化」を選んだときは登録されているすべてのメニュー項目が、消去される。
- ② ジョイスティックを押す。

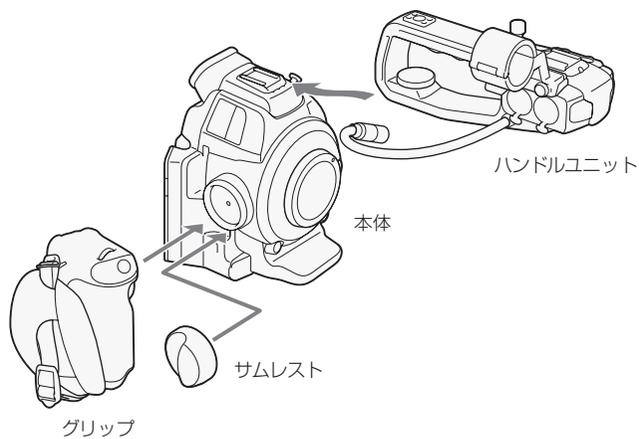
# カメラを準備する

ここではハンドルユニットの取り付け、ファインダーや液晶画面の調整、レンズの取り付け／取り外しなど、はじめに行うカメラの準備について説明します。

## ■ 本機の構成例

### 基本システム

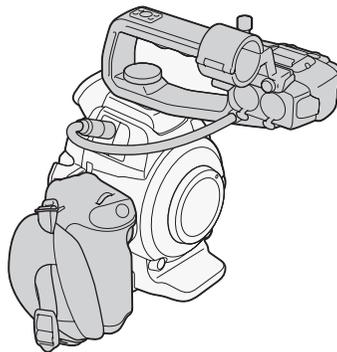
本機は、ハンドルユニット、グリップを着脱できるので、撮影シーンに応じて必要なユニットを自由に組み合わせて撮影できます。



### 構成例

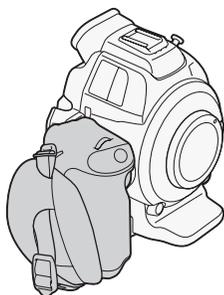
#### ハンドル構成

内蔵マイク、XLR端子、マイクホルダーを使用するときは、ハンドルを取り付けてください ( 92 )。



### 手持ち撮影構成 (グリップ使用)

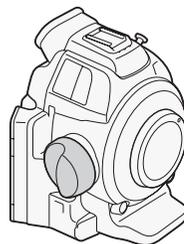
ハイアングル撮影やローアングル撮影などを行うときは、グリップを回転して取り付け可能 ( 43 )。



### 最小撮影構成 (サムレスト使用)

最小幅構成の抱え持ちスタイル。この場合、ジョイスティックを使用して行うすべての設定を操作することはできません\*。また、電子ダイヤル ( 71 )、MAGN. / アサイン7ボタン ( 82 )などを使用して本機を操作することもできません。

\* MENU(メニュー)設定 ( 28、166)、ホワイトバランス、ISO感度/ゲイン、シャッタースピード設定 ( 63)、カスタムピクチャー設定 ( 115)など。静止画再生時以外は、グリップを取り外しても、アサインボタンに「上」「下」「左」「右」「SET」を割り当てることで、アサインボタンを押して設定を操作できます ( 112 )。



## ■ レンズを準備する

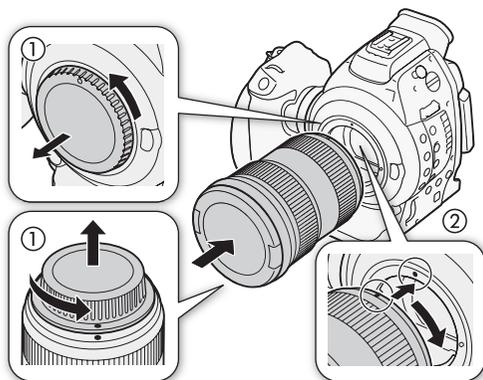
レンズの取り付け／取り外しは、ほこりの少ない場所で素早く行ってください。取り付けるレンズの説明書もあわせてご覧ください。

**注意** レンズ取り付け／取り外しは、直射日光や強い照明を避けて行ってください。また、ビデオカメラやレンズを落とさないようにご注意ください。

**MEMO**

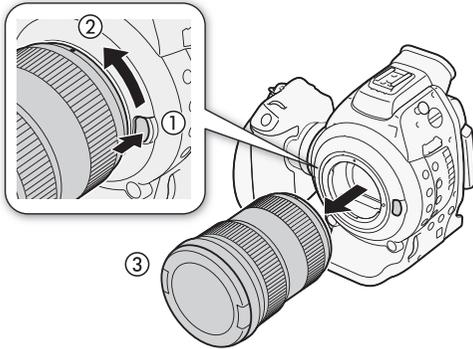
- レンズを取り外したあと、レンズや本体のレンズマウント、レンズマウントの内部に手を触れないでください。
- レンズを取り外してカメラを保管するときは、必ずレンズマウントにボディキャップを取り付けてください。
- ボディキャップは、ゴミやほこりを落としてから使用してください。

### EFレンズを取り付ける



- 1 POWER(電源)スイッチをOFFにする
- 2 EFレンズマウントからボディキャップを、レンズからダストキャップを取り外す (①)
- 3 レンズを取り付ける (②)
  - 本機とEFレンズの取り付け指標 (赤色)を合わせ、レンズを図のようにカチッと音がするまで回す。
  - EF-Sレンズのときは、EF-Sレンズ取り付け指標 (白色)に合わせる。

## EFレンズを取り外す



- 1 POWER(電源)スイッチをOFFにする
- 2 レンズロック解除ボタンを押しながら①)、レンズを図のように回して②)取り外す③)
  - 回転が止まるまで回してから取り外す。
- 3 EFレンズマウントにボディキャップを取り付ける
- 4 取り外したレンズにダストキャップを取り付ける

## MEMO

- 手ブレ補正機能を搭載したEFレンズを使用する場合、手ブレ補正をONにするとバッテリーの持ちが悪くなる場合があります。三脚使用時など補正の必要がないときは、手ブレ補正をOFFにすることをおすすめします。
- オートフォーカス機能を備えるEFレンズの場合、レンズによっては、フォーカスモードスイッチをAFにしていると、フォーカスリングによるフォーカス調整ができないことがあります。このときは、フォーカスモードスイッチをMFにしてください。
- 取り付けしたレンズによっては、次の動作になることがあります。
  - レンズ型名情報の一部が省略されて表示される。
  - フォーカスプリセット機能が使用できない(超望遠レンズ)。
- レンズに搭載されたパワーズーム機能は使用できません。
- レンズのフォーカスモードスイッチをAFにして電源を切ると、自動的にレンズの全長を最短に収納できます(対応レンズのみ。☞ 178)。

## EFレンズの周辺光量を補正する

CAMERA MEDIA

レンズの特性により、映像の四隅の明るさが中央部に比べて暗くなります(周辺光量の低下)が、レンズごとの補正データを用いて、周辺部の光量低下を補正することができます。



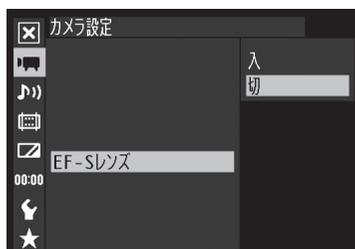
- ① レンズを取り付けたあと、カメラ設定メニュー ▶ 「周辺光量補正」を順に選ぶ。
  - 取り付けているレンズの型名情報が画面に表示される。

## 「周辺光量補正」が灰色になっていて選べないとき

- 取り付けているレンズの補正データが本機にない。
- ① 取り付けているレンズが周辺光量補正に対応しているかどうか、キヤノンのホームページで確認する。
  - ② 周辺光量補正に対応している場合は、ファームウェアをダウンロードし、本機のファームウェアを更新する。
  - ③ ①から操作する。
- ② 「入」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
    - 以降の撮影時、取り付けているレンズの周辺光量が補正される。

## EF-Sレンズについて

EF-Sレンズを装着している場合、周辺光量の低下が大きくなる場合があります。これを回避するために、センサーの切り出し範囲を変更することができます。



① カメラ設定メニュー ▶ 「EF-Sレンズ」を順に選ぶ。

② 「入」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

- 画面に **[EF-S]** が表示される。

- 「EF-Sレンズ」を「入」にすると、約1.04倍の電子拡大が行われるため、画質が劣化します。通常は「切」にして使用することをおすすめします。



### MEMO

#### レンズごとの補正データについて

本機発売時点で販売している周辺光量補正対応レンズの補正データは、あらかじめ本機に格納しています。将来発売されるレンズの補正データについては、補正データを含むファームウェアで本機のファームウェアを更新することによって、本機に取り込むことができます。最新のファームウェアについては、キヤノンのホームページでご確認ください。

- 撮影条件によっては、記録される映像の周辺部にノイズが発生することがあります。
- 距離情報を持たないレンズでは、補正量が少なくなります。
- ISO感度／ゲインが高くなるほど、補正量が少なくなります。
- レンズの補正データが本機に格納されていないときは補正を行いません。
- 他社製レンズ使用時は、周辺光量を補正できません。他社製レンズを装着して「周辺光量補正」を「入」に設定できる場合でも、「切」にすることをおすすめします。

## EFレンズのファームウェアを更新する

CAMERA MEDIA

本機でEFレンズのファームウェアの更新を行うことができます。使用するEFレンズの最新のファームウェアについては、キヤノンのホームページでご確認ください。



- ① ダウンロードしたファームウェアが保存されたSDカードを、カードスロットAに入れる。
  - ② レンズを取り付けたあと、その他機能メニュー ▶ 「Lens Firmware」を順に選ぶ。
    - 取り付けているレンズのバージョン情報が画面に表示される。
- 「Lens Firmware」が灰色になっていて選べないとき
- ファームウェアの更新に対応したレンズを取り付けていない。
  - カードスロットAのSDカードにファームウェアが保存されていない。  
レンズやSDカードを確認して①から操作する。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - ④ ファームウェアの更新ファイル (XXX.LFU) を選択する ▶ ジョイスティックを押す。
  - ⑤ 「OK」 ▶ ジョイスティックを押す。
    - レンズのファームウェアの更新が開始される。
    - ファームウェアの更新は中止できない
  - ⑥ ジョイスティックを押す。



## ご注意

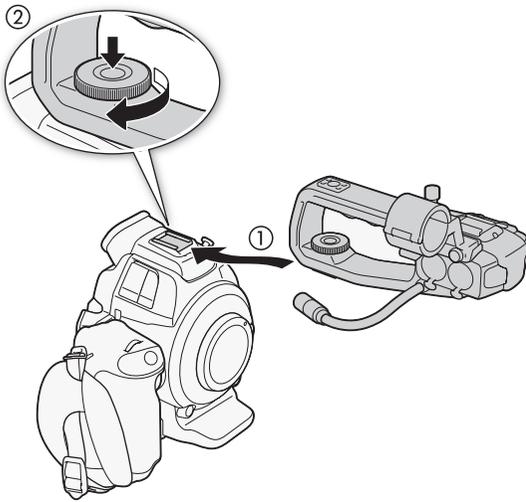
- ファームウェアを更新している間は次のことを必ず守ってください。
  - 電源を切らない。バッテリーやレンズを取り外さない。
  - 他のボタンを操作しない。
  - SDカードカバーを開けて、SDカードを取りださない。



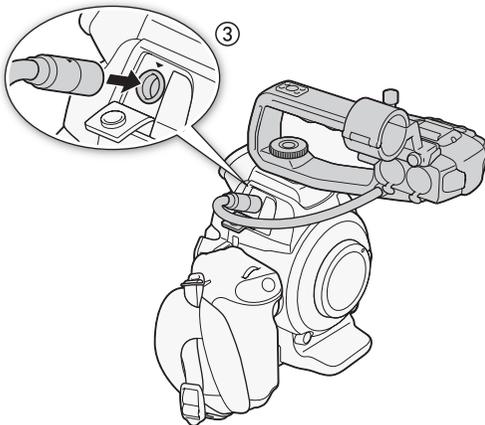
## MEMO

- プレ記録 (□ 106) を「入」に設定しているときはファームウェアの更新を行うことができません。
- ACアダプター、または十分に充電したバッテリーを装着して操作してください。
- エクステンダー EFを装着しているときは、取り外してから操作してください。

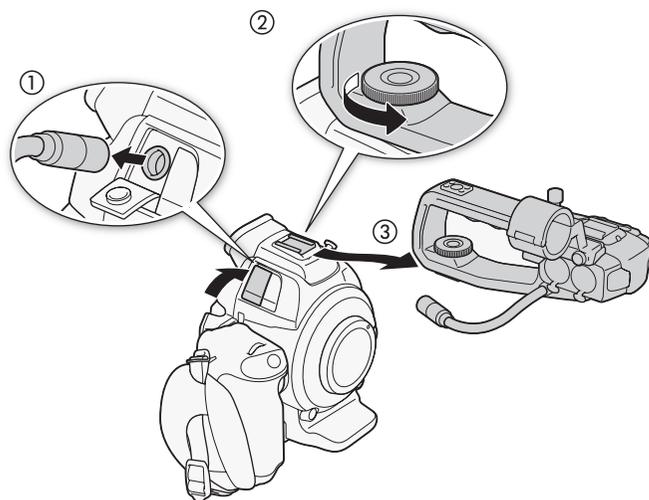
## ■ ハンドルユニットを取り付ける



- 1 POWER(電源)スイッチをOFFにする
- 2 ハンドルユニット底面の取り付け金具を本体上部のアクセサリーシューに差し込む(①)
- 3 ハンドルユニットの取り付けネジを上から押しつけながら回して固定する(②)
- 4 指標(▼)を合わせてハンドルユニットのケーブルをEXT端子に接続する(③)



## ハンドルユニットを取り外す



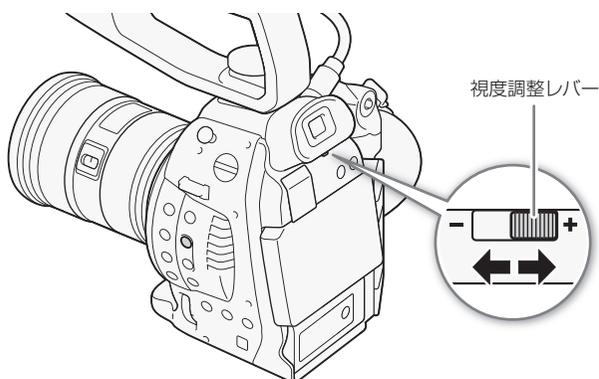
- 1 POWER(電源)スイッチをOFFにする
- 2 ハンドルユニットのケーブルを抜く(①)
  - ケーブル先端の金具を手前に引きながら、ケーブルを引き抜く。
- 3 ハンドルユニットの取り付けネジをゆるめる(②)
- 4 ハンドルユニットをスライドさせて取り外す(③)



**MEMO** ハンドルユニット上部のアクセサリースューまたは1/4インチハンドルネジに市販のアクセサリを取り付けることができます。

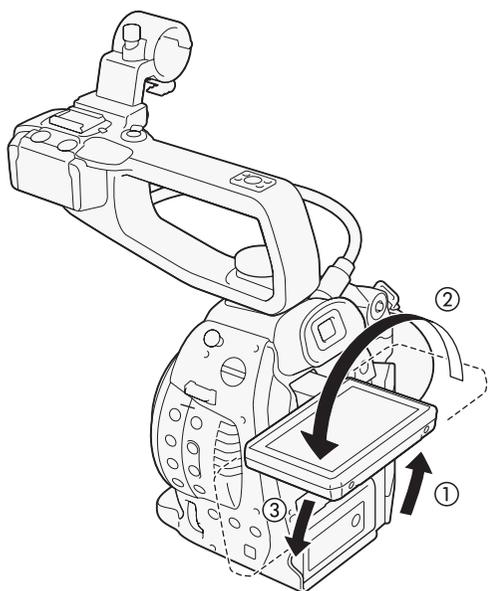
## ■ ファインダーの視度を調整する

ファインダーの映像がはっきり見えるように、視力に合わせて視度を調整します。電源を入れ(□ 26)、視度調整レバーを左右に動かして調整してください。



## ■ 液晶画面を使う

### 液晶画面を開く



- 1 液晶画面を手前に引き出し (①)、左に180°回転する (②)
- 2 液晶画面を下げて、見やすい角度に調整する (③)



#### MEMO

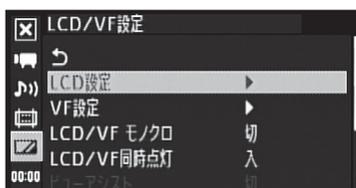
- 液晶画面をモノクロにしたいときは41ページをご覧ください。
- 市販のレンズアダプターなどを取り付けたときに映像が上下左右に反転する場合は、その他機能メニュー ▶ 「Custom Function」 ▶ 「スキャンリバース記録」(P. 179) で、映像を上下左右、上下、左右のいずれかに反転させて記録することができます。
- 液晶画面とファインダーを同時に使わないときは、LCD/VF設定メニュー ▶ 「LCD/VF同時点灯」を「切」にすると、バッテリーの持ちがよくなります。なお、「切」に設定しても、液晶画面を閉じるとファインダー画面は表示されます。

## 液晶画面／ファインダーを調整する

CAMERA MEDIA

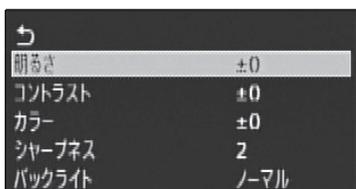
### 画面を調整する

明るさ、コントラスト、カラー、シャープネス、バックライトの各項目を、液晶画面とファインダーそれぞれ個別に調整できます。なお、この設定は記録される映像には影響しません。



#### 1 「LCD設定」または「VF設定」を選ぶ

- ① LCD/VF設定メニュー ▶ 「LCD設定」または「VF設定」を順に選ぶ。
- ② ジョイスティックを押す。



#### 2 調整する

- ① 調整する項目を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 「明るさ」、「コントラスト」、「カラー」、「シャープネス」、「バックライト」から選ぶ。
- ② ジョイスティックを上下に押して調整する ▶ ジョイスティックを押す。
- ③ 調整する項目について、①②を繰り返す。

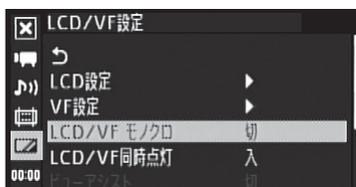


#### MEMO

アサインボタンに「LCD設定」を割り当てると、アサインボタンを押してLCD/VF設定メニュー ▶ 「LCD設定」を表示することができます (□ 112)。「VF設定」についても同様です。

### 液晶画面とファインダーをモノクロにする

画面をモノクロ表示にします。モノクロ表示にしても、表示文字などはカラーで表示されます。



- ① LCD/VF設定メニュー ▶ 「LCD/VF モノクロ」を順に選ぶ。
- ② 「入」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

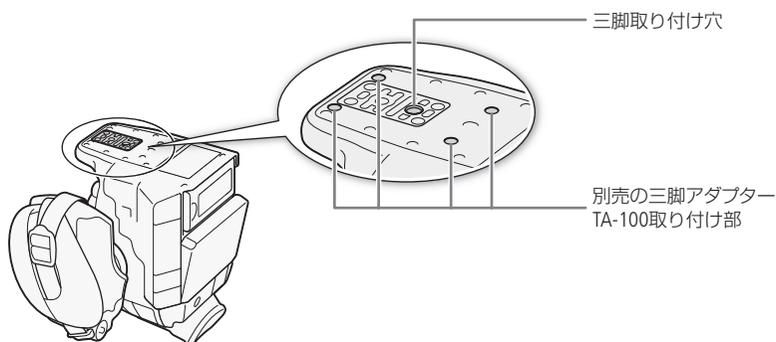


#### MEMO

アサインボタンに「LCD/VF モノクロ」を割り当てると、アサインボタンを押して入／切を切り換えられます (□ 112)。

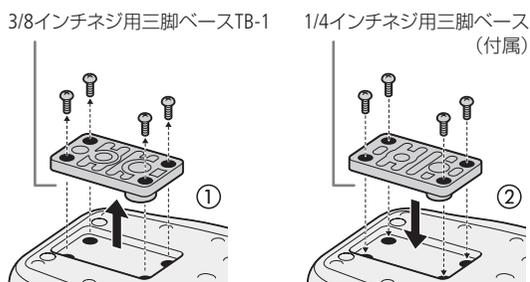
## ■ 本体を三脚に取り付ける

ご購入時、本体には3/8インチネジ用の三脚ベースTB-1が取り付けられています。取り付けネジの長さが5.5mm未満の三脚を取り付けることができます。



### 取り付けネジ径が1/4インチの三脚を使う

取り付けネジの径が1/4インチの三脚を使用するときは、三脚ベース（三脚取り付け部）を1/4インチネジ用の三脚ベース（付属）に交換する必要があります。



- 1 3/8インチネジ用の三脚ベースを取り外す (①)
  - ネジを4本取り外して、3/8インチネジ用の三脚ベースを取り外す。
- 2 1/4インチネジ用の三脚ベース（付属）を取り付ける (②)
  - 4本のネジをしっかりと閉める。
- 3 三脚を取り付ける
  - 三脚のネジは確実に締める。

● **ご注意** ⚡ ネジの長さが5.5mm以上の三脚を使用すると、本体を破損することがあります。



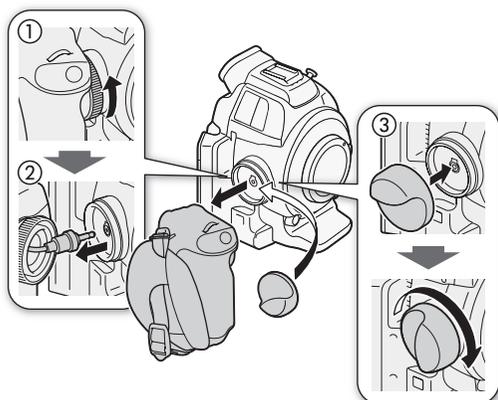
## ■ グリップを取り外す／取り付ける

### グリップを取り外す

グリップを取り外してサムレストを取り付ければ、手持ち撮影用の最小幅構成にできます。この場合、ジョイスティックを使用して行うすべての設定を操作することはできません\*。

また、電子ダイヤル (□ 71)、MAGN. /アサイン7ボタン (□ 82)などを使用して本機を操作することもできません。

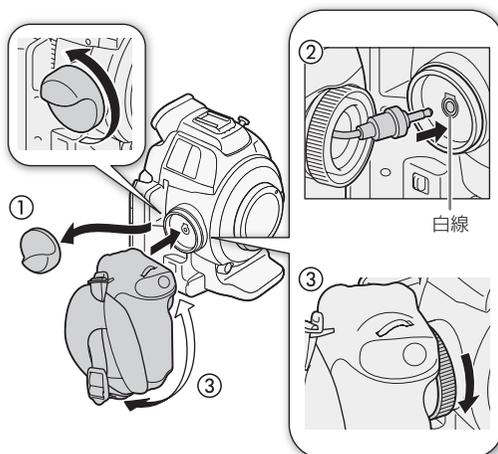
\* MENU(メニュー)設定 (□ 28, 166)、ホワイトバランス、ISO感度/ゲイン、シャッタースピード設定 (□ 63)、カスタムピクチャー設定 (□ 115) など。静止画再生時以外は、グリップを取り外しても、アサインボタンに「◆上」「◆下」「◆左」「◆右」「◆SET」を割り当てることで、アサインボタンを押して設定を操作できます (□ 112)。



- 1 POWER(電源)スイッチをOFFにする
- 2 グリップの取り付けネジを回して、グリップを取り外す (①)
  - このとき接続プラグは接続されているので、無理に引っ張らない。
- 3 グリップの接続プラグを抜く (②)
- 4 サムレストを取り付ける (③)

### グリップを取り付ける

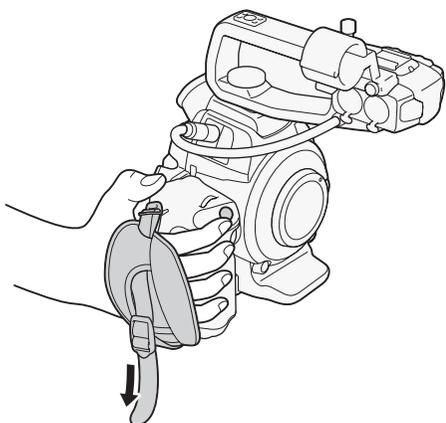
グリップは15°刻みで角度を変えて取り付けることができます。撮影の状況に応じて好みの角度で取り付けます。



- 1 POWER(電源)スイッチをOFFにする
- 2 サムレストを取り外す (①)
- 3 グリップの接続プラグを奥までしっかり差し込んで接続する (②)
  - グリップ接続端子の周囲の白線が見えなくなるまでしっかり差し込む。
  - 接続が不十分だと(白線が見えていると)、ビデオカメラ本体の操作が利かなくなることがある。
- 4 グリップを好みの角度に合わせ、取り付けネジを回して固定する (③)

## グリップベルトを調節する

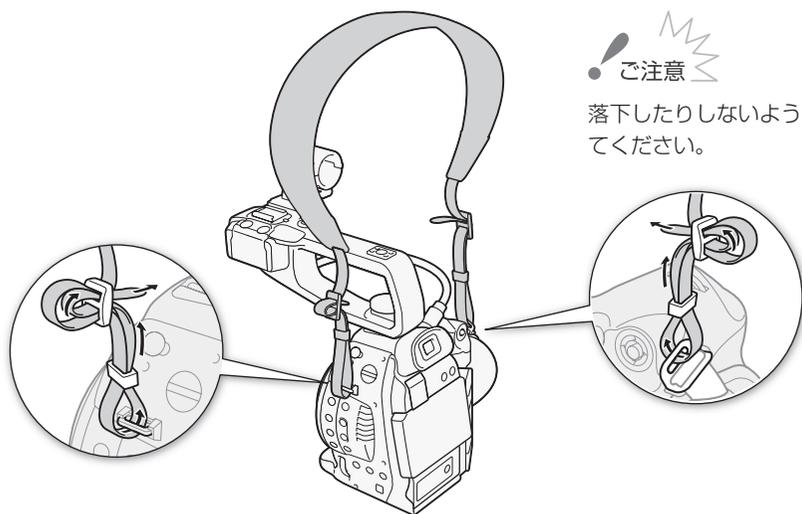
人さし指をスタート/ストップボタンに添え、グリップを軽く握った状態でベルトの長さを調節します。



● ご注意

落下したりしないように、机などの安定した所で調節してください。

## ■ ストラップを取り付ける



● ご注意

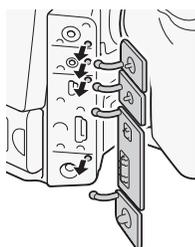
落下したりしないように、机などの安定した所で調節してください。

## 端子カバーを取り外す／取り付ける

次の端子のカバーを取り外すことができます。

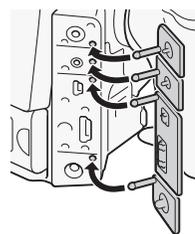
- AV OUT端子
- MIC(マイク)端子
- EXT端子
- DC IN端子
- (ヘッドホン)端子
- REMOTE(リモート)端子
- USB/HDMI OUT端子

### 取り外す



端子カバーを開けて、まっすぐに引き出す。

### 取り付ける



端子カバーの取り付け部を、取り付け口に差し込む。



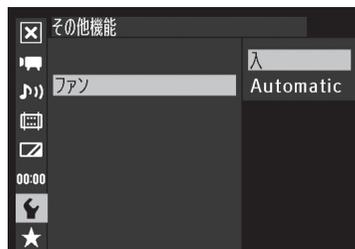
### MEMO

取り外し／取り付けの際、端子カバーの取り付け部がつかみにくいときは、ピンセットなど先の細いものを使用してください。

## 内蔵冷却ファン

CAMERA MEDIA

撮影時、一時的に冷却ファン(ファン)の回転音を消したいときなど、ファンの動作をメニューで切り換えることができます。



- ① その他機能メニュー ▶ 「ファン」を順に選ぶ。
- ② 「入」または「Automatic」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。  
 入：常にファンは回転する  
 Automatic：一時的にファンは停止する。内部の温度が高くなると画面に  (黄色)が表示され、さらに内部の温度が高くなると赤色に変わり、ファンが回転する。内部の温度が下がれば再びファンは停止する。ファン回転中は **FAN** が表示される。



### MEMO

- 高温下など撮影環境によっては「Automatic」にしてもファンが停止しないことがあります。
- メディアモードのときは常にファンは回転しています。
- ファンの吸気口や排気口を塞がないでください。
- アサインボタンに「ファン」を割り当てると、アサインボタンを押して、「入」と「Automatic」を切り換えられます(□ 112)。

# SDカードを準備する

本機では、動画や静止画をSDカード\*1に記録します(下表)。スピードクラス\*2 4、6、10のSDカードの使用をおすすめします。SDカードスロットは2つあります。SDカードを使用するときは、はじめに本機で初期化してください(□48)。

\*1 SDカードには、カスタムピクチャーファイルや設定データも記録されます。

\*2 SDカードのデータ記録時の最低速度を保証する規格です。ご購入の際は、スピードクラスのマークを確認してください。

## ■ 使用可能なSDカード

メモリーカードのタイプ	 SDメモリーカード、  SDHCメモリーカード、  SDXCメモリーカード
SDスピードクラス*1	CLASS④、CLASS⑥、CLASS⑧、CLASS⑩
容量	128 MB以上*2

\*1 SDスピードクラスに対応していないSDメモリーカードや、スピードクラス2のSDメモリーカードを使う場合、カードによっては動画を記録できないことがあります。

\*2 容量が64 MB以下のSDメモリーカードには、動画を記録できません。

## 動画記録時の動作確認済みメモリーカード

次のメーカー製のSD / SDHC / SDXCメモリーカードについて、動画記録時の動作を確認しています(2012年10月現在)。動作確認済カードの最新情報については、キヤノンのウェブサイトでご確認ください。

- Panasonic
- TOSHIBA
- SanDisk

 **ご注意** ● 撮影や編集を繰り返しているSDカードの場合、データの書き込み速度が低下し、記録が停止することがあります。あらかじめSDカードの動画や静止画を保存してから、本機でSDカードを初期化してください。

### SDXCメモリーカードをお使いになるときは

SDXCメモリーカードに対応した機器でのみ使用できます。SDXCに対応する、レコーダー、パソコンまたはカードリーダー/ライターなどでご使用ください。パソコンの場合、対応OSは下表のとおりです(2012年10月現在)\*。

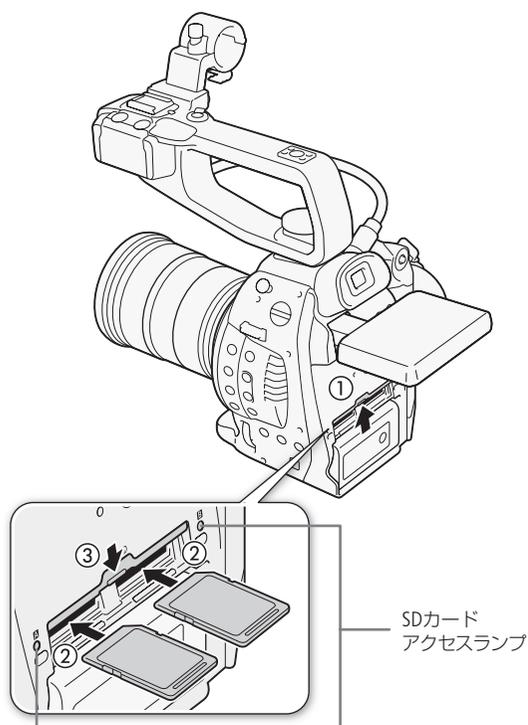
Windows 7	○
Windows Vista	○ (Service Pack 1以降が必要)
Windows XP	○ (Service Pack 3と更新プログラム [KB955704]が必要)
Mac OS X	○ (バージョン10.6.5以降)

\* 最新の状況については、パソコン、OSまたはSDカードのメーカーにお問い合わせください。

- SDXCメモリーカードに対応していないOSで使用すると、SDカードの初期化を促すメッセージが表示されることがあります。初期化するとデータが失われますので、キャンセルしてください。

## ■ SDカードを入れる／出す

SDカードスロットは2つあります。2枚のSDカードで、両方のカードスロットを使用することができます。カードスロットAとBいずれかに1枚ずつ入れることもできます。



- 1 POWER(電源)スイッチをOFFにする
  - 2 液晶画面を手前に引き出し、SDカードカバーを開ける(①)
  - 3 SDカードのラベル面を上にして、カチッと音がするまでしっかり入れる(②)
- SDカードを出すとき
- SDカードの端を押して、SDカードが出てきたら抜く。
- 4 SDカードカバーを閉じる(③)
    - SDカードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉めない。

### SDカードスロットの状態を確認するには

アクセ斯拉ンプの色と光りかたでSDカードスロットの状態を確認できます。液晶画面の角度によっては、SDカードAのアクセ斯拉ンプが見えないことがあります。そのときは、液晶画面の角度を調整して、アクセ斯拉ンプの状態を確認してください。

アクセ斯拉ンプ	スロットの状態
点灯(赤)	SDカードにアクセス中
点灯(緑)	記録／再生可能でかつ、スロットが記録／再生先として選択されている
消灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SDカードにアクセスしていない</li> <li>● SDカードが入っていない</li> <li>● 別のスロットが選択されている</li> </ul>



### 注意

- SDカードアクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - SDカードを取り出さない。
- SDカードの出し入れは、本体の電源を切ってから行ってください。電源を切らずにSDカードを出し入れすると、故障の原因となることがあります。
- SDカードには表裏の区別があります。SDカードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。操作3のような正しい向きで入れてください。



### MEMO

誤ってデータを消さないために



誤消去防止ツマミ

SDカードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にすると、データを保護できます。

- SDカードアクセスランプは点灯しないようにすることもできます(□ 177)。

## 初期化する

CAMERA MEDIA

SDカードをはじめて使用するときや、SDカードに記録した動画／静止画などすべての情報を消去するときに初期化します。SDカードの初期化には「高速初期化」と「完全初期化」とがあり、データを完全に抹消する必要があるときは「完全初期化」を選びます。



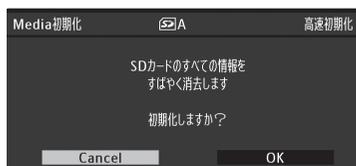
### 1 初期化するSDカードを選ぶ

- ① その他機能メニュー ▶ 「Media初期化」を順に選ぶ。
- ② 「A」または「B」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



### 2 初期化の方法を選ぶ

- ① 「完全初期化」または「高速初期化」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



### 3 初期化を実行する

- ① 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 選んだSDカードが初期化され、すべての情報が消去される。

「完全初期化」を中止するとき

ジョイスティックを押す。SDカードはそのまま使用できるが、データはすべて消去される。

- ② ジョイスティックを押す。



#### ● ご注意

- 初期化すると、カスタムピクチャーファイルなどを含め、SDカード内のすべての情報が消え、元に戻せません。残しておきたいデータがあるときは、バックアップしてから初期化してください。
- 「完全初期化」は、SDカードによっては数分かかることがあります。



#### MEMO

- アサインボタンに「Media初期化」を割り当てると、アサインボタンを押して「Media初期化」メニューを表示することができます (□ 112)。

## ■ 記録／再生に使用するSDカードスロットを切り換える

CAMERA MEDIA

本機は、2つのSDカードスロットを備えています (SD **A** / SD **B**)。両方のスロットにSDカードを入れているときは、必要に応じてスロットを切り換えることができます。



### 1 スロットを切り換える

- ① SLOT SELECT (スロット選択) ボタンを押す。
  - 選択されたスロットのアクセスランプが緑色に点灯する。



#### MEMO

- 記録中にSLOT SELECTボタンを押しても、スロットは切り換わりません。
- 記録先として設定したSDカードに静止画 (□ 154) も記録されます。

## ■ SDカードスロット記録方式を選ぶ CAMERA MEDIA

2つのSDカードに連続して映像を記録するリレー記録と、2つのSDカードに同時に映像を記録するダブルスロット記録があります。

リレー記録： 撮影中にSDカードの空き容量がなくなると、自動的にもう一方のスロットに切り換わり、映像を記録する機能です。SD **A** ⇄ SD **B** 両方向で連続記録が可能です。

その他機能メニュー ▶ 「リレー記録」で「入」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

ダブルスロット記録： 同じ映像をA/B両方のSDカードに同時に記録します。撮影中に撮影映像のバックアップを取ることができます。

その他機能メニュー ▶ 「ダブルスロット記録」で「入」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



### MEMO

- リレー記録で撮影時、SDカードが切り換わるときに、映像が一瞬途切れます。付属のソフトウェア Data Import Utilityを使用すると、結合してパソコンに取り込むことができます(□ 151)。
- ダブルスロット記録中、記録容量の少ないSDカードの空き容量がなくなると、両SDカードへの記録を停止します。なお、一方のSDカードに書き込みエラーが発生しても、他方のSDカードへの記録は続きます。
- ダブルスロット記録は、「リレー記録」、「プレ記録」または「最終クリップ消去」との併用はできません。

## ■ SDカードの記録可能時間を確認する CAMERA MEDIA

カメラモードのときは、各スロットに入っているSDカードの記録可能時間(分単位)\*と、選択されているスロットを画面で確認できます(□ 58)。また、メディアステータス画面(□ 186)を表示すると、各SDカードの総容量、スピードクラス、使用量、記録可能時間や記録可能静止画枚数を確認できます。

\* 記録可能時間は、現在設定しているビットレート(□ 61)を元に算出します。

## ■ SDカードを修復する

CAMERA MEDIA

記録中に停電する、記録中にSDカードを取り出すなどの原因によって、SDカードに記録したデータに異常が発生することがあります。このときは、SDカードを修復することによってSDカード内のデータを正常な状態に戻すことができます。修復が必要なSDカードをスロットに入れると、修復するかどうかを確認するエラーメッセージが画面に表示されます。



### 1 「[A]([B])は修復が必要です 修復しますか？」が表示されたとき 修復を行う

- ① 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - SDカードの修復が行われる。
  - 修復が終了すると、「修復が終了しました。クリップを確認してください」が表示される。
- ② ジョイスティックを押す。



#### MEMO

修復を行っても正常な状態に戻らないことがあります。特に、ファイルシステムが壊れているとき、またはSDカードが物理的に壊れているときは修復できません。

# ブラックバランスを調整する

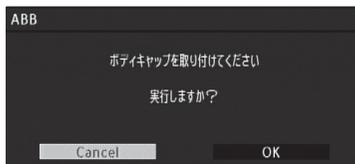
CAMERA MEDIA

使用環境の温度が変わったときなど映像信号の黒がずれたときに、ブラックバランスを自動的に調整することができます。



## 1 オートブラックバランス (ABB)を選ぶ

- ① カメラ設定メニュー ▶ 「ABB」を順に選ぶ。
  - 画面に「ボディキャップを取り付けてください 実行しますか?」が表示される。



## 2 ボディキャップを取り付けて、ABBを実行する

- ① ボディキャップを取り付ける
  - レンズを取り付けているときはレンズを取り外し、ボディキャップを取り付ける。
- ② 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 画面に「実行中」が表示され、ブラックバランス調整が行われる。

## 3 終了する

### 調整が正常に終了したとき

- 画面に「処理が完了しました」が表示される。ジョイスティックを押す。

### センサーの遮光が正しく行われなかったとき

- ボディキャップが取り付けられていないと、画面に「エラー」が表示される。
- ① ジョイスティックを押す。
  - ② 再度、操作1から操作する。



### MEMO

#### ブラックバランス調整が必要な場合

- 本機を初めて使用するとき。
  - 長時間使用しなかった後に使用するとき。
  - 周囲の温度が大幅に変化したとき。
  - ISO感度/ゲインの設定を変更したとき。
- ブラックバランス調整には、約40秒かかります(PF24 / 24Pの場合)。
  - ブラックバランス調整中、画面の表示が乱れますが、故障ではありません。
  - その他機能メニュー ▶ 「リセット」 ▶ 「全設定」または「カメラ設定」を行うと、ブラックバランス調整は初期状態に戻ります。このときは、再度、ブラックバランス調整を行ってください。

# 撮 影

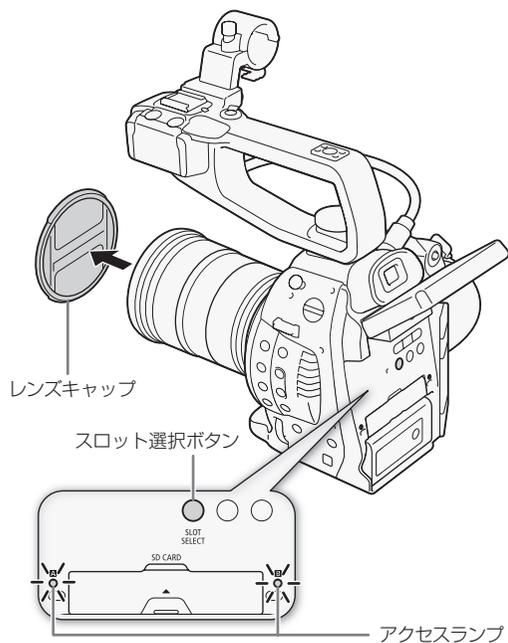
動画を撮影する.....	54	タイムコードを設定する.....	88
映像の信号形式を選ぶ.....	61	ユーザービットを設定する.....	91
ジョイスティックで 機能を設定する.....	63	音声を記録する.....	92
シャッタースピードを調整する... 64		カラーバー/ テストトーンを記録する.....	101
ISO感度/ゲインを調整する.....	68	波形モニターを表示する.....	103
NDフィルターを切り換える.....	70	レックレビューで確認する.....	105
アイリスを調整する.....	71	プレ記録を行う.....	106
ホワイトバランスを調整する.....	75	常時記録を行う.....	107
フォーカスを調整する.....	79	リモートコントローラー RC-V100(別売)を使う.....	109
ズームを操作する.....	84		
マーカー/ ゼブラパターンを表示する.....	85		

# 動画を撮影する

CAMERA MEDIA

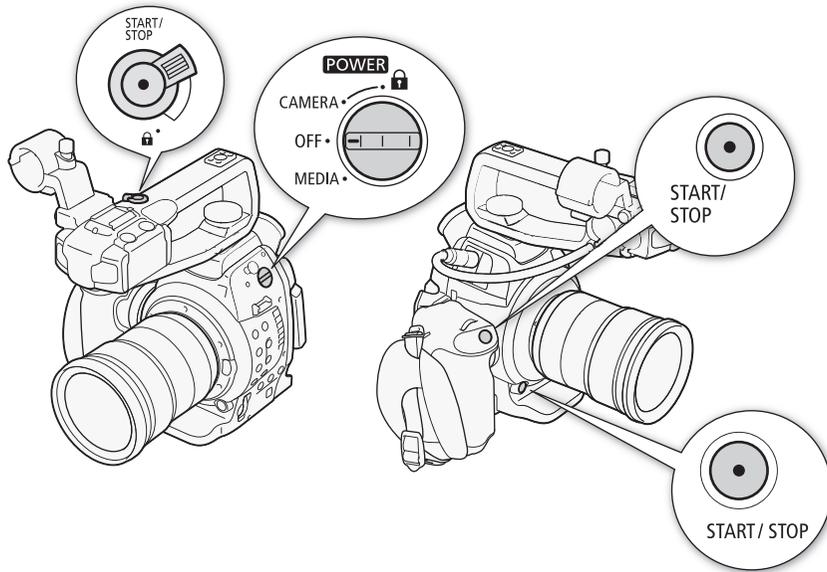
ここでは、動画の基本的な撮影について説明します。音声の記録については、92ページをご覧ください。

## ■ 準備する



- 1 撮影状況に応じて、ハンドルユニット、グリップなどの構成を準備する ( 32)
- 2 充電したバッテリーパックを取り付ける ( 23)
- 3 SDカードを入れる ( 48)
  - リレー記録 ( 50)、ダブルスロット記録 ( 50)を行うときは、SDカードを2枚入れる。
- 4 レンズを取り付ける ( 34)
- 5 ファインダーを調整する ( 41)

## ■ 撮影する



- |  |  |
|--|--|
|  | <p><b>1</b> POWER(電源)スイッチを「CAMERA」にする (□ 26)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機がカメラモードで起動し、撮影一時停止状態 (STBY) になる。</li> <li>● 両方のSDカードスロットのアクセスランプが点灯したあと、記録先として選択されているSDカードスロットのアクセスランプが緑色に点灯する。</li> </ul>       |
|  | <p><b>2</b> START/STOP(スタート/ストップ)ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 撮影が始まる。前後のタリーランプが点灯し、画面に●RECが表示される。</li> <li>● グリップのSTART/STOPボタン、ハンドルユニットのSTART/STOPボタン、本体前面のSTART/STOPボタンのいずれを押しても撮影開始できる。</li> </ul> |
|  | <p><b>3</b> 撮影を停止するとき もう一度START/STOP(スタート/ストップ)ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 撮影が終了してクリップ*がSDカードに記録され、撮影一時停止状態 (STBY) になる。タリーランプは消灯する。</li> </ul> <p>* 本書では、1回の撮影操作で記録される動画を「クリップ」と呼びます。</p>            |



### ● ご注意

- アクセスランプが赤色に点灯している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - SDカードカバーを開けて、SDカードを取り出さない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどを取り外さない。
- 万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください。データ破損の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。



### MEMO

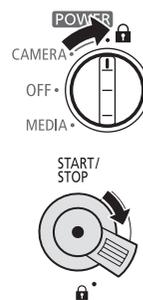
- 撮影環境によっては、オートフォーカス、絞り、手ブレ補正機能などを使用するときのレンズの動作音やファンの回転音が記録されることがあります。その場合、外部マイクを使用することで低減することができます。
- 1回の撮影操作で撮影できる時間は約12時間です。12時間を超えると自動的に停止します。
- レックレビュー機能(□ 105)を使うと、カメラモードのまま、最後に撮影したクリップの映像を再生して確認できます。
- その他機能メニュー ▶ 「最終クリップ消去」で、最後に記録したクリップを消去できます(□ 177)。なお、ダブルスロット記録を「入」に設定していると、「最終クリップ消去」は使用できません。
- その他機能メニュー ▶ 「HDMI」 ▶ 「記録コマンド」 ▶ を「入」にして、本機とHDMI記録コマンド対応機器をHDMI OUT端子でつなぐと、本機の撮影/撮影一時停止操作(START/STOPボタンの操作)と連動して、他機の記録/記録一時停止を行うことができます。
- 撮影中にリレー記録が発生すると、撮影された映像はそれぞれ別々のクリップとして記録されます。撮影された映像は、付属のソフトウェアData Import Utilityで結合してパソコンに取り込むことができます(□ 151)。
- クリップ内の映像ファイル(ストリーム)は、約2 GB毎に分割して記録されます(本機で再生したときは、連続して再生されます)。分割されたファイルは、付属のソフトウェアData Import Utilityで結合してパソコンに取り込むことができます(□ 151)。

### 撮影設定をロックする

POWER (電源) スイッチを  (キーロック) にすると、カメラモードのまま、START/STOPボタン以外の操作を無効にでき、誤操作を防止することができます\*1。POWER (電源) スイッチをCAMERAに戻すとキーロックは解除されます。ハンドルユニットのSTART/STOPボタンには、誤操作防止用のロックレバーがあります。ロックレバーを  側にすると、ハンドルユニットのSTART/STOPボタンをロック\*2できます。レバーを元の位置に戻すとロックは解除されます。

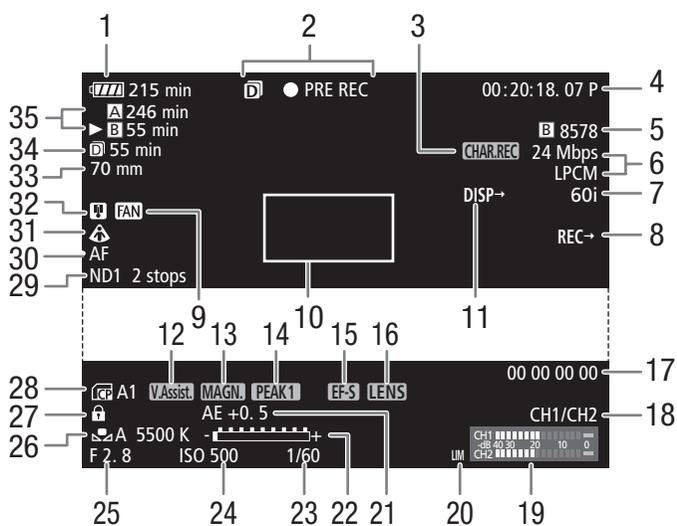
\*1 その他機能メニュー ▶ 「Custom Function」 ▶ 「 START/STOP」でSTART/STOPボタンを無効にすることもできます(  179)。

\*2 このとき、本体側の操作はロックされません。

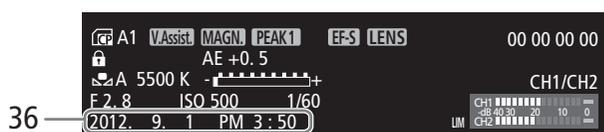


## ■ 撮影時の画面表示

ここでは、カメラモードのときの画面表示について説明します。ここで説明する項目はすべて、カスタムディスプレイ (173) で表示/非表示を選択できます。



「日付/時刻」を表示したときの画面



## 1 バッテリー残量の目安



バッテリー残量アイコンと撮影／再生可能時間（分単位）を表示します。が表示されたらバッテリーが消耗しています。充電したバッテリーと交換してください。本機やバッテリーの状態によっては、実際のバッテリー残量と表示内容とが一致しないことがあります。

## 2 撮影状態（記録モード）

- REC                                      撮影中
- STBY                                      撮影一時停止中
- PRE REC                                      プレ記録撮影中
- PRE REC STBY                                      プレ記録撮影一時停止中

ダブルスロット記録時（ 50）は、左側にが表示されます。常時記録モード時（ 107）は、左側に「CONT」が表示されます。

## 3 表示文字記録 128

## 4 タイムコード 88

## 5 静止画撮影／静止画記録可能枚数 154

## 6 ビットレート／音声記録方式 61

- 音声記録形式は「ビットレート」で「24 Mbps LPCM」を選択しているときのみ表示されます。

## 7 フレームレート 61

## 8 HDMI記録コマンド 178

## 9 FAN状態 45

## 10 ONE-SHOT AF枠 80

## 11 画面表示出力 148

## 12 ビューアシスト 60

## 13 拡大表示 82

## 14 ピーキング 82

## 15 EF-Sレンズ 34

## 16 レンズ警告 173

## 17 ユーザービット 91

## 18 音声出力チャンネル 149

## 19 オーディオレベルメーター 98

## 20 オーディオリミッター 99

## 21 AEシフト 73

## 22 露出バー 73

## 23 シャッタースピード 64

## 24 ISO感度／ゲイン 68

## 25 アイリス／F値 71

## 26 ホワイトバランス 75

## 27 キーロック 57

## 28 カスタムピクチャー 115

## 29 NDフィルター 70

## 30 フォーカスモード 79

## 31 測光方式 74

## 32 高温警告 45

本体内部の温度が高くなると黄色く表示される。さらに温度が上昇すると、赤く表示される。

## 33 焦点距離\*1

## 34 ダブルスロット記録残量表示／ショット総記録時間（常時記録） 50、107

## 35 SDカード状態／記録可能時間（分）

## SDカード状態

- … SDカードに記録可能
  - … SDカードなし／記録不可能
- 選択中のメディアに▶が付く。

## 記録可能時間（分）

## 36 日付/時刻 27

\*1 焦点距離は目安として使用してください。



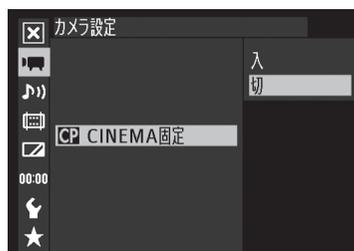
## MEMO

DISP. / BATT.INFO ボタン（ 14）を押すと画面表示を次のように切り換えることができます。  
全表示 → マーカーのみ表示\* → 全消去

\* マーカー表示（ 82）を「入」にしているときのみ。

## CINEMAプリセットとCanon Log

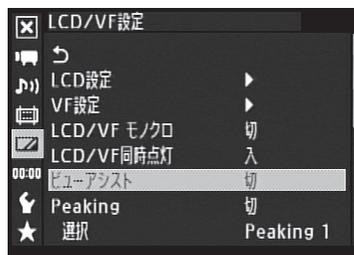
本機は、ポストプロダクション処理を行うことを前提とするシネマ撮影用設定を簡単に行うことができます。ガンマとカラーマトリクスにCanon Log(□ 122)を使用するので、撮像素子の特性を最大限に引き出す広いダイナミックレンジを実現し、ポスト処理に適した色調の映像を記録することができます。画質設定をカスタムピクチャーのCINEMAプリセット(□ 118)に固定するため、カスタムピクチャーは使用できません。なお、Canon Logで撮影したクリップは、ポストプロダクション処理を行う際にLUT(ルックアップテーブル)を適用することができます。最新のLUTデータについては、キヤノンのホームページでご確認ください。



- ① カメラ設定 ▶ 「**CP** CINEMA固定」を順に選ぶ。
- ② 「入」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 本機の画質設定が、カスタムピクチャーのCINEMAプリセットに固定され、画面に**CP**LOCKEDが表示される。

## Canon Log使用時の映像を画面で確認する(ビューアシスト)

Canon Logを使用すると、画面に表示される映像が全体的に暗くなります。Canon Logで撮影している映像を本機の画面で確認するときは、ビューアシストを使用すると、通常のガンマに近い色調で表示できます。ビューアシストは、各出力端子から出力される映像や、記録される映像には影響しません。



- ① LCD/VF設定 ▶ 「ビューアシスト」を順に選ぶ。
- ② 「入」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 画面に**V.Assist.**が表示される。

# 映像の信号形式を選ぶ

映像を記録するときの信号形式を切り換えることができます。信号形式は、ビットレート、音声記録方式、解像度、フレームレートと撮影時のスキャン方式の組み合わせからなります。フレームレートは、「システム周波数」の設定によって選択できる値が異なります。

## 記録信号形式一覧

ビットレート	解像度	音声記録形式	59.94 Hz <sup>*1</sup>	50.00 Hz <sup>*1</sup>
			フレームレート	
24 Mbps LPCM (VBR) <sup>*2</sup>	1920 × 1080	リニアPCM	60i PF30 <sup>*3</sup> PF24 <sup>*4</sup> 24P	50i PF25 <sup>*5</sup>
24 Mbps (VBR)		Dolby Digital		
17 Mbps (VBR)				
7 Mbps (VBR)	1440 × 1080			

\*1 その他機能メニュー ▶ 「システム周波数」の設定。

\*2 VBR : Variable Bit Rateの略。

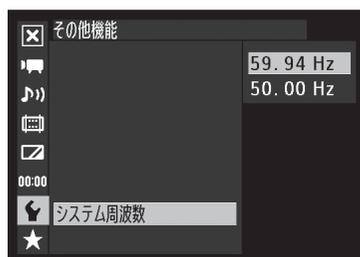
\*3 映像を30コマ/秒で撮影、60iに変換して記録する。

\*4 映像を24コマ/秒で撮影、60iに変換して記録する。

\*5 映像を25コマ/秒で撮影、50iに変換して記録する。

## システム周波数を選ぶ

CAMERA MEDIA



① その他機能メニュー ▶ 「システム周波数」を順に選ぶ。

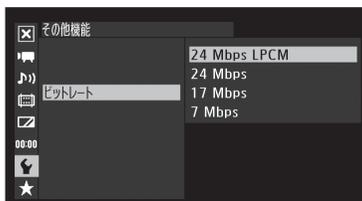
② 「59.94 Hz」または「50.00 Hz」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

- 本機が59.94 Hzモードまたは50.00 Hzモードに設定され、再起動する。

## ■ ビットレートを選ぶ

CAMERA MEDIA

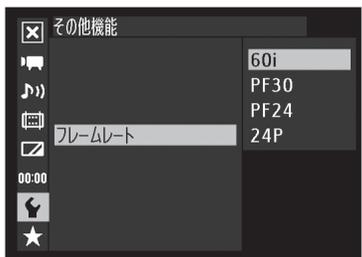
解像度はビットレートの選択で決定します。



- ① その他機能メニュー ▶ 「ビットレート」を順に選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 選んだビットレートが画面に表示される。

## ■ フレームレートを選ぶ

CAMERA MEDIA



- ① その他機能メニュー ▶ 「フレームレート」を順に選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 選んだフレームレートが画面に表示される。



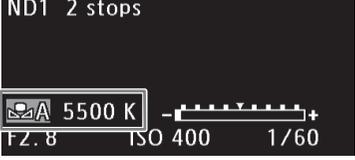
### MEMO

- 1枚のSDカードに、59.94 Hzモード、50.00 Hzモードで撮影したクリップを混在して記録することはできません。
- 各種出力端子からの信号については、「出力信号形式」(144)をご覧ください。
- 本機では、フレームレートを「24P」にして撮影した映像を標準画質(MPEG-2方式)に変換できません(140)。

# ジョイスティックで機能を設定する

CAMERA MEDIA

ジョイスティックを操作して、ホワイトバランス、ISO感度／ゲイン、シャッタースピードの3つの設定を切り換えて設定することができます。ここでは、基本的な操作を説明します。それぞれの詳細は、シャッタースピードを調整する (□ 64)、ISO感度／ゲインを調整する (□ 68)、ホワイトバランスを調整する (□ 75) をご覧ください。

	<p><b>1 ジョイスティックを押す</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 画面のホワイトバランス、ISO感度/GAIN、シャッタースピードのいずれかの背景がオレンジ色になる。約6秒間操作しないと、オレンジ色の背景は消える。</li></ul>	
	<p><b>2 項目を切り換える</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● ジョイスティックを左右に押すと、ホワイトバランス、ISO感度／ゲイン、シャッタースピードにオレンジの背景が切り換わる。設定する機能にオレンジの背景を合わせる。</li></ul>	
	<p><b>3 調整方法や数値を変更する</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>① ジョイスティックを上下に押して調整方法や数値を変更する。</li><li>② ジョイスティックを押す。<ul style="list-style-type: none"><li>● 設定が決定され、画面はオレンジ色の表示が解除され、通常表示に戻る。</li></ul></li></ol>	

# シャッタースピードを調整する

CAMERA MEDIA

シャッタースピードを調整すると、動きの速い被写体（スポーツや乗り物など）を鮮明に撮影する、低照度のシーンを明るく撮影するなど被写体や撮影環境に合わせて撮影できます。シャッタースピードの調整には、次の5種類のモードがあります。

- スピード： 秒数でシャッタースピードを設定する。設定時の刻み幅は、メニューで1/3段と1/4段から選べる。
- アングル： 開角度でシャッタースピードを設定する。
- クリアスキャン： 周波数でシャッタースピードを設定する。モニター画面に黒い帯が出ないようにするときなど。
- スロー： フレームレートより低速のシャッタースピードを秒数で設定する。低照度の場所で撮影するときなど。
- 切： 各フレームレートの基準シャッタースピードを使用する。

## ■ 設定可能なシャッタースピード

選べるシャッタースピードはフレームレートによって異なります。

		フレームレート			
		60i	PF30	PF24/24P	
シャッタースピードのモード	切	1/60秒	1/30秒	1/24秒	
	スピード	1/3段刻み	1/60、1/80、1/100、1/125、1/160、1/200、1/250、1/320、1/400、1/500、1/640、1/800、1/1000、1/1250、1/1600、1/2000秒	1/30、1/40、1/50、1/60、1/80、1/100、1/125、1/160、1/200、1/250、1/320、1/400、1/500、1/640、1/800、1/1000、1/1250、1/1600、1/2000秒	1/25、1/30、1/40、1/50、1/60、1/80、1/100、1/125、1/160、1/200、1/250、1/320、1/400、1/500、1/640、1/800、1/1000、1/1250、1/1600、1/2000秒
		1/4段刻み	1/60、1/75、1/90、1/100、1/120、1/150、1/180、1/210、1/250、1/300、1/360、1/420、1/500、1/600、1/720、1/840、1/1000、1/1200、1/1400、1/1700、1/2000秒	1/30、1/34、1/40、1/48、1/60、1/75、1/90、1/100、1/120、1/150、1/180、1/210、1/250、1/300、1/360、1/420、1/500、1/600、1/720、1/840、1/1000、1/1200、1/1400、1/1700、1/2000秒	1/24、1/30、1/34、1/40、1/48、1/60、1/75、1/90、1/100、1/120、1/150、1/180、1/210、1/250、1/300、1/360、1/420、1/500、1/600、1/720、1/840、1/1000、1/1200、1/1400、1/1700、1/2000秒
	アングル	360°、240°、216°、180°、120°、90°、60°、45°、30°、22.5°、15°、11.25°	360°、240°、216°、180°、120°、108°、90°、60°、45°、30°、22.5°、15°、11.25°	360°、345.6°、288°、240°、180°、172.8°、144°、120°、90°、86.4°、72°、60°、45°、30°、22.5°、15°、11.25°	
	クリアスキャン	59.94 Hz ~ 250.27 Hz	29.97 Hz ~ 250.27 Hz	23.98 ~ 250.27 Hz	
	スロー	1/4、1/8、1/15、1/30秒	1/4、1/8、1/15秒	1/3、1/6、1/12秒	

		フレームレート		
		50i	PF25	
シャッタースピードのモード	切	1/50秒	1/25秒	
	スピード	1/3段刻み	1/50、1/60、1/80、1/100、1/125、1/160、1/200、1/250、1/320、1/400、1/500、1/640、1/800、1/1000、1/1250、1/1600、1/2000秒	1/25、1/30、1/40、1/50、1/60、1/80、1/100、1/125、1/160、1/200、1/250、1/320、1/400、1/500、1/640、1/800、1/1000、1/1250、1/1600、1/2000秒
		1/4段刻み	1/50、1/60、1/75、1/90、1/100、1/120、1/150、1/180、1/210、1/250、1/300、1/350、1/400、1/500、1/600、1/700、1/800、1/1000、1/1200、1/1400、1/1600、1/2000秒	1/25、1/29、1/33、1/40、1/50、1/60、1/75、1/90、1/100、1/120、1/150、1/180、1/210、1/250、1/300、1/350、1/400、1/500、1/600、1/700、1/800、1/1000、1/1200、1/1400、1/1600、1/2000秒
	アングル	360°、300°、240°、180°、150°、120°、90°、60°、45°、30°、22.5°、15°、11.25°	360°、300°、240°、180°、150°、120°、90°、75°、60°、45°、30°、22.5°、15°、11.25°	
	クリアスキャン	50.00 Hz ~ 250.78 Hz	25.00 Hz ~ 250.78Hz	
	スロー	1/3、1/6、1/12、1/25秒	1/3、1/6、1/12秒	

## ■ モードを選択して調整する



### 1 シャッタースピードのモードを選ぶ

- ① カメラ設定メニュー ▶ 「Shutter」 ▶ 「モード」を順に選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



### 2 「スピード」を選んだとき 設定時の刻み幅を選ぶ

- ① カメラ設定メニュー ▶ 「Shutter」 ▶ 「Shutterステップ」を順に選ぶ。
- ② 「1/3段」または「1/4段」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



## SHUTTER



### 3 値を調整する

- ① SHUTTERボタンを押す。
  - 画面のシャッタースピードの背景がオレンジ色になる。
  - ジョイスティックを押してシャッタースピード設定に入ることできる (□ 63)。
- ② ジョイスティックを上下に押して数値を選ぶ。
- ③ ジョイスティックを押す。
  - シャッタースピードの設定値が決定され、オレンジ色の表示が解除される。



#### MEMO

アサインボタンに「SHUTTER」を割り当てると、アサインボタンを押してシャッタースピードの設定モードに入ることができます。

#### スローによる撮影について

スローを使うと、明るさが不足している場所で被写体を明るく撮影できます。また、動いている被写体をパンするときに背景を流す、ズームに残像効果を加えるなどの特殊効果として使用することもできます。

- 通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。



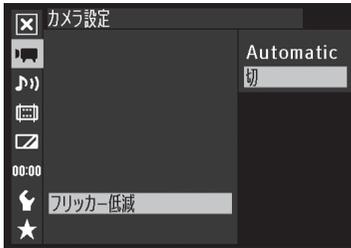
#### MEMO

小絞りによるボケを防ぐには

- 晴天下などの明るい場所で撮影するときに絞りを絞り込むと、小絞りによるボケが発生することがあります。この現象は、NDフィルターの濃度を濃くするか、シャッタースピードを高速にして、絞りを開くことによって防止できます。
- シャッタースピードのモードをスローにすると、画面に赤、緑、青の輝点が出ることがあります。このときはシャッタースピードを上げるか、ISO感度／ゲインを下げてください。
- カスタムピクチャーをEOS Std.プリセットに設定しているとき、「スピード」モードでデジタル一眼レフカメラEOSと同じシャッター値を設定しても、デジタル一眼レフカメラEOSと同じ輝度にならないことがあります。
- リモートコントローラー RC-V100(別売)のSHUTTER SELECTボタンで、シャッタースピードのモードを切り換えることもできます。

## ■ フリッカーを抑える

蛍光灯のフリッカーを自動的に検知して補正することもできます。



① カメラ設定メニュー ▶ 「フリッカー低減」を順に選ぶ。

② 「Automatic」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



### MEMO

#### 人工光源の照明下でフリッカーが気になるとき

- 蛍光灯、水銀灯、ハロゲンライトなどの人工光源の照明下で撮影する場合、設定したシャッタースピードによっては、原理上フリッカーが出ることがあります。フリッカーは、電源の周波数に応じたシャッタースピードを設定すると抑制できることがあります。電源周波数が50Hzのときは1/50秒\*または1/100秒を、60Hzのときは1/60秒または1/120秒を選んでください。

\* フレームレートによっては選択できません。

# ISO感度／ゲインを調整する

CAMERA MEDIA

映像アンプの増幅量をISO感度またはゲインで設定できます。設定時の刻み幅は、ISO感度／ゲインそれぞれ個別に設定できます。

## 設定可能な値

	刻み幅	設定可能な値	
			感度拡張時のみ*1
ISO感度	1段	320*2、400、800、[850]*3、1600、3200、6400、12800、20000*2*4	25600、51200、80000*2
	1/3段	320、400、500、640、800、[850]*3、1000、1250、1600、2000、2500、3200、4000、5000、6400、8000、10000、12800、16000、20000	25600、32000、40000、51200、64000、80000
ゲイン	ノーマル (3 dB)	-6 dB、-3 dB、0 dB、3 dB、6 dB、9 dB、12 dB、15 dB、18 dB、21 dB、24 dB、27 dB、30 dB	33 dB、36 dB、39 dB、42 dB
	ファイン (0.5 dB)	0 ~ 24 dB	—

\*1 カメラ設定メニュー ▶ 「ISO/Gain」 ▶ 「感度拡張」を「入」にすると選択できる (□ 167)。

\*2 刻み幅が1段のときでも最大値／最小値を設定可能。

\*3 []で表記したISO感度は、Canon Logガンマに適したダイナミックレンジを実現するのに必要な感度。ゲインの2.5 dBに相当。

\*4 「感度拡張」が「切」のときのみ設定可能。

## モードを選択して調整する



### 1 設定方法を選ぶ

- ① カメラ設定メニュー ▶ 「ISO/Gain」 ▶ 「選択」を順に選ぶ。
- ② 「ISO」または「Gain」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。





## 2 設定時の刻み幅を選ぶ

### 「ISO」を選んだとき

- ① カメラ設定メニュー ▶ 「ISO/Gain」 ▶ 「ISOステップ」を順に選ぶ。
- ② 「1段」または「1/3段」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

### 「Gain」を選んだとき

- ① カメラ設定メニュー ▶ 「ISO/Gain」 ▶ 「Gain」を順に選ぶ。
- ② 「ノーマル」または「ファイン」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



ISO/GAIN



## 3 値を調整する

- ① ISO/GAINボタンを押す。
  - 画面のISO/GAINの背景がオレンジ色になる。
  - ジョイスティックを押してISO / GAIN設定に入ることもできる ( 63 )。
- ② ジョイスティックを上下に押して数値を選ぶ。
- ③ ジョイスティックを押す。
  - ISO/GAINの設定値が決定され、オレンジ色の表示が解除される。



MEMO

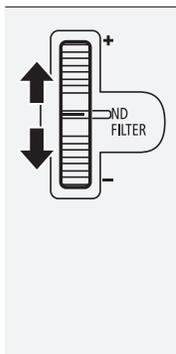
- ISO感度／ゲインを上げると画面が多少ざらつくことがあります。
- ISO感度／ゲインを上げると、画面に赤、緑、青の輝点が出る場合があります。このときはシャッタースピードを上げるか、ISO感度／ゲインを下げてください。
- ISO感度／ゲインの切り換え時、画面にノイズが現れることがあります。撮影中は、ISO感度／ゲインを切り換えないでください。
- ISO感度／ゲインの値を、リモートコントローラー RC-V100(別売)のISO/GAIN (ISO感度/ゲイン) 上/下ボタンを押して調整することもできます。

# NDフィルターを切り換える

CAMERA MEDIA

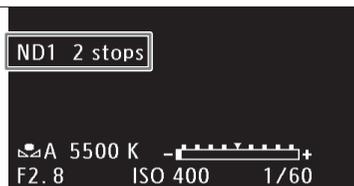
レンズの絞りを適切な範囲\*に保つために、NDフィルターを使用できます。

\* 屋外などの明るい場所で撮影するとき、光の量を調整するためにアイリスを絞り込むと、絞りの径が極端に小さくなってボケが生じることがあります。この現象を「小絞り回折」または「小絞りによるボケ」と呼びます（ボケが発生する絞り径は、レンズのズーム位置によって異なります）。このときは、NDフィルターを使うか、シャッタースピードを速くして光の量を減らすと、絞りをより開くことができ、小絞りによるボケを回避できます。



## 1 NDフィルターを切り換える

- ① ND FILTER (NDフィルター) 切り換えダイヤルを回す。
  - +側（上方向に回すたびに、次の順にNDフィルターが切り換わる（-側（下方向）は逆順）。  
OFF → ND1 2 stops → ND2 4 stops → ND3 6 stops → OFF
- ② 希望のNDフィルターに切り換わるまで①の操作を繰り返す。
  - 切り換えたNDフィルターが画面に表示される。



### MEMO

シーンによっては、NDフィルターを入/切すると、わずかに発色が変わることがあります。このときはホワイトバランスをセットして撮影すると効果的です（[75](#)）。

# アイリスを調整する

CAMERA MEDIA

被写体の明るさに応じてアイリス（絞り）を調整します。被写界深度を変えて背景や周囲をぼかし、被写体を引き立たせたいときは絞り値を小さく、近くのものから遠くのものまでピントを合わせたいときは、絞り値を大きく設定します。

アイリスの設定のしかたは、次の2種類があります\*。

\* レンズによって使用できる調整方法が異なる（□ 211）

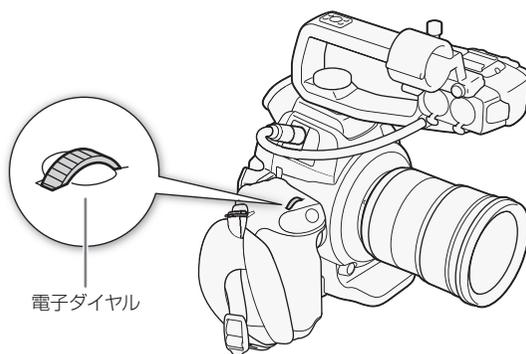
オート：被写体の明るさに応じてアイリスを自動調整する。

マニュアル：電子ダイヤルを回して、アイリスを手動で調整する。

## カメラからのアイリス調整に対応するEFシネマレンズを使うとき

レンズ側の操作部／設定がレンズによって異なります。詳細はレンズの説明書をご覧ください。

レンズ	レンズの操作部名称	オート
CN7×17 KAS S/E1、CN20×50 IAS H/E1	アイリス動作モード切替えスイッチ	A
CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S	アイリスオート／マニュアル切替えスイッチ	A



## ■ オートで調整する

対応するEFレンズ（□ 211）を装着しているときは、アイリスを常に自動調整できます。



### 1 アイリスのモードをオートにする

- ① カメラ設定メニュー ▶ 「Iris」 ▶ 「モード」を順に選ぶ。
- ② 「Automatic」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - アイリス調整に対応するEFシネマレンズ装着時は、レンズのアイリス設定をオートにする（□ 71）。
  - オートのときは、画面のF値の左に「A」が表示される。



MEMO

アサインボタンに「Irisモード」を割り当てると、アサインボタンを押して「Automatic」と「Manual」を切り換えることができます（□ 112）。

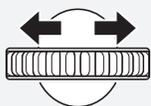
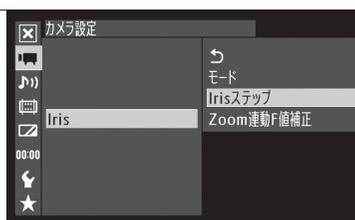
## ■ マニュアルで調整する

グリップの電子ダイヤルでアイリスを調整します。設定可能な値 (F値) は取り付けられたレンズによって異なります。また、設定時の刻み幅は、「1/2段」、「1/3段」、「ファイン」をメニューで設定できます。アイリスのモードが「Automatic」のときは「Manual」に変更してから操作してください (☞ 71)。アイリス調整に対応するEFシネマレンズ装着時は、レンズのアイリス設定をオートにしてください (☞ 71)。



### 1 設定時の刻み幅を選ぶ

- ① カメラ設定メニュー ▶ 「Iris」 ▶ 「Irisステップ」を順に選ぶ。
- ② 「1/2段」、「1/3段」、「ファイン」(1/3段より細かい刻み幅)のいずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



### 2 電子ダイヤルを回してF値を調整する

- 調整したF値が画面に表示される\*。
- \* 「ファイン」を選んだときは「1/3段」刻みで表示される。



### MEMO

- EFシネマレンズなど接点のないEFレンズを装着しているときは、本機でアイリスを調整できません。レンズ側で調整してください。
- その他機能メニュー ▶ 「Custom Function」 ▶ 「グリップ電子ダイヤル方向」で、グリップの電子ダイヤルの操作方向を変更することができます (☞ 128)。
- ズーム操作によりF値が変化するEFレンズを使うときは、カメラ設定メニュー ▶ 「Iris」 ▶ 「Zoom連動F値補正」で、ズームに連動してF値を維持するかどうかを指定できます (☞ 167)。
- アサインボタンに「Iris +」と「Iris -」を割り当てると、アサインボタンを押して、F値を調整することができます (☞ 112)。  
Iris + : 絞りを開く。  
Iris - : 絞りを絞る。
- リモートコントローラー RC-V100 (別売) でアイリスを調整するときは、RC-V100のIRIS (アイリス) ダイヤルを右に回すとF値が小さくなり、左に回すとF値が大きくなります (初期状態)。
- アイリス調整に対応するEFシネマレンズを装着して、アイリスがオープンまたはクローズの状態からF値を変更するとき、アイリスが動作するまでに複数回の操作が必要なことがあります。

## 一時的にオートで調整する（プッシュオートアイリス）

アイリスがマニュアルのとき、PUSH AUTO IRIS（プッシュオートアイリス）ボタンを押している間、絞りを自動的に調整して適正な露出にします。アイリスのモードが「Automatic」のときは「Manual」に変更してから操作してください（□71）。アイリス調整に対応するEFシネマレンズ装着時は、レンズのアイリス設定をオートにしてください（□71）。

PUSH AUTO IRIS



## 1 PUSH AUTO IRISボタンを押し続ける

- 適正露出になるように絞りを自動的に調整する。
- 画面のF値の左に「A」が表示される。

PUSH AUTO IRIS



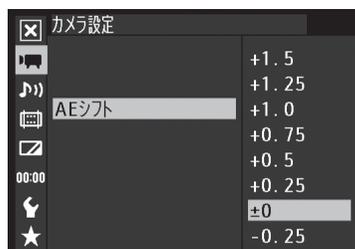
## 2 PUSH AUTO IRISボタンを離す

- 自動での露出調整が終了し、PUSH AUTO IRISボタンを離したときのF値が表示される。F値の左の「A」は消える。

## ■ 露出を調整する

アイリスがオートの時の明るさ目標値を設定して露出補正をおこないます（AEシフト）。AEシフトは15段階から設定できます。

-2.0、-1.5、-1.25、-1.0、-0.75、-0.5、-0.25、±0、+0.25、+0.5、+0.75、+1.0、+1.25、+1.5、+2.0



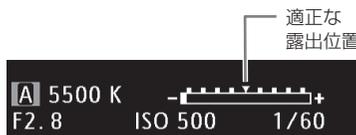
- ① カメラ設定メニュー ▶ 「AEシフト」を順に選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



**MEMO**

- PUSH AUTO IRISボタンを押している間、電子ダイヤルでAEシフトを調整することができます。
- アサインボタンに「AE Shift +」と「AE Shift -」を割り当てると、アサインボタンを押して、AEシフトを設定することができます(□ 112)。
- AEシフトを変更して、オートで露出を調整すると、調整された位置で露出バーの指標が点灯します。

**露出バー**



適正露出からどれくらいずれているかを露出バーの指標の位置で確認することができます。

指標は適正露出との差を示す位置で点灯します。露出バーの中央が適正露出で、露出バーの刻み幅は1/2段です。露出が±2段を超えるときは露出バーの端で指標が点滅します。適正露出はAEシフトが±0時の明るさ目標値です。測光方式(□ 74)を変更すると、適正露出は変化します。

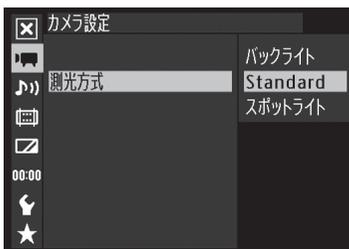
## ■ 測光方式を設定する

測光方式を設定すると、アイリスがオートの時、より適正な明るさで撮影することができます。測光方式には次の3種類があります。

バックライト(逆光)：逆光のシーンを撮影するとき、画面中の暗部をより明るく制御する。

Standard(スタンダード)：画面中央の被写体に重点を置きながら、画面全体を測光する。

スポットライト：スポットライトが当たった被写体を撮影するとき、スポット的に明るくなった部分が最適な明るさになるように制御する。



① カメラ設定メニュー ▶ 「測光方式」を順に選ぶ。

② いずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

- バックライトを選んだときは画面に☼が、スポットライトを選んだときは画面に☀が表示される。



**MEMO**

アサインボタンに「バックライト」または「スポットライト」を割り当てると、アサインボタンを押して入/切を切り換えられます(□ 112)。

# ホワイトバランスを調整する

CAMERA MEDIA

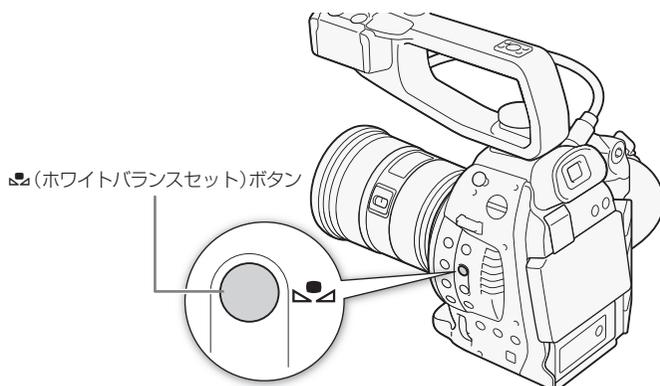
照明や太陽光などの光源の色温度に応じて、ホワイトバランスを設定することができます。調整のしかたには次の4種類があります。

ホワイトバランスセット： グレーカードや白い無地の被写体を写して基準白色を取り込む。セットAとセットBの2種類の設定を登録できる。

プリセット設定： 「☀️(太陽光)」または「💡(電球)」のいずれかを選ぶ。

色温度設定： 2000K ~ 15000Kの範囲で色温度を設定する。

オートホワイトバランス： 常に適切なホワイトバランスになるように自動調整する。

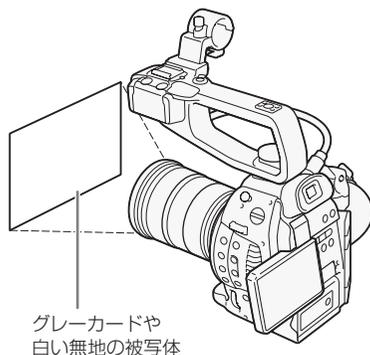


## MEMO

- カスタムピクチャーの「Color Matrix」(☐ 125)または「White Balance」(☐ 126、127)を設定しているときは、それらの設定がホワイトバランス設定より優先されます。
- その他機能メニュー ▶ 「Custom Function」 ▶ 「ショックレスWB」を「入」にすると、ホワイトバランスを切り換えたときに値がなめらかに変化します(☐ 178)。
- リモートコントローラー RC-V100(別売)のA / Bボタン、PRESETボタン、☑️ボタン、AWB(オートホワイトバランス)ボタンを使って、調整することもできます。

## ■ ホワイトバランスセットで調整する

実際に撮影する環境下で白い紙などを写して基準白色を取り込みます。「☑️A」と「☑️B」の2種類の設定を登録できます。





## 1 調整方法を選ぶ

- ① WB (ホワイトバランス) ボタンを押す。
  - 画面のホワイトバランスの背景がオレンジ色になる。
  - ジョイスティックを押してホワイトバランスの設定に入ることもできる (P. 63)
- ② ジョイスティックを上下に押して、「WB A」または「WB B」を選ぶ。

登録済みのホワイトバランスセットを選ぶとき  
ジョイスティックを押す。以降の操作は不要。

- 一度も設定を登録していないときは、選んだ「WB A」 / 「WB B」が画面上で点滅する。



## 2 実撮影と同じ照明条件下にグレーカードや白い無地の被写体を置き、画面いっぱいに写す



## 3 基準白色を取り込んで、登録する

- ① WB (ホワイトバランスセット) ボタンを押す。
  - ホワイトバランス設定から抜け、「WB A」または「WB B」が速く点滅する。
  - 調整中は、グレーカードや白い無地の被写体を画面いっぱいに写し続ける。
  - 点滅→点灯に変わったら調整完了。調整されたホワイトバランスは電源を切っても記憶されている。

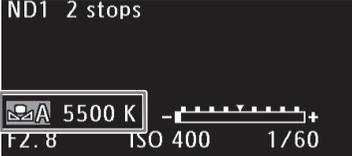
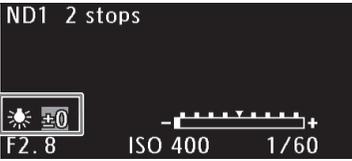
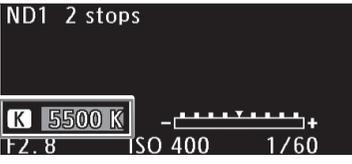


### MEMO ホワイトバランスセットで調整するとき

- 場所や明るさが変わったとき、NDフィルターを切り換えたときは、セットし直してください。
- 光源によっては、ごくまれにWBが速い点滅→点灯に変わらない(速い点滅から遅い点滅に変わる)ことがあります。その場合でもオートホワイトバランスにより適切に調整されていますので、そのまま撮影できます。

## ■ プリセット設定／色温度設定で調整する

屋外（太陽光）用、または屋内（電球）用にプリセットされた設定を選ぶか、色温度を指定してホワイトバランスを調整します。プリセット設定を選んだときは、+9～-9の範囲で微調整することができます。色温度は、設定範囲が2000K～15000Kで、100K刻みで設定できます。

 	<p><b>1 調整方法を選ぶ</b></p> <p>① WB（ホワイトバランス）ボタンを押す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 画面のホワイトバランスの背景がオレンジ色になる。</li> <li>● ジョイスティックを押してホワイトバランス設定に入ることもできる（□ 63）。</li> </ul> <p>② ジョイスティックを上下に押して、「☀（太陽光）」、「💡（電球）」、「K（色温度）」のいずれかを選ぶ。</p>	
 	<p><b>2 「☀（太陽光）」または「💡（電球）」を選んだとき 必要に応じて微調整する</b></p> <p>① 📁（ホワイトバランスセット）ボタンを押す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 画面に微調整用の入力エリアがオレンジ色で表示される。</li> </ul> <p>② ジョイスティックを上下に押して、調整する。</p> <p>③ ジョイスティックを押す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 調整値が決定され、ホワイトバランス設定を終了する。</li> <li>● 画面ではオレンジ色の表示が解除される。</li> </ul>	
 	<p><b>3 「K（色温度）」を選んだとき 色温度を設定する</b></p> <p>① 📁（ホワイトバランスセット）ボタンを押す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 画面に色温度調整用の入力エリアがオレンジ色で表示される。</li> </ul> <p>② ジョイスティックを上下に押して、調整する。</p> <p>③ ジョイスティックを押す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 色温度が決定され、ホワイトバランス設定を終了する。</li> <li>● 画面はオレンジ色の表示が解除される。</li> </ul>	

## ■ オートホワイトバランスで調整する

常に適切なホワイトバランスになるように自動で調整します。光源の色温度が変化すると、ホワイトバランスも自動的に調整し直されます。



**1 調整方法を選ぶ**

- ① **WB** (ホワイトバランス) ボタンを押す。
  - 画面のホワイトバランスの背景がオレンジ色になる。
  - ジョイスティックを押してホワイトバランスの設定に入ることもできる (P.63)。
- ② ジョイスティックを上下に押して、「A」を選ぶ。
- ③ ジョイスティックを押す。
  - 画面の色温度表示の左に「A」が表示される。

ND1 2 stops

A 5500 K

F2.8

ISO 500

1/60



### MEMO

オートホワイトバランスでうまくいかないとき

次のような条件で撮影する場合、画面の色が不自然なときは、 (ホワイトバランスセット) で調整してください。

- 照明条件が急に変わる場所での撮影。
- クローズアップ撮影。
- 空や海、森などの単一色しか持たない被写体の撮影。
- 水銀灯や一部の蛍光灯、LED照明のもとでの撮影。

# フォーカスを調整する

CAMERA MEDIA

フォーカス調整のしかた\*1には、次の3種類があります。フォーカス調整中は、ピーキング（輪郭強調）表示や拡大表示などのフォーカスアシスト機能を使うとピントを合わせやすくなります。

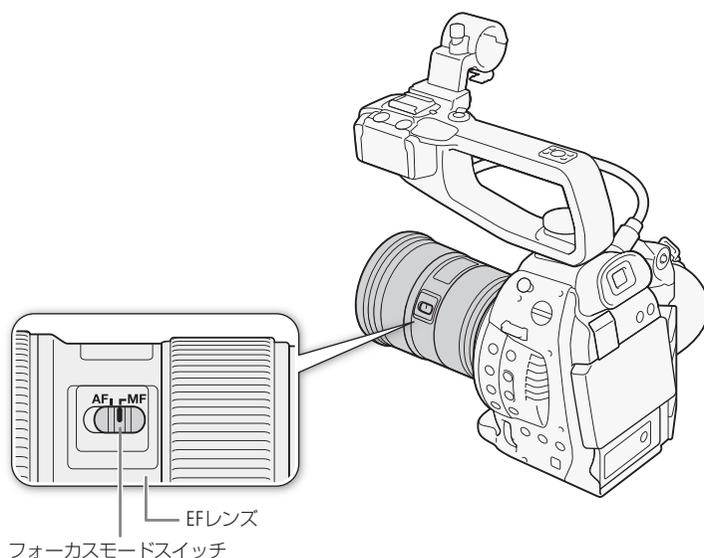
MF（マニュアルフォーカス）：レンズのフォーカスリングを回してフォーカスを調整する。

ONE-SHOT AF：レンズのフォーカスモードスイッチがAF時に、ONE-SHOT AF（ワンショットAF）ボタンを押すと、フォーカスを自動調整する。

コンティニユアスAF\*2：レンズのフォーカスモードスイッチがAF時に、継続して被写体にピントを合わせる。

\*1 レンズによって使用できる調整方法が異なる（□ 211）

\*2 マニュアルフォーカスレンズ装着時を除く。

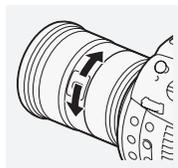


## カメラからのフォーカス調整に対応するEFシネマレンズを使うとき

レンズ側の操作部／設定がレンズによって異なります。詳細はレンズの説明書をご覧ください。

レンズ	レンズの操作部名称	オート	マニュアル
EFレンズ	フォーカスモードスイッチ	AF	MF
CN7×17 KAS S/E1、CN20×50 IAS H/E1	フォーカスサーボ／マニュアル切替えノブ	SERVO	MANU.
CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S	オートフォーカス／マニュアルフォーカス切替えスイッチ	AF	MF

## ■ レンズのフォーカスリングで調整する



フォーカスリングを回して、ピントを合わせます。



## MEMO

- フォーカスモードスイッチをAFにしているとき(AFモード)でも、フォーカスリングによるフォーカス調整を行うことができます。ただし、レンズによってはフォーカス調整ができないことがあります。このときは、フォーカスモードスイッチをMFにしてください。
- ピントを合わせたあとでズーム操作を行うと、ピントがズレることがあります。
- フォーカス調整時にレンズの先端部分やフォーカスリングが動くときは、動いている部分に触れないでください。
- 電源を入れたままで放置するとピントがボケることがあります。これはレンズとカメラ内部の温度上昇によってピント面がわずかに移動するためです。撮影を開始する前に再度ピントを確認してください。
- リモートコントローラー RC-V100(別売)を使うとき、RC-V100のFOCUS(フォーカス)ダイヤルを右に回すと無限方向に、左に回すと至近方向に調整できます(初期状態)。

## ONE-SHOT AF(ワンショットAF)



### 1 レンズのフォーカスモードスイッチをAFにする

- フォーカス調整に対応するEFシネマレンズの装着時は、レンズのフォーカス設定をオートにする(☐ 79)。
- 画面にAFが表示される。



### 2 ONE-SHOT AFボタンを押す

- 画面中央に白い枠が表示され、自動的にフォーカスの調整を行う。ピントが合うと、枠が緑色に変わる。
- フォーカスの調整ができない場合は、枠が赤色に変わる。
- ONE-SHOT AFボタンを離すと枠が消える。

## コンティニューアスAF

対応するEFレンズ(☐ 211)を装着しているときは、フォーカスを常に自動調整できます。



### 1 レンズのフォーカスモードスイッチをAFにする

- フォーカス調整に対応するEFシネマレンズの装着時は、レンズのフォーカス設定をオートにする(☐ 79)。
- 画面にAFが表示される。

## 2 コンティニュアスAFを選ぶ

- ① カメラ設定メニュー ▶ 「AF Mode」を順に選ぶ。
- ② 「連続」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



### MEMO

- ONE-SHOT AF時、「カメラ設定」▶「Shutter」▶「モード」▶「スロー」でシャッタースピードが1/4または1/3のときはフォーカス調整を行いません。
- フレームレートを以下に設定していると、フォーカスが合うまで若干時間がかかります。  
「システム周波数」▶「59.94Hz」のとき：PF30、PF24、24P  
「システム周波数」▶「50.00Hz」のとき：PF25
- 「AF Mode」→「連続」を選んでいるときは、ONE-SHOT AFボタンは操作できません。「AF Mode」を「ワンショット」に設定して操作してください。
- ピントが合う位置は、被写体条件や明るさ、ズーム位置などの撮影条件によってわずかに変動します。撮影を開始する前に再度ピントを確認してください。
- AF機能を搭載したEFレンズを使用している時のみ操作できます。お使いのレンズの使用説明書も合わせてご確認ください。
- 一部のEFレンズでは、ピントが合うまでの時間がかかったり、適切なピント合わせができないことがあります。詳細情報については、キヤノンのホームページでご確認ください。

#### コンティニュアスAF が動作しないとき

- フォーカスモードスイッチがないEFレンズを装着時。
- アイリスの調整中。オートアイリスに対応したEFレンズ(□□ 211)装着時を除く。
- REMOTE端子に接続したリモコンでフォーカス操作中。

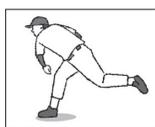
#### オートフォーカスでピントが合いにくいとき



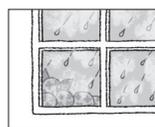
強い光が反射



画面中央に  
明暗差がない



動きが速い



水滴が付いた  
ガラス越しの撮影



夜景

- ISO感度／ゲインの感度を拡張して (□□ 68)、拡張領域のISO/Gain値を設定しているとき
- カスタムピクチャーのガンマ (□□ 115)をCanon LogなどのLogガンマまたはWide DRに設定したとき
- 絞りを小絞り設定したとき
- 遠近の被写体が同時に含まれるとき

## ■ フォーカスアシスト機能を使う

フォーカスを調整するとき、ピーキング（輪郭強調）表示や拡大表示を使うと、ピントが合わせやすくなります。両方を同時に使うこともできます。また、その他機能メニュー ▶ 「Custom Function」 ▶ 「フォーカスアシスト B&W」で、フォーカスアシスト機能を使用中のみ、画面を自動的にモノクロ表示するように設定できます（□ 128）。

### ピーキング

ピーキングには、ピーキング1とピーキング2があり、メニューで切り換えて使用します。



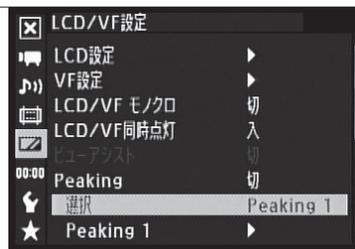
#### 1 PEAKING(ピーキング)ボタンを押す

- 画面に **PEAK1** または **PEAK2** が表示され、画面の映像の輪郭が合焦状態に応じて強調される。
- もう一度、PEAKINGボタンを押すと、ピーキング表示が解除される。
- LCD/VF設定メニュー ▶ 「Peaking」でピーキング表示を入/切することもできる。



#### 2 ピーキング1またはピーキング2を選ぶ

- ① LCD/VF設定メニュー ▶ 「Peaking」の下の「選択」を順に選ぶ。
- ② 「Peaking 1」、 「Peaking 2」のいずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

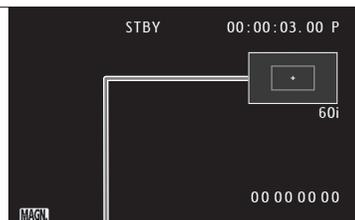


### 拡大表示



#### 1 本体またはグリップのMAGN.(拡大)ボタンを押す

- 画面に **MAGN.** が表示され、画面の中心部が約2倍\*に拡大される。  
\* 倍率は液晶画面とファインダーで異なる。また、記録信号形式の解像度によっても異なる。
- 拡大領域の位置を示す表示が画面に出る。





## 2 必要に応じて拡大位置を移動させる

- ① レンズのフォーカスモードスイッチをMFにする。
- ② ジョイスティックを上下左右に押して、拡大位置を移動させる。
  - 拡大領域の中心位置は、上下方向および左右方向にそれぞれ5段階で変更できる。
  - 拡大位置を中央に戻すときはCANCELを押す。
  - もう一度MAGN.ボタンを押すと拡大表示が解除される。



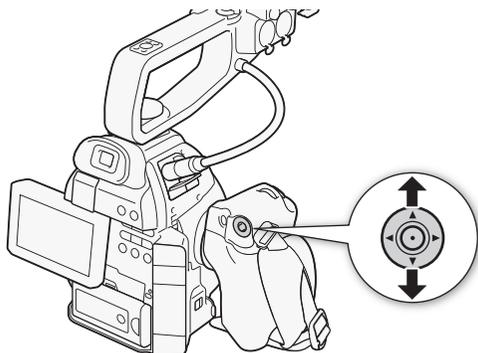
### MEMO

- ピーキング表示／拡大表示は画面にのみ表示され、各出力端子から出力される映像には表示されません。また、記録される動画／静止画には影響しません。
- ピーキングの色、ゲイン、周波数は、LCD/VF設定メニュー ▶ 「Peaking 1」または「Peaking 2」でそれぞれ設定できます。
- エッジモニター(□ 104)を表示してピントを合わせやすくすることもできます。
- ピーキングとエッジモニターを同時に表示することができます。このとき、ピーキングのゲイン／周波数は、エッジモニターのゲイン設定によって自動的に設定されます。
- その他機能メニュー ▶ 「Custom Function」 ▶ 「Magnification連動」で「Peaking」または「Edge Mon.」を選ぶと、拡大表示を使用時にピーキングまたはエッジモニターを同時に表示することができます。

# ズームを操作する

CAMERA MEDIA

ズーム調整に対応するEFシネマレンズ (E211) を装着すると、本機からズームを操作することができます。



カメラからのズーム調整に対応するEFシネマレンズを使うとき

レンズ側の操作部がレンズによって異なります。詳細はレンズの説明書をご覧ください。

レンズ	レンズの操作部名称	オート
CN7×17 KAS S/E1 CN20×50 IAS H/E1	ズームサーボ/マニュアル切替えノブ	SERVO
CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S	ズーム切替えノブ	SERVO

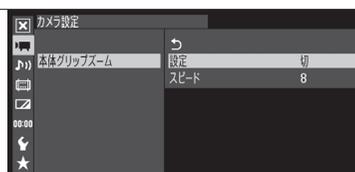
## ジョイスティックで操作する

### 1 レンズのズーム設定をSERVOにする



### 2 ズーム操作を有効にする

- ① カメラ設定メニュー ▶ 「本体グリップズーム」 ▶ 「設定」を順に選ぶ。
- ② 「入」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



### 3 ズームスピードを選ぶ

- ① カメラ設定メニュー ▶ 「本体グリップズーム」 ▶ 「スピード」を順に選ぶ。
- ② 「1」から「16」のいずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - ズームスピードは固定速で、値が大きいほど高速になる。



### 4 グリップのジョイスティックを上下に操作して、ズームを調整する

- 上に操作すると望遠(テレ)方向に、下に操作すると広角(ワイド)方向に調整できる。



#### MEMO

- リモートコントローラー RC-V100(別売)のZOOMダイヤルを使って、調整することもできます。
- ズームスピードを低速に設定していると、レンズの動き出しまでに時間がかかることがあります。

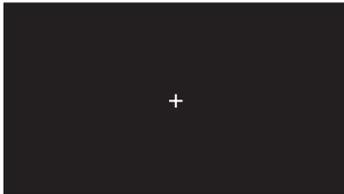
# マーカー／ゼブラパターンを表示する

CAMERA MEDIA

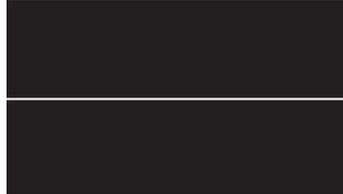
撮影時、画面に各種マーカーやゼブラパターンを表示することができます。これらの表示は記録される映像には影響しません。

## ■ マーカーを表示する

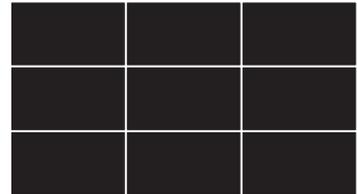
構図を決める際のガイドとして、次の5種類のマーカーを表示することができます。



センターマーカー



水平マーカー



グリッド



セーフティゾーンマーカー \*1



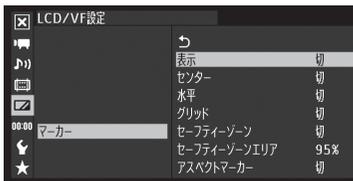
アスペクトマーカー \*2

\*1 セーフティゾーンの領域（セーフティゾーンエリア）を「80%」、「90%」、「92.5%」、「95%」の4つの中から選択できます。

\*2 アスペクト比を「4:3」、「13:9」、「14:9」、「1.66:1」、「1.75:1」、「1.85:1」、「2.35:1」の7つの中から選択できます。

## マーカー表示を有効にする

マーカー表示を有効にします。ここで有効にしないと、マーカーを選んだだけでは表示されません。

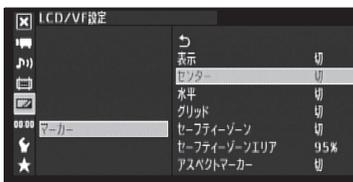


- ① LCD/VF設定メニュー ▶ 「マーカー」 ▶ 「表示」を順に選ぶ。
- ② 「入」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - マーカーが表示可能になる。
  - マーカー表示をしないときは、ここで「切」を選ぶ。

## 表示したいマーカーを選ぶ

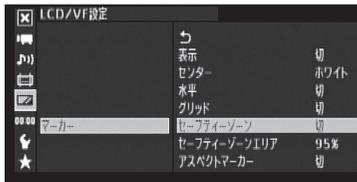
異なるマーカーを同時に表示することができます。ここでまず、表示したいマーカーを選択し、必要に応じて個別の設定をします。

例：センターマーカーとセーフティゾーンマーカーを選択する場合



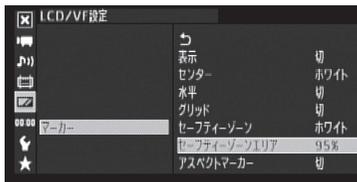
### 1 表示するマーカー（センターマーカー）を選ぶ

- ① LCD/VF設定メニュー ▶ 「マーカー」 ▶ 「センター」を順に選ぶ。
- ② 「ホワイト」または「グレー」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 指定した色のセンターマーカー表示が選択される。
  - センターマーカー表示を解除するときは、ここで「切」を選ぶ。



## 2 表示するマーカー（セーフティゾーンマーカー）を選ぶ

- ① LCD/VF設定メニュー ▶ 「マーカー」 ▶ 「セーフティゾーン」を順に選ぶ。
- ② 「ホワイト」または「グレー」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 指定した色のセーフティゾーンマーカー表示が選択される。
  - セーフティゾーンマーカーを表示しないときは、ここで「切」を選ぶ。



## 3 マーカー（セーフティゾーンマーカー）の個別設定（セーフティゾーンエリア）を行う

- ① LCD/VF設定メニュー ▶ 「マーカー」 ▶ 「セーフティゾーンエリア」を順に選ぶ。
- ② セーフティゾーンの領域を「95%」、「92.5%」、「90%」、「80%」の中から選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



### MEMO

- 他の画面表示を消して、マーカーだけを表示することもできます（□ 59）。
- アサインボタンに「マーカー」を割り当てると、アサインボタンを押してマーカー表示の入／切を切り換えられます（□ 112）。

## ■ ゼブラパターンを表示する

露出オーバーで白とびするおそれがある領域に、縞状のパターンを表示することができます。ゼブラパターンには「ゼブラ1」と「ゼブラ2」の2種類があり、2つを同時に表示することもできます。

### ゼブラ1

設定した輝度レベル±5%の領域にゼブラパターン1を表示する。輝度レベルは6段階（70±5%、75±5%、80±5%、85±5%、90±5%、95±5%）あり、いずれか1つを選択する。

### ゼブラ2

設定した輝度レベル以上の領域にゼブラパターン2を表示する。輝度レベルは7段階（70%、75%、80%、85%、90%、95%、100%）あり、いずれかを1つを選択する。

### ゼブラ1+ゼブラ2

ゼブラ1とゼブラ2を同時に表示する。両者の表示条件が重なる領域では、ゼブラ1を優先して表示する。

## ゼブラパターン表示を入／切する



ZEBRA(ゼブラ)ボタンを押す。LCD/VF設定メニュー ▶ 「Zebra」で設定して、ゼブラパターン表示を入／切することもできます。

## ゼブラパターンを選ぶ

表示するゼブラパターンを選び、輝度レベルを設定します。



### 1 ゼブラパターンを選ぶ

- ① LCD/VF設定メニュー ▶ 「Zebra」の下の「選択」を順に選ぶ。
- ② 「Zebra 1」、「Zebra 2」、「Zebra 1&2」のいずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



### 2 ゼブラパターンの輝度レベルを設定する

- ① LCD/VF設定メニュー ▶ 「Zebra 1 Level」または「Zebra 2 Level」を順に選ぶ。
- ② 輝度レベルを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



MEMO

ゼブラパターンは、HDMI OUT端子 (HD出力時のみ) に出力することもできます。端子からの出力は、LCD/VF設定メニュー ▶ 「Zebra HD Output」メニューで入／切できます (172)。

# タイムコードを設定する

CAMERA MEDIA

撮影時に内蔵のタイムコードジェネレーターでタイムコードを生成できます。生成したタイムコードは、映像とともにSDカードに記録されるほか、HDMI OUT端子に出力される映像にも表示されます。また、HDMI出力にタイムコードを重畳することができます (□ 178)。

タイムコードのカウントアップ方式には次の3種類があります。「システム周波数」が「59.94Hz」のときは、ドロップフレームとノンドロップフレームを選択できます。

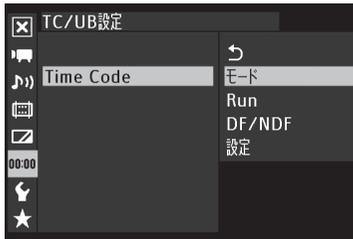
Rec Run (レックラン) : タイムコードは記録時に歩進する。タイムコードの初期値は任意に設定可能。SDカードに記録している間、タイムコードは記録したクリップの順で連続する。

Free Run (フリーラン) : タイムコードは、記録状態に関係なく常に歩進する。初期値は任意に設定可能。

Regen. (リジェネ) : タイムコードは記録時に歩進する。SDカードに記録されている最後のタイムコードを読み出し、その続きから歩進する。SDカードに記録している間、タイムコードは記録したクリップの順で連続する。

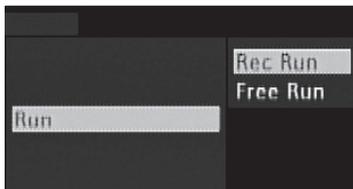
## ■ カウントアップ方式を選ぶ

カウントアップ方式は、歩進モード (モード) で「Preset」または「Regen.」を選びます。「Preset」を選んだときは、歩進方法 (Run) で「Rec Run」または「Free Run」を選び、任意の初期値を設定します。



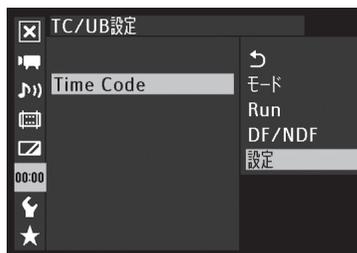
### 1 歩進モードを選ぶ

- ① TC/UB設定メニュー ▶ 「Time Code」 ▶ 「モード」を順に選ぶ。
- ② 「Preset」または「Regen.」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。  
Preset : 「設定」で設定した任意のタイムコードから歩進する。  
Regen. : SDカードに記録されている最後のタイムコードの続きから歩進する。
  - 「Regen.」を選んだときは、以降の操作は不要。



### 2 「Preset」を選んだ場合 歩進方法を選ぶ

- ① TC/UB設定メニュー ▶ 「Time Code」 ▶ 「Run」を順に選ぶ。
- ② 「Rec Run」または「Free Run」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



### 3 「Preset」を選んだ場合 任意の初期値を設定する

- ① TC/UB設定メニュー ▶ 「Time Code」 ▶ 「設定」を順に選ぶ。
- ② 「セット」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - タイムコードの設定画面が表示され、「時」の桁が選択される。
  - 「リセット」を選びジョイスティックを押すと、タイムコードが「00:00:00.00」にリセットされる。「Free Run」を選んでいるときは、リセット後のタイムコードから歩進を続ける。
  - 設定を途中で中止するときはCANCELを押す。
- ③ ジョイスティックを上下に押して数値を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ④ ③の操作を繰り返して、「分」、「秒」、「フレーム」の数値を選ぶ ▶ 「セット」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 「Free Run」を選んでいるときは、この時点で設定値のタイムコードから歩進する。



## ■ ドロップフレーム／ノンドロップフレームを切り換える

ドロップフレーム (DF) またはノンドロップフレーム (NDF) を切り換えることができます。なお、次のときはNDFに固定されます。

- 「システム周波数」が「50.00 Hz」のとき。
- 「システム周波数」が「59.94 Hz」で「フレームレート」が「24P」のとき。

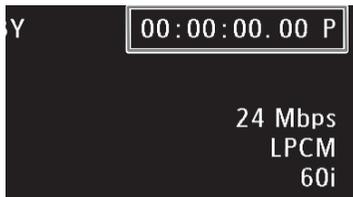


- ① TC/UB設定メニュー ▶ 「Time Code」 ▶ 「DF/NDF」を順に選ぶ。
- ② 「DF」または「NDF」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - DFとNDFで画面上のタイムコード表示が次のように異なる。  
DFのとき 00 : 00 : 00 . 00  
NDFのとき 00 : 00 : 00 : 00

## ■ タイムコードを保持する（タイムコードホールド）

アサインボタン（ 112）に「Time Codeホールド」を割り当て、割り当てたアサインボタンを押すと画面に表示されるタイムコードを保持できます。タイムコード保持中は、画面に「**H**」が表示されます。なお、保持中でもタイムコードは歩進し、保持を解除すると歩進していたタイムコードが表示されます。

### タイムコードの表示について



**R** : Regen.(リジエネ)設定時  
**P** : Rec Run(レックラン)設定時  
**F** : Free Run(フリーラン)設定時  
**H** : タイムコードホールド時  
 表示なし : 再生時



### MEMO

- タイムコードのフレームカウントは、フレームレートが24Pのときは0～23、50i/PF25のときは0～24、それ以外は0～29となります。
- プレ記録のときは「Free Run」固定となり、カウントアップ方式は設定できません。
- ドロップフレーム、ノンドロップフレームを混在させて録画すると、撮影開始時のタイムコードが不連続になることがあります。
- 内蔵2次電池が充電されていれば、バッテリーなどの電源がなくても、フリーランタイムコードは歩進します。ただし、電源ON時に比べて精度が低下します。
- アサインボタンに「Time Code」を割り当てると、アサインボタンを押してTC/UB設定メニュー ▶ 「Time Code」メニューを表示することができます（ 112）。

# ユーザービットを設定する

CAMERA MEDIA

8桁の16進数(0～9、A～Fの英数字)をユーザービットとして設定し、映像と一緒にSDカードに記録できます。ユーザービットには、撮影情報や記録した映像の管理情報など、映像に付加したい情報を自由に設定することができます。また、時刻や日付(年月日)をユーザービットとして記録することもできます。

## ■ 任意の16進数を設定する



① TC/UB設定メニュー ▶ 「User Bit」 ▶ 「タイプ」 ▶ 「設定」を順に選ぶ。

② 「セット」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

- ユーザービットの設定画面が表示され、一番左の桁が選択される。
- 「リセット」を選びジョイスティックを押すと、ユーザービットが「00 00 00 00」にリセットされる。
- 設定を途中で中止するときはCANCELを押す。



③ ジョイスティックを上下に押しして英数字を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

④ ③の操作を繰り返して、残りの桁の英数字を選ぶ ▶ 「セット」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

## ■ 時刻または日付を設定する



① TC/UB設定メニュー ▶ 「User Bit」 ▶ 「タイプ」を順に選ぶ。

② 「時刻」または「日付」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

## ■ ユーザービットを出力する

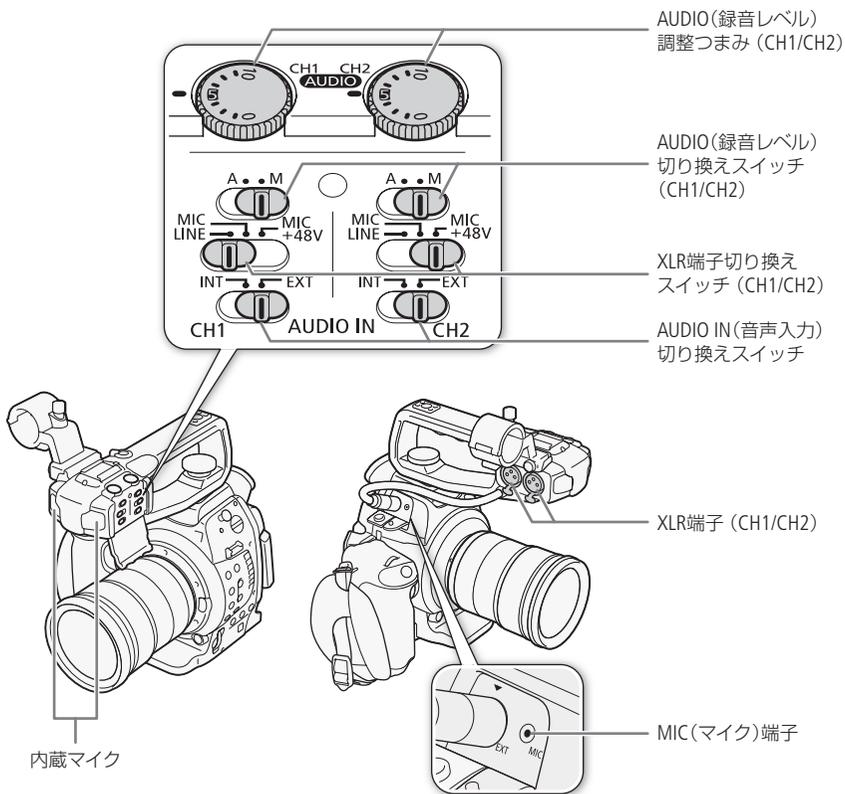
設定したユーザービットをHDMI OUT端子から出力します。フレームレートがPF24または24Pの場合、TC/UB設定メニュー ▶ 「User Bit」 ▶ 「Outputモード」を「プルダウン」にすると、ユーザービットが2：3プルダウン情報になります。

# 音声を記録する

CAMERA MEDIA

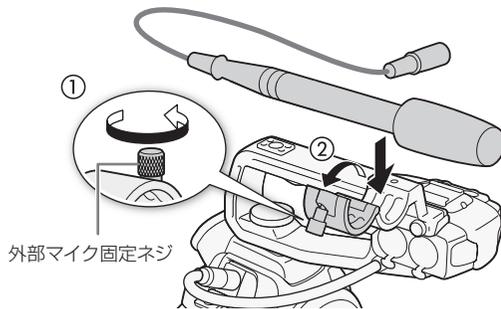
本機では、収録する音声は、内蔵マイク\*、外部マイク（Φ3.5mmマイク／XLR端子\*）、外部ライン入力（XLR端子）\*から選びます。XLR端子のとき、チャンネル1／チャンネル2の音声入力はそれぞれ個別に選択できます。ビットレートを「24Mbps LPCM」で設定すると、2チャンネルのニアPCM記録方式で音声を記録／再生できます。サンプリング周波数は48kHzです。

\* ハンドルユニット装着時のみ

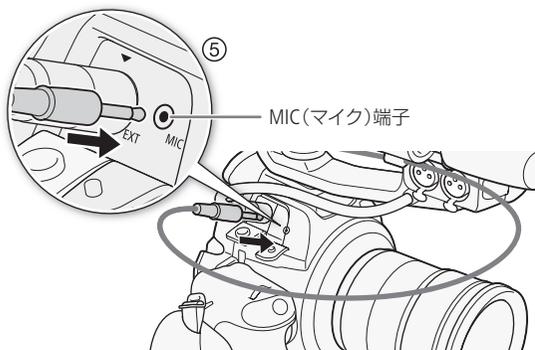
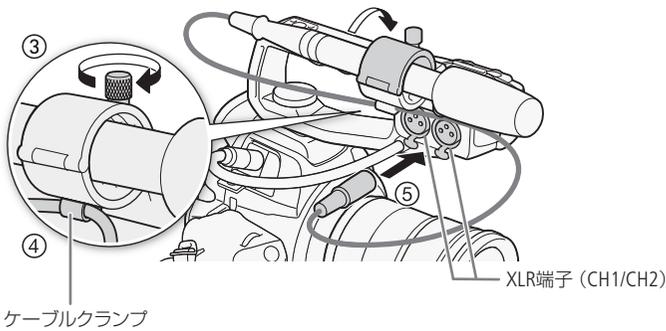


## ■ 外部マイク／外部ライン入力機器を本機に接続する

マイクホルダーやXLR端子を使用するときは、ハンドルユニットを取り付けてください。



- 1 **マイクのと**き 外部マイク固定ねじをゆるめ (①)、外部マイクホルダーを開く (②)
- 2 **マイクのと**き 外部マイクを取り付けて固定し (③)、ケーブルをクランプにとめる (④)
- 3 外部マイク／外部ライン入力機器のケーブルを本機に接続する (⑤)



## ■ 内蔵マイク／Φ3.5mmマイクの音声を選択する



AUDIO IN (音声入力) 切り換えスイッチのCH1/CH2をINTに切り換える。  
Φ3.5mmマイク端子にマイクを接続すると、内蔵マイクからΦ3.5mmマイクへ自動的に切り換わる。

## ■ 内蔵マイク／Φ3.5mmマイクの録音レベルを調整する

内蔵マイク／Φ3.5mmマイクの録音レベルを調整します。ハンドルユニットを取り付けているときは録音レベル切り換えスイッチで、ハンドルユニットを取り外してΦ3.5mmマイク使用時は、メニューで調整します。

### ハンドルユニットを取り付けているとき

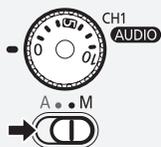
CH1の設定 (オート/マニュアル、録音レベル) が自動的にCH2に反映されます。

#### オートで調整する



CH1の録音レベル切り換えスイッチをA(オート)にする。

#### マニュアルで調整する



1 CH1の録音レベル切り換えスイッチをM(マニュアル)にする



## 2 録音レベル調整つまみを回して、調整する

- つまみの0(-∞) ~ 5(0 dB) ~ 10(+18 dB)の範囲で録音レベルを調整する。
- 画面に表示されるオーディオレベルメーターの18dB (20dBのひとつ右隣り) より右が時々点灯するように調整する。

## 3 AUDIO(録音レベル)カバーを閉じる

### ハンドルユニットを取り付けていないとき

マニュアルにすると0 ~ 99の範囲で調整できます。



## 1 録音レベルの調整方法を選ぶ

- ① オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Input」 ▶ 「MICモード」を順に選ぶ。
- ② 「Automatic」または「Manual」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



## 2 「Manual」を選んだとき 録音レベルを調整する

- ① オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Input」 ▶ 「MIC Level」を順に選ぶ。
- ② ジョイスティックを上下に押し、0(-∞) ~ 50(0dB) ~ 99(+18dB)の範囲で録音レベルを調節する。
  - 画面に表示されるオーディオレベルメーターの18dB (20dBのひとつ右隣り)より右が時々点灯するように調節する。
- ③ ジョイスティックを押す。



### MEMO

- 録音レベルをマニュアルで調整する場合、オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Input」 ▶ 「リミッター」を「入」にすると、過大な音声信号レベルを制限してひずみを防止することができます。
- 録音レベルを調整するときは、ヘッドホンでモニターしながら行うことをおすすめします。オーディオレベルメーター上で適切に表示されていても、入力レベルが過大な場合、音声がひずむことがあります。
- アサインボタンに「Audio Level」を割り当てると、アサインボタンを押してオーディオレベルメーター表示を入/切することができます。

## 内蔵マイクの特徴を選ぶ

収録する音に合わせて最適な特性で録音できます。



- ① オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Input」 ▶ 「Int. Micローカット」を順に選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。  
切：一般的な音を録音するとき。  
LC1：人の声を中心に録音するとき。  
LC2：海辺やビルの近くなど風の強いところ、常に風の影響を受ける屋外で撮影する場合に、風の「ポコポコ」という音の影響を低減する。収録する低い音の一部も風の音と一緒に低減される。

## 内蔵マイクの感度を選ぶ

収録する音に合わせて最適な感度で録音できます。



- ① オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Input」 ▶ 「Int. Mic感度」を順に選ぶ。
- ② いずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。  
ノーマル：通常のレベルの音を録音するとき。  
ハイ：より大きな音量 (+6db)で録音するとき。

## 内蔵マイク／Φ3.5mmマイクのアッテネーターを使う

必要に応じてアッテネーターを使用できます (Att. : Attenuator)。



- ① オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Input」 ▶ 「MIC/Int. Mic Att.」を順に選ぶ。
- ② 「入」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。  
マイク信号にアッテネータ (内蔵マイク：12dB、Φ3.5mmマイク：20dB)がかかる。

## ■ 外部マイク (XLR端子) / 外部ライン入力 (XLR端子)の音声を選択する

外部マイクまたは外部ライン入力を選ぶ



1 AUDIO IN(音声入力)切り換えスイッチのCH1/CH2をEXTに切り換える

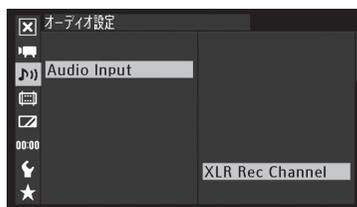


2 XLR端子切り換えスイッチのCH1/CH2をLINE(ライン)またはMIC(マイク)にする

- ファンタム電源が必要なマイクを使うときはMIC+48Vに切り換える。ファンタム電源をONにするときはマイクを接続してから行い、OFFにするときは接続したまま行う。
- XLR端子を1チャンネルのみ使用するときには、CH1端子を使用する。

録音するチャンネルを割り当てる

CH1入力の音声をチャンネル1に録音するか、チャンネル1とチャンネル2の両方に録音するかを選びます。



- ① オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Input」 ▶ 「XLR Rec Channel」を順に選ぶ。
- ② 「CH1」または「CH1/CH2」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。  
 CH1： CH1/CH2入力をそれぞれチャンネル1/チャンネル2として録音する。  
 CH1/CH2： CH1入力をチャンネル1/チャンネル2の両方に録音する。



● ご注意

- +48V対応のマイク以外の機器を接続するときは、必ずLINEまたはMICを使用してください。「MIC+48V」のまま使用すると、接続したマイクなどの機器が故障することがあります。
- 「XLR Rec Channel」を「CH1/CH2」にすると、CH2入力の音声は録音されません。

## XLR端子の録音レベルを調整する

XLR端子の録音レベルはチャンネルごとにオート/マニュアルを個別に設定できます。

### オートで調整する



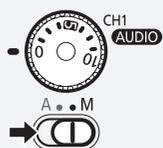
AUDIO(録音レベル)切り換えスイッチをA(オート)にすると、そのチャンネルの録音レベルがオートになり、自動調整されます。

#### XLR端子のCH1とCH2の録音レベル調整を連動させる

XLR端子のCH1/CH2が同じ音声入力(外部ライン入力または外部マイク)に設定されている場合、録音レベルをオートに設定すると、CH1とCH2のレベル調整を連動させることができます。オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Input」 ▶ 「XLR ALCリンク」(169)で設定します。

### マニュアルで調整する

CH1/CH2の録音レベルをそれぞれ個別に手動調整できます。調整は $-\infty$ ~+18 dBの範囲で行うことができます。調整後、AUDIO(録音レベル)カバーを閉じることによって、誤操作を防止できます。



#### 1 AUDIO(録音レベル)切り換えスイッチをM(マニュアル)にする



#### 2 AUDIO(録音レベル)調整つまみを回して、調整する

- つまみの0( $-\infty$ ) ~ 5(0 dB) ~ 10(+18 dB)の範囲でレベルを調整できる。
- 画面に表示されるオーディオレベルメーターの18dB (20dBのひとつ右隣り)より右が時々点灯するように調整する。

#### 3 AUDIO(録音レベル)カバーを閉じる

### 音声信号レベルを制限する

過大な音声入力によるひずみを防止するために、音声信号レベルを制限することができます。録音レベルをマニュアルで調整するときに、入力レベルが-6 dBFSを超えると自動的に信号レベルを制限してひずみを防止します。CH1とCH2のいずれかがマニュアルレベル調整のときに設定できます。設定は、オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Input」 ▶ 「リミッター」(📖 169)で行います。



#### MEMO

- 録音レベルを調整するときは、ヘッドホンでモニターしながら行うことをおすすめします。オーディオレベルメーター上で適切に表示されていても、入力レベルが過大な場合、音声がひずむことがあります。
- アサインボタンに「Audio Level」を割り当てると、アサインボタンを押してオーディオレベルメーター表示を入/切することができます。

### 外部マイク (XLR端子)の入力感度を調整する

XLR端子切り換えスイッチがMICまたはMIC+48Vのときに機能します。



- ① オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Input」 ▶ 「XLR1 Mic トリミング」または「XLR2 Mic トリミング」を順に選ぶ。
- ② 下記のいずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。  
+12 dB、+6 dB、0 dB、-6 dB、-12 dB

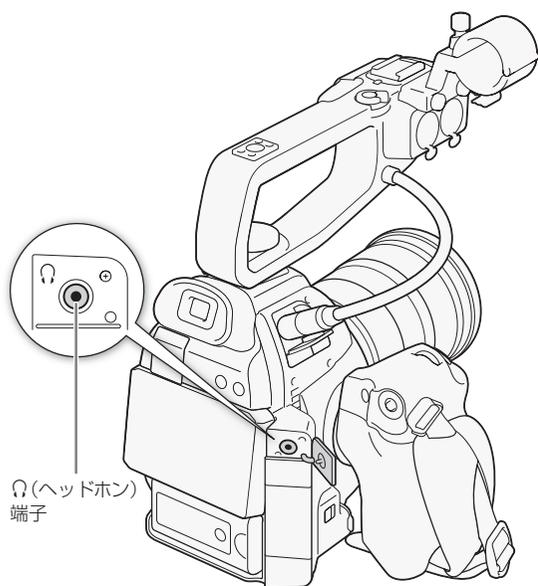
### 外部マイク (XLR端子)のアッテネーターを使う

XLR端子切り換えスイッチがMICまたはMIC+48Vのときに機能します (Att.: Attenuator)。



- ① オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Input」 ▶ 「XLR1 Mic Att.」または「XLR2 Mic Att.」を順に選ぶ。
- ② 「入」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - マイク信号にアッテネーター (20 dB)がかかる。

## ■ ヘッドホンでモニターする



ヘッドホンにΩ (ヘッドホン) 端子に接続して、収録される音声をモニターできます。音量はオーディオ設定メニュー「Audio Output」▶「Headphone音量」またはアサインボタン (☐ 112) で調整します。

**MEMO** モニターする際、音声を映像に同期させるか、リアルタイムの音声をモニターするかをオーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Output」の「モニターディレイ」で設定できます。なお、リアルタイムの音声をモニターすると、映像と音声に少しズレが生じます。記録される映像と音声は、設定にかかわらず同期されます (☐ 149)。

# カラーバー／テストトーンを記録する

CAMERA MEDIA

測定器の調整やモニターの輝度・色相・彩度の調整を行うために、カラーバーを出力／記録することができます。また、同時に1 kHzのテストトーンを出力／記録することもできます。カラーバーとテストトーンは次の端子にも出力されます。

	カラーバー	1 kHzテストトーン
AV OUT端子	●	●
HDMI OUT端子	●	●
Ⓗ(ヘッドホン)端子	—	●

撮  
影

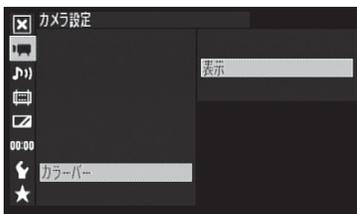
## ■ カラーバーを記録する

出力／記録するカラーバーは、「システム周波数」の設定で選択できる項目が異なります。  
その他機能メニュー ▶ 「システム周波数」 ▶ 「59.94 Hz」のとき：SMPTE準拠またはARIB準拠  
その他機能メニュー ▶ 「システム周波数」 ▶ 「50.00 Hz」のとき：EBU準拠またはSMPTE準拠



### 1 カラーバーのタイプを選ぶ

- ① カメラ設定メニュー ▶ 「カラーバー」 ▶ 「タイプ」を順に選ぶ。
- ② 「SMPTE」、「ARIB」、「EBU」のいずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



### 2 カラーバーを表示する

- ① カメラ設定メニュー ▶ 「カラーバー」 ▶ 「表示」を順に選ぶ。
- ② 「入」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 画面にカラーバーが表示される。
  - START/STOPボタンを押して撮影を開始すると、カラーバーを記録できる。
  - 電源を切るかメディアモードに切り換えると、自動的に「切」になる。



MEMO アサインボタンに「カラーバー」を割り当てると、アサインボタンを押して入／切を切り換えられます (112)。

## ■ テストトーンを記録する

カラーバーとともに1 kHzのテストトーンを出力／記録することができます。本機を他機につないで再生する場合、本機のテストトーンを使って接続した機器のレベルを調整することができます。テストトーンのレベルは、接続する機器に合わせて-12 dB、-18 dB、-20 dBから選ぶことができます。



- ① オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Input」▶ 「1 kHzトーン」を順に選ぶ。
- ② 「-12 dB」、「-18 dB」、「-20 dB」、「切」のいずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 選択したレベルのテストトーンが出力される。
  - START/STOPボタンを押して撮影を開始すると、カラーバーとテストトーンを記録できる。

# 波形モニターを表示する

CAMERA MEDIA

画面に波形モニター (Waveform Monitor) を簡易表示できます。また、エッジモニター (Edge Monitor)\* を表示することもできます。なお、これら各種モニターは液晶画面のみに表示され、ファインダーや各出力端子からの映像には表示されません。

\* 映像全体の合焦度合いを波形で表示する機能。カメラモードのみ。

## ■ モニター表示を選ぶ



WFM (波形モニター) ボタンを押す。

- WFM (波形モニター) ボタンを押すたびにモニター表示が次の順に切り換わる。  
切 → 「Waveform Monitor」 (波形モニター) → 「Edge Monitor」 (エッジモニター)\* → 切  
\* カメラモードのみ
- その他機能メニュー ▶ 「WFM(LCD)」 ▶ 「設定」でもモニター表示を選ぶことができる。

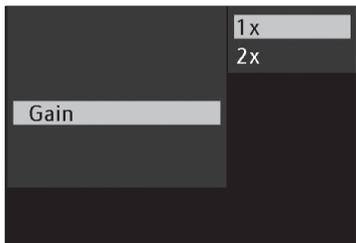
## ■ 波形モニター (Waveform Monitor) のタイプを選ぶ

波形モニターは5種類のタイプから選ぶことができます。また、波形のゲインを1倍と2倍から選択できます。



### 1 波形モニターのタイプを選ぶ

- ① その他機能メニュー ▶ 「WFM(LCD)」 ▶ 「Waveform Monitor」を順に選ぶ。
- ② 次のいずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - ライン： ライン表示する。
  - ライン+スポット： ライン表示に重ねて、赤枠内の波形を赤色で表示する。
  - フィールド： フィールド表示する。
  - RGB： R、G、B信号をパレード表示する。
  - YPbPr： Y、Pb、Pr信号をパレード表示する。



### 2 波形のゲインを選ぶ

- ① その他機能メニュー ▶ 「WFM(LCD)」 ▶ 「Gain」を順に選ぶ。
- ② 「1x」(1倍)または「2x」(2倍)を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

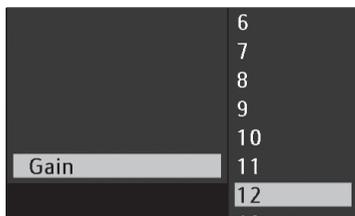
## ■ エッジモニター (Edge Monitor) のタイプを選ぶ CAMERA MEDIA

エッジモニターは2種類のタイプから選ぶことができます。フォーカスを調整するときに使うと、ピントが合わせやすくなります。フォーカスアシスト機能 (ピーキング、拡大表示) と一緒に使うこともできます。



### 1 エッジモニターのタイプを選ぶ

- ① その他機能メニュー ▶ 「WFM(LCD)」 ▶ 「Edge Monitor」を順に選ぶ。
- ② 次のいずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - タイプ1：合焦度合いを示す波形を緑色で表示し、さらに画面上の3箇所に表示した赤枠内で検出した波形を赤色で重ねて表示する。
  - タイプ2：波形モニター (ライン+スポット) とエッジモニターを同時に表示する。エッジモニターは、画面全体の合焦度合いを示す波形を青色で、それに重ねて、画面中央赤枠内の合焦度合いを示す波形を赤色で表示します。



### 2 波形のゲインを選ぶ

- ① その他機能メニュー ▶ 「WFM(LCD)」 ▶ 「Gain」を順に選ぶ。
- ② 「切」または「1」～「15」のいずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

# レックレビューで確認する

CAMERA MEDIA

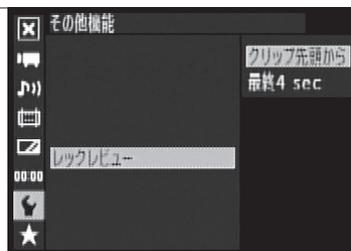
カメラモードで最後に撮影したクリップの映像を再生して確認できます。再生のしかたは、映像をすべて再生するか、最後の4秒のみを再生するかを選択できます。

## ■ 直前に撮影した映像を確認する



### 1 レックレビューの再生範囲を設定する

- ① その他機能メニュー ▶ 「レックレビュー」を順に選ぶ。
- ② 「クリップ先頭から」または「最終4 sec」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。  
クリップ先頭から：クリップの先頭からすべて再生する。  
最終4 sec：クリップの最後の4秒間のみを再生する。



### 2 撮影が終了したあと 映像を再生して確認する

- ① INDEX / INDEXボタンを押す。
    - 画面に「▶ REVIEW」が表示される。
    - 操作1で設定した再生範囲に応じて、直前に撮影した映像が再生される。このとき、映像と一緒に記録された音声は再生されない。
- レックレビューを中止するとき  
CANCELを押す。
- レックレビューが終了すると、自動的に撮影一時停止状態 (STBY)に戻る。



MEMO

- プレ記録のときは、レックレビューは行えません。
- 撮影中に記録先のメディアが自動的に切り換わった場合、直後にレックレビューを行うと、新たに記録先となったメディア内のクリップが再生されます。

# プレ記録を行う

CAMERA MEDIA

撮影を開始する約3秒前からの映像と音声を記録することができます。撮影開始操作が遅れたときの撮り逃しを防ぎます。



## 1 プレ記録を設定する

- ① その他機能メニュー ▶ 「プレ記録」を順に選ぶ。
- ② 「入」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 画面に「PRE REC STBY」が表示され、プレ記録モードになる。



START/  
STOP

## 2 撮影する

- ① START/STOPボタンを押す。
  - 撮影が開始される。
  - 画面に「●PRE REC」が表示されて、前後のタリーランプが点灯する。
- ② 撮影を停止するとき もう一度START/STOPボタンを押す。
  - 撮影開始約3秒前からの映像が記録される。
  - 画面に「PRE REC STBY」が表示され、前後のタリーランプは消灯する。



### MEMO

- プレ記録を「入」にして、プレ記録撮影一時停止の状態でも約1時間経過すると、約1分後にプレ記録は解除されます(□ 196)。
- プレ記録は「ダブルスロット記録」、「最終クリップ消去」または「レックレビュー」との併用はできません。

### プレ記録のタイムコードについて

プレ記録中のタイムコードは、Free Run (フリーラン) で記録されます。タイムコードの記録は、撮影開始操作の約3秒前から行われます。Rec Run (レックラン) またはRegen. (リジエネ) に設定しているときにプレ記録モードにすると、強制的にFree Run (フリーラン) に設定されます。プレRecを解除すると、元のカウントアップ方式に戻ります。

# 常時記録を行う

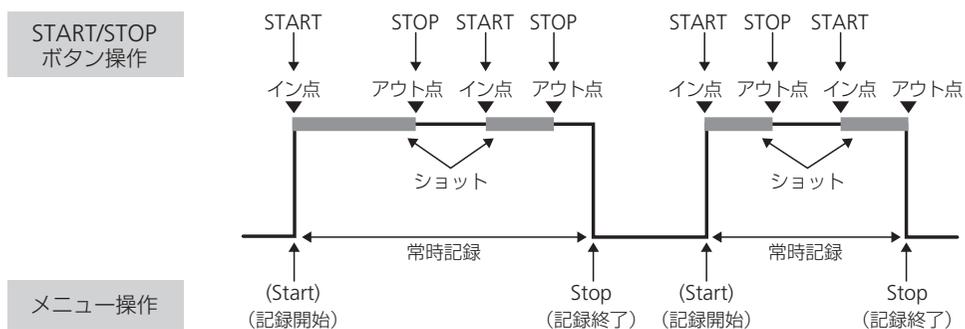
CAMERA MEDIA

常時記録は、一度開始するとメニューで終了操作を行うまで映像を記録し続けるので、大切な撮影の撮り逃しを防ぐことができます。また、SDカードを2枚入れれば、2枚のカードに同時に常時記録を行うことができます。常時記録中は、START/STOPボタンを押してイン点/アウト点をクリップ内に記録できます\*1。イン点からアウト点までの映像を「ショット」と呼び、メディアモードでのインデックス表示や再生、消去をショット単位で行うことができます(132)。記録したイン点/アウト点情報は、対応するソフトウェアに取り込んでノンリニア編集に活用することができます\*2。

\*1 イン点/アウト点は、常時記録で撮影した映像内の必要部分の開始/終了位置を表わすマークです。

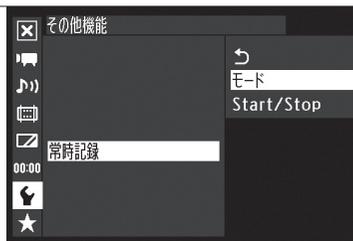
\*2 対応ソフトウェアについては、キャノンのホームページなどでご確認ください。

## 常時記録の概念図



### 1 常時記録モードを「入」にする

- ① その他機能メニュー ▶ 「常時記録」 ▶ 「モード」を順に選ぶ。
- ② 「入」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 画面に「CONT」または「**D**CONT」(ダブルスロット記録時)が表示され、常時記録モードになる。
  - 画面にショットの総記録時間 (**D**CONT 00:00:00)が表示される。



### 2 常時記録を開始する

- ① START/STOPボタンを押す。
  - タリールンプが点灯し常時記録が始まる。画面上では「CONT」が赤色に変わり、タイムコードの更新が始まる。
  - 同時にショットのイン点が記録される。画面上では「●REC」が表示され、ショットの総記録時間の更新が始まる。
  - その他機能メニュー ▶ 「常時記録」 ▶ 「Start/Stop」を「Start」に設定して、常時記録を開始することもできる。



 <p>START/ STOP</p>	<p><b>3 必要に応じて、ショットのイン点／アウト点を記録する</b></p> <p>① START/STOPボタンを押す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ショットの記録中のときはアウト点が記録されて、画面に「STBY」が表示される。ショットの総記録時間の更新は止まる。</li> <li>● ショットの記録中でないときはイン点が記録され、画面に「●REC」が表示される。</li> </ul>	
	<p><b>4 常時記録を終了する</b></p> <p>① その他機能メニュー ▶ 「常時記録」 ▶ 「Start/Stop」を順に選ぶ。</p> <p>② 「Stop」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● タリーランプが消灯して常時記録が終了し、常時記録クリップが記録される。</li> <li>● 画面上では「CONT」が白色に変わり、タイムコードの更新が止まる。</li> <li>● ショットの記録中に本操作を行うと、自動的にアウト点が記録される。</li> </ul>	
	<p><b>5 常時記録モードを「切」にする</b></p> <p>① その他機能メニュー ▶ 「常時記録」 ▶ 「モード」を順に選ぶ。</p> <p>② 「切」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 常時記録モードが終了し、画面上の「CONT」とショットの総記録時間が消える。</li> </ul>	



**MEMO**

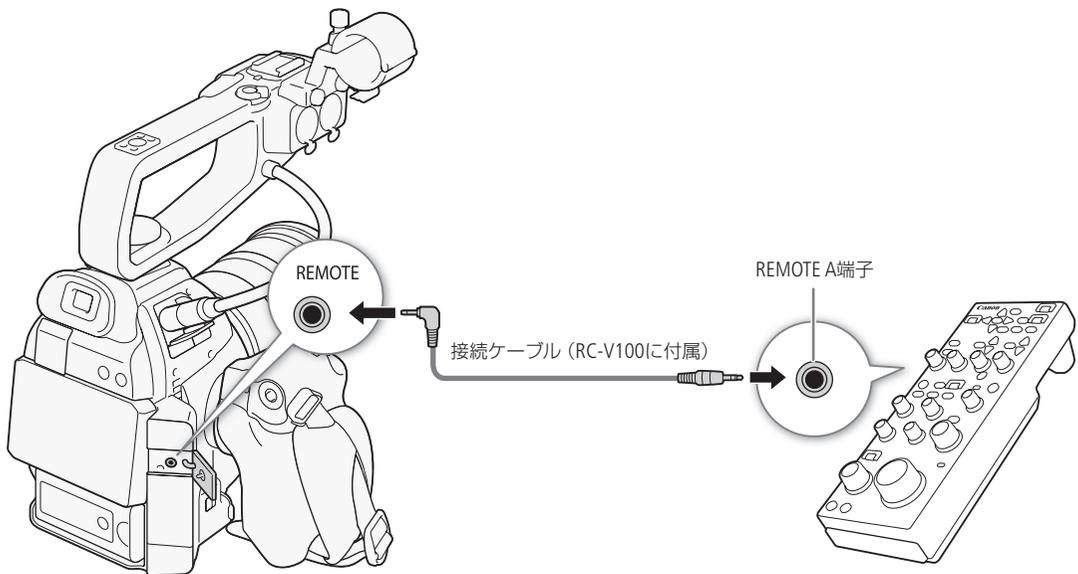
- SDカードを2枚使用して常時記録を開始したとき、一方のカードが常時記録クリップの上限(200個)に達して記録できない場合でも、もう一方のカードが記録可能なら、そのカードだけで常時記録を開始します。
- 常時記録モード中に、リレー記録、プレ記録、レックレビュー、最終クリップ消去は使用できません。
- 常時記録モードを「入」にした直後や常時記録終了直後は、画面上部中央のCONTが点滅し、その他機能メニュー ▶ 「常時記録」内の設定を変更できません。CONTが点灯してから操作してください。

# リモートコントローラー RC-V100(別売)を使う

CAMERA MEDIA

リモートコントローラー RC-V100(別売)を接続すると、本機をリモートで操作できます。電源の入/切やメニュー操作に加えて、撮影時は、アイリス、シャッターなどのカメラ設定や、ニー、シャープネスなどの画質調整ができます。

RC-V100は、接続ケーブル(RC-V100に付属)を使って、本機のREMOTE端子に接続します。接続のしかたやRC-V100の詳細については、RC-V100の説明書をご覧ください。



撮  
影

POWER



1 POWER(電源)スイッチをOFFにする

2 RC-V100を本機につなぐ

POWER



3 POWER(電源)スイッチをCAMERAにする



4 RC-V100を有効にする

- ① その他機能メニュー ▶ 「REMOTE端子」を順に選ぶ。
- ② 「RC-V100」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。





MEMO

本機で動作しないボタン／ダイヤル

- ND切り換えボタン
  - AGCボタン
  - AUTO KNEEボタン
  - AFボタン
- 
- AUTO IRISボタンは、対応するEFレンズ(□ 211)を装着しているときのみ使用可能です。
  - RC-V100の画質調整(□ 126)は、カスタムピクチャーファイルを選んでいるときのみ使用できません(□ 118)。
  - ZOOMダイヤルは、ズーム調整に対応するEFシネマレンズ(□ 211)を装着しているときのみ使用可能です。

# 4 カスタマイズ

アサインボタンの機能を変更する... 112

カスタムピクチャーを使用する... 115

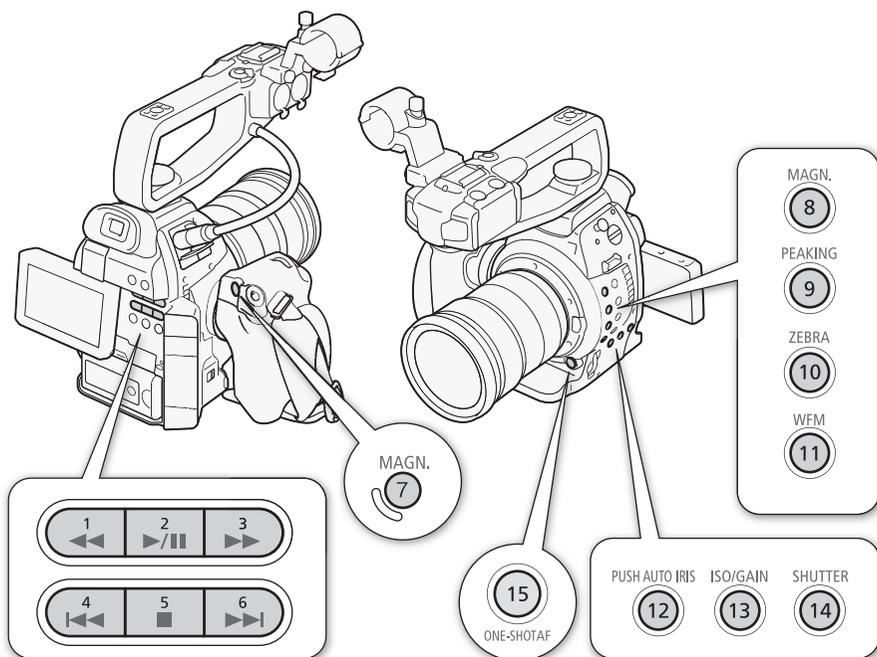
機能や表示をカスタマイズする... 128

設定データの保存と呼び出し..... 129

# アサインボタンの機能を変更する

CAMERA MEDIA

本機には15個のアサインボタンがありますので、使用頻度の高い機能を割り当てて、より使いやすくカスタマイズすることができます。なお、グリップの装着状況によって、使用できるアサインボタンが異なります。



アサインボタンの番号とボタン名、初期設定は次のとおりです。No. 1～No. 6のアサインボタンはカメラモードのときのみ使用できます。

アサインボタンNo.	ボタン名	初期設定	アサインボタンNo.	ボタン名	初期設定
1	◀◀	(未設定)	9	PEAKING	PEAKING
2	▶▶	(未設定)	10	ZEBRA	ZEBRA
3	▶▶	(未設定)	11	WFM	WFM
4	◀◀	(未設定)	12	PUSH AUTO IRIS	PUSH AUTO IRIS
5	■	(未設定)	13	ISO/GAIN	ISO/GAIN
6	▶▶	(未設定)	14	SHUTTER	SHUTTER
7	MAGN.	MAGN.	15	ONE-SHOT AF	ONE-SHOT AF
8	MAGN.	MAGN.			

アサインボタンには次の機能を割り当てることができ、カメラモードとメディアモードでそれぞれ個別に設定できます。使用可能な機能は、下表のようにモードによって異なります。

機能名	内容	CAMERA	MEDIA
(未設定)	割り当てなし。	●	●
ONE - SHOT AF	ワンショットAFを実行する。	●	

機能名	内容	CAMERA	MEDIA
PUSH AUTO IRIS	プッシュ オート アイリスを実行する。	●	
Irisモード	アイリスのオートとマニュアルを切り換える。	●	
Iris +	F値を調整する。押すたびに、絞りを開く。	●	
Iris -	F値を調整する。押すたびに、絞りを絞る。	●	
AE Shift +	露出を明るめに調整する。	●	
AE Shift -	露出を暗めに調整する。	●	
バックライト	測光方式のバックライトの入/切を切り換える。	●	
スポットライト	測光方式のスポットライトの入/切を切り換える。	●	
ISO/GAIN	ISO感度/ゲイン設定に切り換える。	●	
SHUTTER	シャッタースピード設定に切り換える。	●	
ビューアシスト	ビューアシストの入/切を切り換える。	●	
PEAKING	ピーキングの入/切を切り換える。	●	
ZEBRA	ゼブラパターン表示の入/切を切り換える。	●	
WFM	モニター表示を切り換える。押すたびに、波形モニター → エッジモニター * → OFFが切り換わる。* カメラモードのみ	●	●
MAGN.	拡大表示の入/切を切り換える。	●	
カラーバー	カラーバーの入/切を切り換える。	●	
マーカー	マーカーの入/切を切り換える。	●	
LCD設定	LCD設定メニューを表示する。	●	●
VF設定	VF設定メニューを表示する。	●	●
LCD/VFモノクロ	画面のモノクロ表示の入/切を切り換える。	●	●
オンスクリーン表示	端子からの出力映像に画面表示を重畳する/しないを切り換える。切り換えは、HD出力とSD出力を同時に行う。	●	●
Time Code	タイムコードメニューを表示する。	●	
Time Codeホールド *1	画面に表示されるタイムコード値を保持/保持解除を切り換える。	●	●
Headphone +	ヘッドホンの音量を大きくする。	●	●
Headphone -	ヘッドホンの音量を小さくする。	●	●
Speaker +	スピーカーの音量を大きくする。		●
Speaker -	スピーカーの音量を小さくする。		●
Audio Output CH	Ω (ヘッドホン)端子から出力される音声のチャンネルを切り換える。押すたびに出力チャンネルが切り換わる。	●	●
Audio Level	オーディオレベルメーター表示の入/切を切り換える。	●	●
Photo *1	静止画を記録する。	●	●
ファン	ファンの入/Automaticを切り換える。	●	
マイメニュー	マイメニューを表示する。	●	
Media初期化	Media初期化メニューを表示する。	●	●
◀ 上	ジョイスティックの▲と同じ。押すとカーソルが上に移動する。	●	●*2

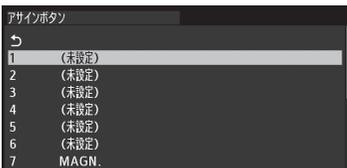
機能名	内容	CAMERA	MEDIA
◀下	ジョイスティックの▼と同じ。押すとカーソルが下に移動する。	●	●*2
◀左	ジョイスティックの◀と同じ。押すとカーソルが左に移動する。	●	●*2
▶右	ジョイスティックの▶と同じ。押すとカーソルが右に移動する。	●	●*2
●SET	ジョイスティックを垂直に押す操作と同じ。押すと選択した内容を決定する。	●	●*2
ユーザー設定*1	任意のメニュー項目を表示する。	●	●

\*1 アサインボタンのみの機能

\*2 動画再生時のみ

## 機能を変更する

例：アサイン1ボタンに「ONE - SHOT AF」を割り当てる場合



- ① その他機能メニュー ▶ 「アサインボタン」 ▶ 「1」を順に選ぶ。
- ② 「ONE - SHOT AF」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

「ユーザー設定」を選んだとき

- メニューが青色に変わり、割り当てるメニュー項目を選ぶ画面になる。ジョイスティックで任意のメニュー項目を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- 「ユーザー設定」が選んだメニュー項目の名称 (先頭に★が付く) に変わる。

## アサインボタンに割り当てた機能を使う



必要なときに、機能を割り当てたアサインボタンを押して使用します。アサインボタンを押すと、画面に機能の詳細項目を選ぶメニューが表示されることがあります。そのときは、ジョイスティックを上下に押して項目を選び、ジョイスティックを押します。



### MEMO

- アサインボタンに割り当てられた機能は、ステータス画面で確認できます (p.182)。
- その他機能メニュー ▶ 「リセット」 ▶ 「アサインボタン」で、アサインボタンの割り当てを初期状態に戻すことができます (p.175)

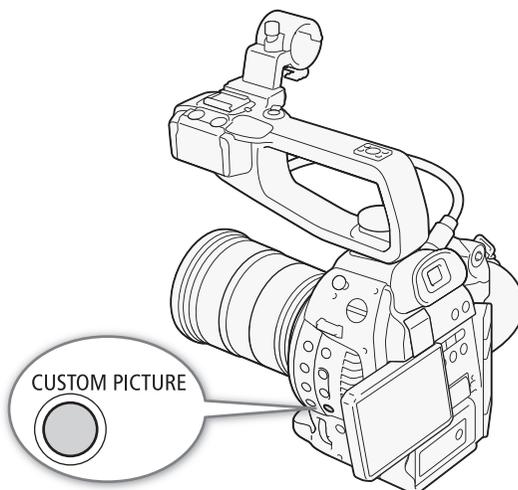
# カスタムピクチャーを使用する

CAMERA MEDIA

撮影条件に合わせる、意図的に効果をつけるなど画質を調整するためのさまざまな設定を行うことができます。調整した設定値はカスタムピクチャーファイルとして本機やSDカードに保存し、必要に応じて再利用できます。また、カスタムピクチャーを設定して静止画を撮影すると、カスタムピクチャーファイルを静止画と一緒にSDカードに保存することができます\*。カスタムピクチャーファイルを本機とSDカードとの間で相互にコピーすることもできます。カスタムピクチャーの操作は、CUSTOM PICTURE (カスタムピクチャー) ボタンを押すと表示される「CPメニュー」で行います。CPメニューの操作のしかたは、通常のメニュー ( 28) の操作と同様です。Gamma (ガンマ) と White Balance (ホワイトバランス) は、それぞれガンマカーブ、色平面を見ながら直感的に画質を調整することができます ( 127) 。なお、カメラ設定メニュー ▶ 「**CP** CINEMA固定」が「入」の場合、カスタムピクチャーは使用できません。撮影した映像は、CINEMAプリセットの設定で記録されます。

\* 静止画と一緒に保存しないようにすることもできます ( 178) 。

CUSTOM PICTURE (カスタムピクチャー) ボタン  
押すとCP (カスタムピクチャー) メニューが表示  
される。もう一度押すと消える。



機能分類	機能	設定項目	28
光の階調に関わるグループ	ガンマ	Gamma	122
	ブラックガンマ	Black Gamma	123
	マスターペDESTAL	Black – Master Pedestal	122
	マスターブラック	Black – Master Black	122
	ニー	Knee	123
	セットアップ	Other Functions – Setup Level	126
	100%クリップ	Other Functions – Clip At 100%	126

機能分類	機能	設定項目	📖
輪郭やノイズに関わるグループ	シャープネスレベル	Sharpness — Level	124
	シャープネス水平帯域	Sharpness — H Detail Freq.	124
	シャープネスHVバランス	Sharpness — HV Detail Bal.	124
	シャープネスリミット	Sharpness — Limit	124
	シャープネスセレクト	Sharpness — Select	124
	ニーアパーチャー	Sharpness — Knee Aperture	124
	輝度適応シャープネス	Sharpness — Level Depend	124
	コアリングレベル	Sharpness — Coring — Level	124
	輝度適応コアリング	Sharpness — Coring — D-Ofst / D-Curve / D-Depth	124
	ノイズリダクション	Noise Reduction	125
	スキンディテール	Skin Detail	125
	セレクトティブNR	Selective NR	125
	色の方向性、強さ、変換に関するグループ	ローキーサチュレーション	Low Key Satur.
ニーサチュレーション		Knee — Saturation	123
カラーマトリックス		Color Matrix	125
カラーゲイン		Color Matrix — Gain	125
色相		Color Matrix — Phase	125
ホワイトバランス		White Balance	126
カラーコレクション		Color Correction	126

 **MEMO** SDカードに保存したカスタムピクチャーファイルは、C100のみで使用可能です。

## ■ カスタムピクチャーファイルを登録する

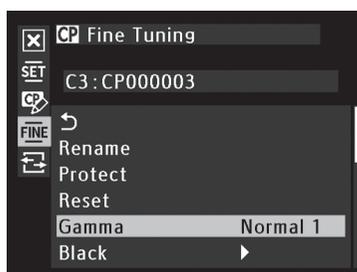
撮影時に良く使う画質調整設定をカスタムピクチャーファイルとして登録しておくと、次に使用するとき、リストから選ぶだけで同じ設定を簡単に再現できます。カスタムピクチャーファイルは、本機に9セット (C1 ~ C9)、各SDカードに20セット (SDカードAならA1 ~ A20、SDカードBならB1 ~ B20)保存できます。



## 1 登録するカスタムピクチャーファイルを選ぶ

例：「C3：CP000003」を選ぶ場合

- ① CUSTOM PICTURE (カスタムピクチャー) ボタンを押す。
  - CPメニューが表示され、さらに現在選択されているカスタムピクチャーファイル名が表示される。
  - リモートコントローラー RC-V100 (別売) のCUSTOM PICT.ボタンでもCPメニューを表示できる。
- ② カーソルを上下に移動させて **SET** (Select File) を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ③ 本機またはSDカードに保存されているカスタムピクチャーを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 「A」 と 「B」 は、それぞれSDカードにカスタムピクチャーが保存されているときのみ表示される。
- ④ 「C3：CP000003」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



## 2 画質調整の設定を行う

参考 ▶ 「カスタムピクチャーの設定項目」(P.121)

例：Gammaを「Cine 1」に設定する場合

- ① **FINE** (Fine Tuning) ▶ 「Gamma」を順に選ぶ。
- ② 「Cine 1」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

設定を初期設定に戻すとき

- ① **FINE** (Fine Tuning) ▶ 「Reset」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ② 「NEUTRAL」、 「EOS Std.」、 「Wide DR」、 「CINEMA」のいずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



## 3 カスタムピクチャーファイルの名前を設定する

- ① **FINE** (Fine Tuning) ▶ 「Rename」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - Rename (名前変更) 画面が表示され、一番左の文字の背景がオレンジ色になる。
- ② ジョイスティックを上下に押して文字を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 文字は、英数字、記号が使用できる。
- ③ ②の操作を繰り返して、すべての文字を設定する ▶ 「Set」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - カスタムピクチャーファイルの名前が決定される。
- ④ CUSTOM PICTURE (カスタムピクチャー) ボタンを押す。
  - CPメニューが消え、画面に選んだカスタムピクチャーファイルの番号 (CP3) が表示される。

## カスタムピクチャーファイルをプロテクトする

必要に応じて、カスタムピクチャーファイルをプロテクトすることができます。



- ① CPメニュー ▶ **SET** (Select File) ▶ プロテクトするカスタムピクチャーファイルを順に選ぶ。
- ② CPメニュー ▶ **FINE** (Fine Tuning) ▶ 「Protect」を順に選ぶ。
- ③ 「Protect」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - CPメニュー上のカスタムピクチャーファイル名に **🔒** が表示される。

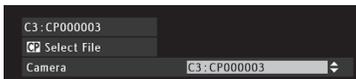
### プリセットされたカスタムピクチャーについて

初期状態では、C7 / C8 / C9にシーン設定値がプリセットされています。これらのカスタムピクチャーファイルは、プロテクトされているため、変更するときにはプロテクトを解除する必要があります。

	用途
C7: EOS Std.	デジタル一眼レフカメラEOSでピクチャースタイル「スタンダード」を選択した場合の画質を再現する設定。
C8: Wide DR	ポストプロダクション処理なしでも使用でき、広いラチチュードを持つガンマと、ガンマに合わせたカラーマトリックスを適用する設定。
C9: CINEMA	ガンマとカラーマトリックスをCanon Logにすることにより、ダイナミックレンジが広く、ポストプロダクション処理に適した色調の映像を記録する。

## 撮影に使用するカスタムピクチャーファイルを選ぶ

カスタムピクチャーファイルを登録しておくと、リストから選ぶだけで希望の画質に調整することができます。



- ① CPメニュー ▶ **SET** (Select File) を選ぶ。
  - ② 本機またはSDカードに保存されているカスタムピクチャーを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
    - 「**A**」と「**B**」は、それぞれSDカードにカスタムピクチャーが保存されているときのみ表示される。
  - ③ いずれかのカスタムピクチャーファイルを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
    - 選んだカスタムピクチャーファイルに登録されている設定に調整される。

カスタムピクチャーを使用しないとき

「Off」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ④ CUSTOM PICTURE (カスタムピクチャー) ボタンを押して、CPメニューを閉じる。



### MEMO RC-V100リモートコントローラー (別売)を使うとき

- カスタムピクチャーファイルを選んでいないか、プロテクトしたカスタムピクチャーファイルを選んでいると、カスタムピクチャーの設定をRC-V100から調整できません(□ 126)。
- RC-V100を接続中、A1 ~ A20 (SDカードA) またはB1 ~ B20 (SDカードB) は使用できません。A1 ~ A20またはB1 ~ B20を選択中にRC-V100を接続すると、自動的に「Off」に切り換わります。SDカードに入っているカスタムピクチャーファイルを使うときは、あらかじめ本機のカスタムピクチャーファイルに置き換えて使用してください(□ 120)。
- RC-V100で画質の調整を行うと、選択中のカスタムピクチャーファイルの設定が変更／登録されます。大切なカスタムピクチャーファイルはSDカードにコピーし、変更しても良いカスタムピクチャーファイルを選んでから、RC-V100で調整してください。

## ■ カスタムピクチャーファイルをコピーする

カスタムピクチャーファイルを本機とSDカードAまたはSDカードBとの間で相互にコピーすることができます。コピーの方法は、現在選んでいるカスタムピクチャーファイルが本機かSDカードかによって異なります。SDカードAとSDカードBの間では相互にコピーすることはできません。

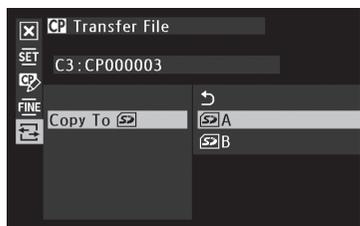
**Copy To**  : 現在のカスタムピクチャーファイル (本機) をSDカードにコピーする。新規に追加するか、既存のカスタムピクチャーファイルを上書きするかを選ぶことができる。

**Load From**  : 現在のカスタムピクチャーファイル (本機) をSDカードのカスタムピクチャーファイルで上書きする。

**Copy To Cam.** : 現在のカスタムピクチャーファイル (SDカード) を本機にコピーする。コピー先として選んだ既存のカスタムピクチャーファイルが上書きされる。

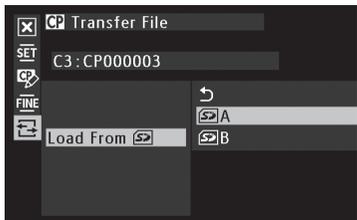
**Load From Cam.** : 現在のカスタムピクチャーファイル (SDカード) を本機のカスタムピクチャーファイルで上書きする。

### 現在のカスタムピクチャーファイル (本機) をSDカードにコピーする



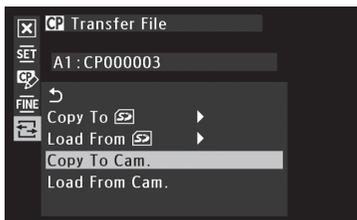
- ① CPメニュー ▶  (Select File) ▶ 本機内のいずれかのカスタムピクチャーファイルを順に選ぶ。
- ②  (Transfer File) ▶ 「Copy To 」を順に選ぶ。
- ③ 「A」または「B」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ④ SDカード内のコピー先となるカスタムピクチャーファイルまたは「New File」\*を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。  
\* SDカード内のカスタムピクチャーファイルが20セット未満のときは、「New File」が表示される。
- ⑤ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 現在のカスタムピクチャーファイル (本機) がSDカードにコピーされる。
  - 「New File」を選んだときは、自動的に最後に追加される。
- ⑥ ジョイスティックを押す。
- ⑦ CUSTOM PICTURE (カスタムピクチャー) ボタンを押して、CPメニューを閉じる。

現在のカスタムピクチャーファイル（本機）をSDカードのカスタムピクチャーファイルで置き換える



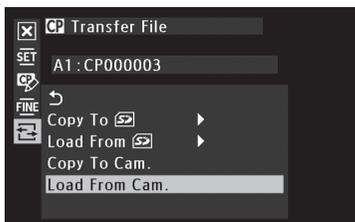
- ① CPメニュー ▶ SET (Select File) ▶ 本機内のいずれかのカスタムピクチャーファイルを順に選ぶ。
- ② [Transfer File] ▶ 「Load From」を順に選ぶ。
- ③ 「A」または「B」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ④ SDカード内のコピー元となるカスタムピクチャーファイルを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ⑤ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 現在のカスタムピクチャーファイルが置き換わる。
- ⑥ ジョイスティックを押す。
- ⑦ CUSTOM PICTURE.(カスタムピクチャー) ボタンを押して、CPメニューを閉じる。

現在のカスタムピクチャーファイル（SDカード）を本機にコピーする



- ① CPメニュー ▶ SET (Select File) ▶ SDカード内のいずれかのカスタムピクチャーファイルを順に選ぶ。
- ② [Transfer File] ▶ 「Copy To Cam.」を順に選ぶ。
- ③ 本機内のコピー先となるカスタムピクチャーファイルを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ④ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 現在のカスタムピクチャーファイル（SDカード）が本機にコピーされる。
- ⑤ ジョイスティックを押す。
- ⑥ CUSTOM PICTURE(カスタムピクチャー) ボタンを押して、CPメニューを閉じる。

現在のカスタムピクチャーファイル (SDカード) を本機のカスタムピクチャーファイルで置き換える



- ① CPメニュー ▶ SET (Select File) ▶ SDカード内のいずれかのカスタムピクチャーファイルを順に選ぶ。
- ② [Transfer File] ▶ 「Load From Cam.」を順に選ぶ。
- ③ 本機内のコピー元となるカスタムピクチャーファイルを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ④ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 現在のカスタムピクチャーファイルが置き換わる。
- ⑤ ジョイスティックを押す。
- ⑥ CUSTOM PICTURE (カスタムピクチャー) ボタンを押して、CPメニューを閉じる。



**MEMO**

記録した静止画と一緒に保存されているカスタムピクチャーファイルを、本機にコピーすることもできます (p119)。

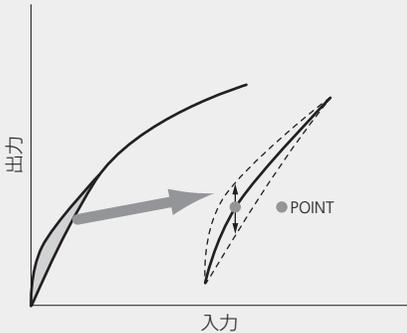
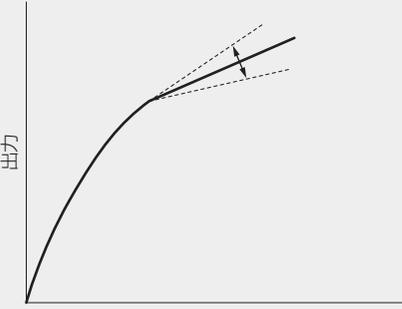
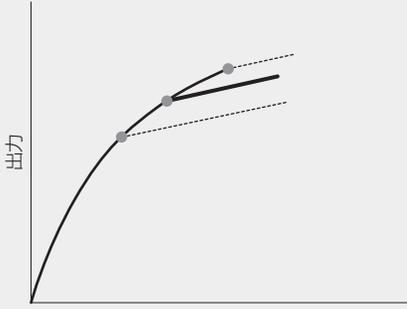
## ■ カスタムピクチャーの設定項目

カスタムピクチャーで設定できる項目について説明します。初期設定は太字\*で記載しています。

\* カスタムピクチャーファイルの選択 (CPメニュー ▶ Select File) で「Off」を選んだときも太字の内容に設定されます。

設定項目	詳細項目	設定値	内容
<b>Rename</b>	カスタムピクチャーファイル名		カスタムピクチャーファイルの名前を英数字8文字で設定する。
<b>Protect</b>	—	Protect、Unprotect	現在のカスタムピクチャーファイルをプロテクトする。
<b>Reset</b>	—	<b>NEUTRAL</b> 、EOS Std.、Wide DR、CINEMA	現在のカスタムピクチャーファイルの設定を、初期設定に戻す。 NEUTRAL：標準的な初期設定に戻す。 EOS Std.：EOS Std.プリセットの初期設定に戻す。 Wide DR：Wide DRプリセットの初期設定に戻す。 CINEMA：CINEMAプリセットの初期設定に戻す。

設定項目	詳細項目	設定値	内容
<b>Gamma(ガンマ)</b> ガンマカーブを選択する	—	<b>Normal 1</b> 、 Normal 2、 Normal 3、 Normal 4、 Cine 1、 Cine 2、 EOS Std.、 Wide DR、 Canon Log	画面全体のテイストを決めるガンマカーブを9種類から選択する。(通常は「Color Matrix」▶「Select」と同じ設定にする)。Normal 1～Normal 4は、TVモニターで見ることを前提にしたガンマ。Normal 2は、Normal 1に対して高輝度部をより明るく撮影でき、Normal 3 (ITU-R BT.709) とNormal 4は、順にNormal 2に対して低輝度部の黒の階調をより表現できる。Cine 1は、映画に近い質感や階調が得られるようなガンマ。Cine 2は、Cine 1に対してさらにソフトなコントラストで、映画表現に適したガンマ。EOS Std.は、デジタル一眼レフカメラEOSでピクチャースタイル「スタンダード」を選択した場合のガンマで、Normal 1に比べてコントラストが高い。Wide DRは、広いダイナミックレンジを確保しつつ、TVモニター出力を前提にしたガンマ。Canon Logは、ダイナミックレンジを広くとったガンマでポストプロダクション処理が前提となる (□60)。
	<div style="text-align: center;">Gamma</div>		
<b>Black(ブラック)</b> 黒のレベル、黒の色かぶりを調整する	Master Pedestal	±50 (±0)	黒のレベルを調整する。値を高くするほど画像の暗い部分が明るくなり、コントラストが弱くなる。マイナスの値にすると、黒が沈む。
	Master Black		
	Red Green Blue	±50 (±0) ±50 (±0) ±50 (±0)	黒の色かぶりをRGB個別に補正する。

設定項目	詳細項目	設定値	内容
<b>Black Gamma</b> (ブラックガンマ)  低輝度部のガンマを補正する  * 「Gamma」を「Wide DR」または「Canon Log」に設定しているとき、「Black Gamma」の設定を変更しても効果は変わりません。	Level	±50(±0)	低輝度部のガンマを補正する。Level(基準ガンマからの高さ)、Range(幅)、Point(頂点の位置)の調整があり、各設定値を変えることで、図の範囲内で黒側のガンマカーブを調整する。  Black Gamma 
	Range	-5 ~ 50(±0)	
	Point	-1 ~ 50(±0)	
<b>Low Key Satur.</b> (ローキーサチュレーション)	Enable	On, Off	Onにすると、低輝度領域で色の濃い／薄いを調整できる。
	Level	±50(±0)	EnableがOnのとき、低輝度領域の色の濃さ・薄さを設定する。
<b>Knee(ニー)</b>  ニー(高輝度部に圧縮をかける機能)を調整する  * 「Gamma」を「Cine 1」／「Cine 2」／「EOS Std.」／「Wide DR」／「Canon Log」に設定しているとき、「Knee」の設定を変更しても効果は変わりません。	Enable	On, Off	高輝度部分に圧縮をかけて、とびの発生を抑える。ニーのかけかたは、Slope(ニーの傾き)、Point(ニーポイント)、Saturation(ニーポイントより上の高輝度部における色の濃さ・薄さ)の各設定値で調整する。  Knee Slope 
	Slope	-35 ~ 50(±0)	
	Point	50 ~ 109(95)	
	Saturation	±10(±0)	
			Knee Point 

設定項目	詳細項目	設定値	内容
Sharpness (シャープネス) 出力信号、記録信号の輪 郭強調を設定する	Level	-10 ~ 50(±0)	輪郭強調のレベルを調整する。
	H Detail Freq.	±8(±0)	水平の輪郭強調の中心周波数を設定する。値を大きくするほど周波数が高くなり、輪郭強調は細くなる。
	Coring Level D-Ofst D-Curve D-Depth	-30 ~ 50(±0) 0 ~ 50 0 ~ 8 ±4(±0)	輪郭強調によって発生するノイズ成分を低減する(コアリング)。Level(コアリングのレベル)を大きくすると、微小な輪郭が強調されなくなり、ノイズを低減できる。また、輝度に応じてコアリングのレベルを変えることもできる(輝度適応コアリング)。最低輝度のコアリングレベルをD-Ofst(レベルディバンド-オフセット)で、LevelからD-Ofstまでの変化のしかたをD-Curve(レベルディバンド-カーブ)で設定する。D-Depth(レベルディバンドデプス)は倍率で、D-Ofstに掛け合わせることで輝度適応コアリングのレベルが決定される。D-Depthをプラスにすると、低輝度部のコアリングレベルが上がり、マイナスにすると低輝度部のコアリングレベルが下がる。
	HV Detail Bal.	±8(±0)	輪郭強調の水平成分と垂直成分の比率を調整する。値を大きくすると垂直成分が大きくなり、値を小さくすると水平成分が大きくなる。
	Limit	±50(±0)	輪郭強調の大きさを制限するレベルを調整する。
	Select	0 ~ 15	Levelで設定した通常の輪郭強調に加えて、より高い周波数成分を含む輪郭強調をかけるときに設定する。数値が大きくなるほど高い周波数成分を含む輪郭強調のレベルが強くなる。通常の輪郭強調では鮮明になりにくい被写体を使用する。
	Knee Aperture Gain Slope	0 ~ 9 0 ~ 3(1)	二点より輝度が高い領域だけに輪郭強調をかける。Gainは輪郭強調の強さを、Slopeは輪郭強調の傾きを0(なし)、1(急) ~ 3(なだらか)の4段階で設定する。Gammaで「Cine 1」 / 「Cine 2」 / 「Canon Log」 / 「EOS Std.」を選択時は無効。
	Level Depend Level Slope Offset	0 ~ 50 0 ~ 3 0 ~ 50	低輝度部分の輪郭強調を弱める。Levelは処理対象の低輝度部分の輝度を設定する。Slopeは低輝度と高輝度部との間の傾きを0(なし)、1(急) ~ 3(なだらか)の4段階で設定する。Offsetは低輝度部の輪郭強調のレベルを設定し、値を大きくするほど低輝度部の輪郭強調が弱められる。

設定項目	詳細項目	設定値	内容
<b>Noise Reduction</b> (ノイズリダクション) 一般的なノイズを低減する回路の設定を変更する	—	<b>Off</b> , 1 ~ 12	ノイズを低減するノイズフィルターを選択する。数値が大きくなるほど、ノイズ低減効果が大きくなる。
<b>Skin Detail</b> (スキディテール) 肌色部分のノイズを低減して肌を美しく撮影するための設定を行う	Effect Level	<b>Off</b> , Low, Middle, High	肌色を検出して、きれいな肌を演出するためのフィルターを調整する。調整のレベルは、3段階で設定でき、Highがもっとも強く調整される。
	Hue	±16(±0)	検出する肌色の設定は、Hue(色相)、Chroma(彩度)、Area(色相の幅)、Y Level(輝度レベル)をそれぞれ調整する。調整中、設定した肌色部分を検出すると、液晶画面またはファインダー上にゼブラパターンで表示する。
	Chroma	0 ~ 31( <b>16</b> )	
	Area	0 ~ 31( <b>16</b> )	
<b>Selective NR</b> (セレクトティブNR) 特定の色域を検出してノイズを低減する設定を行う	Effect Level	<b>Off</b> , Low, Middle, High	特定の色を検出して、その色の範囲を美しく演出するためのフィルターを調整する。調整のレベルは、3段階で設定でき、Highがもっとも強く調整される。
	Hue	0 ~ 31( <b>0</b> )	検出する色の設定は、Hue(色相)、Chroma(彩度)、Area(色相の幅)、Y Level(輝度レベル)をそれぞれ調整する。調整中、設定した色部分を検出すると、液晶画面またはファインダー上にゼブラパターンで表示する。
	Chroma	0 ~ 31( <b>16</b> )	
	Area	0 ~ 31( <b>16</b> )	
<b>Color Matrix</b> (カラーマトリックス) 映像の色調を調整する * 「Gamma」を「Canon Log」に設定しているとき、「Color Matrix」の設定を変更しても効果は変わりません。	Select	<b>Normal 1</b> , Normal 2, Normal 3, Normal 4, Cine 1, Cine 2, EOS Std., Wide DR, Canon Log	色調をNormal 1 ~ 4, Cine 1 ~ 2, EOS Std., Wide DR, Canon Logの9種類から選択する(通常はGammaと同じ設定にする)。選択した色調をより細かく調整するために、カラーゲイン、色相、マトリクスを設定できる。
	Gain	±50(±0)	色の濃さを調整する。
	Phase	±18(±0)	色相を調整する。
	R-G	±50(±0)	シアンからグリーン、レッドからマゼンタの色調を調整する。
	R-B	±50(±0)	シアンからブルー、レッドからイエローの色調を調整する。
	G-R	±50(±0)	マゼンタからレッド、グリーンからシアンの色調を調整する。
	G-B	±50(±0)	マゼンタからブルー、グリーンからイエローの色調を調整する。
	B-R	±50(±0)	イエローからレッド、ブルーからシアンの色調を調整する。
	B-G	±50(±0)	イエローからグリーン、ブルーからマゼンタの色調を調整する。

設定項目	詳細項目	設定値	内容
<b>White Balance</b> (ホワイトバランス) ホワイトバランスのシフト量を調整する	R Gain	±50(±0)	赤色の濃淡を調整する。
	B Gain	±50(±0)	青色の濃淡を調整する。
<b>Color Correction</b> (カラーコレクション) 特定の範囲の色調を補正する	Select Area	<b>Off</b> , Area A, Area B, Area A&B	補正する色の範囲をAエリアとBエリアの2種類設定できる。補正は、「Aエリアのみ」、「Bエリアのみ」、「Aエリア / Bエリア両方」を選択できる。
	Area A Setting Phase Chroma Area Y Level	<b>0</b> ~ 31 <b>0</b> ~ 31( <b>16</b> ) <b>0</b> ~ 31( <b>16</b> ) <b>0</b> ~ 31( <b>16</b> )	補正する色の範囲 (Aエリア)を設定する。Phase(色相)、Chroma(彩度)、Area(色相の幅)、Y Level(輝度レベル)をそれぞれ設定する。
	Area A Revision Level Phase	±50(±0) ±18(±0)	Aエリアの色の補正量を設定する。Levelは色の濃さ、Phaseは色相の補正量を設定する。
	Area B Setting Phase Chroma Area Y Level	<b>0</b> ~ 31 <b>0</b> ~ 31( <b>16</b> ) <b>0</b> ~ 31( <b>16</b> ) <b>0</b> ~ 31( <b>16</b> )	補正する色の範囲 (Bエリア)を設定する。Phase(色相)、Chroma(彩度)、Area(色相の幅)、Y Level(輝度レベル)をそれぞれ設定する。
	Area B Revision Level Phase	±50(±0) ±18(±0)	Bエリアの色の補正量を設定する。Levelは色の濃さ、Phaseは色相の補正量を設定する。
	<b>Other Functions</b> (その他) 上記の категорияに属さないものを調整する	Setup Level Level Press	±50(±0) On, <b>Off</b>
Clip At 100%		On, <b>Off</b>	Onにすると、映像出力が100%を超えるときに白レベルを100%でクリップする。



## MEMO

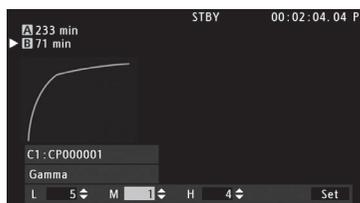
- リモートコントローラー RC-V100(別売)を接続すると、次の項目をRC-V100から調整できます。このとき、本機では調整できません。
  - BlackのMaster Pedestal、Master Black Red / Blue
  - Black GammaのLevel
  - KneeのSlope\*、Point\*
  - SharpnessのLevel
  - White BalanceのR Gain / B Gain

\* KneeのEnableがOnのときのみ。

## ■ ガンマカーブ、色平面を見ながら調整する

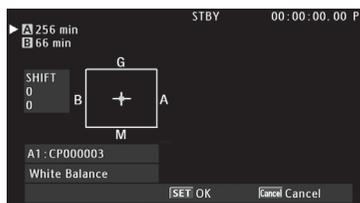
Gamma(ガンマ)とWhite Balance(ホワイトバランス)は **FINE** (Fine Tuning)で行う数値のみの設定のほか、グラフで直感的に画質の変化を確認することができます。ガンマではガンマカーブの曲線状態を、ホワイトバランスでは色の補正方向と補正量を確認することができます。

### ガンマを調整する



- ① CPメニュー ▶ **CP** (Edit File)を順に選ぶ。
- ② 「Gamma」▶ ジョイスティックを押す。
- ③ ジョイスティックを左右に押しして「M」にカーソルを合わせ、上下に押ししてガンマを設定する。
  - 「M」は基本となるガンマ (□ 122)に対応した項目で、1～9が設定可能。  
 1～4：Normal 1～Normal 4  
 5～6：Cine 1～Cine 2  
 7：EOS Std.  
 8：Wide DR  
 9：Canon Log
- ④ ジョイスティックを左右に押しして「L」または「H」にカーソルを合わせ、ガンマカーブを調整する。
  - 「L」はブラックガンマ (□ 123)に対応した項目で、1～9が設定可能。低輝度部分の階調性を変えるときに調整する。「M」が「8」または「9」のときは設定できない。
  - 「H」はニーに対応した項目で、1～5が設定可能。高輝度部分の階調性を変えるときに調整する。「M」が「5」以上の時は設定できない。
- ⑤ 「Set」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 変更した設定は **FINE** (Fine Tuning)の「Gamma」でも同時に設定される。
- ⑥ CUSTOM PICTURE (カスタムピクチャー) ボタンを押す。
  - CPメニューが終了し、調整した画質が反映される。

### ホワイトバランスを調整する



- ① CPメニュー ▶ **CP** (Edit File)を順に選ぶ。
- ② 「White Balance」▶ ジョイスティックを押す。
- ③ ジョイスティックを上下左右に押しして、画面のオレンジ色の■を移動する。
  - Bはブルー、Aはアンバー、Mはマゼンタ、Gはグリーンの意味で、移動方向寄りの色に補正される (補正幅は各色9段)。
  - グラフ左の「SHIFT」に補正方向と補正量が表示される。
- ④ ジョイスティックを押す。
  - 変更した設定は **FINE** (Fine Tuning)の「White Balance」でも同時に設定される。
- ⑤ CUSTOM PICTURE (カスタムピクチャー) ボタンを押す。
  - CPメニューが終了し、調整した画質が反映される。

# 機能や表示をカスタマイズする

CAMERA MEDIA

カメラモードで使用する機能をカスタマイズする「カスタムファンクション」と、撮影中の画面の表示項目をカスタマイズする「カスタムディスプレイ」とがあります。撮影スタイルや目的に合わせて、より使いやすいように設定することができます。設定した内容は、他のメニュー設定とともに設定データとしてSDカードに保存したり、SDカードから読み出して再利用したりすることができます(□ 129)。設定のしかたは通常のメニュー操作と同じです。

## ■ カスタムファンクションで設定できる項目

設定内容の詳細は、メニュー一覧のその他機能メニュー ▶ 「Custom Function」(□ 178)をご覧ください。

設定項目	内容
ショックレスWB	ホワイトバランスを切り換えたときに値をなめらかに変化させる。
AEレスポンス	AEの応答性を選ぶ。
グリップ電子ダイヤル方向	電子ダイヤル(グリップ)の操作方向を設定する。
電源オフ時のレンズ収納	対応レンズ(□ 178)を装着して電源を切ると、レンズの全長が最短になるように、自動的にレンズを収納する。
フォーカスアシストB&W	フォーカスを調整時、ピーキング(PEAKING)または拡大表示(MAGN.)を使うときに、画面を自動的にモノクロにするかどうかを設定する。
Magnification連動	拡大表示を使用時にピーキングまたはエッジモニターも同時に表示するかを選ぶ。
スキャンリバース記録	記録する映像を上下左右、上下、左右のいずれかに反転させるかどうかを設定する。
表示文字記録	画面上に表示されている文字やアイコンなどを映像と一緒に記録(表示文字記録)するかどうかを設定する。
🔒 START/STOP	POWER(電源)スイッチを🔒(キーロック)にしているときにSTART/STOPボタンを有効にするかどうかを設定する。

## ■ カスタムディスプレイで設定できる項目

カスタマイズ可能な表示項目については、「撮影時の画面表示」(□ 58)を、設定内容の詳細は、LCD/VF設定メニュー ▶ 「Custom Display 1」または「Custom Display 2」(□ 173)をご覧ください。

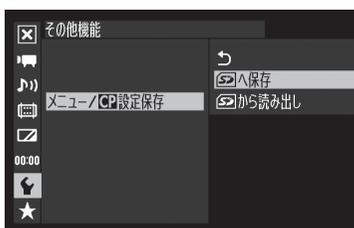
# 設定データの保存と読み出し

CAMERA MEDIA

メニューやカスタムピクチャーで行った各種の設定情報を設定データとしてSDカードに保存することができます。設定データは、必要に応じて本機に読み出して再利用できます。複数のC100を同じ設定にするときに便利です。

## ■ 設定データをSDカードに保存する

メニュー設定やカスタムピクチャーを設定データとしてSDカードに保存します。

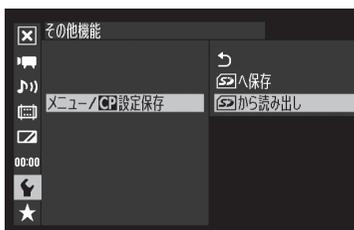


- ① その他機能メニュー ▶ 「メニュー / CP 設定保存」 ▶ 「へ保存」を順に選ぶ。
- ② 「A」または「B」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ③ 「Menu」または「Menu+ CP」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。  
Menu :           メニュー設定のみ。  
Menu+ CP :       メニュー設定とカスタムピクチャー（本機に保存されている9セット）。
- ④ 「OK」を選び、ジョイスティックを押す。
  - 現在のメニュー設定やカスタムピクチャーが、設定データとしてSDカードに保存される。
- ⑤ ジョイスティックを押す。

カスタマイズ

## ■ 設定データをSDカードから読み込む

SDカードに保存されている設定データを読み込んで本機に設定します。



- ① その他機能メニュー ▶ 「メニュー / CP 設定保存」 ▶ 「から読み出し」を順に選ぶ。
- ② 「A」または「B」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ③ 「Menu」または「Menu+ CP」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。  
Menu :           メニュー設定のみ。  
Menu+ CP :       メニュー設定とカスタムピクチャー。
- ④ 「OK」を選び、ジョイスティックを押す。
  - メニュー設定やカスタムピクチャーが、SDカードから読み込んだ設定データの内容に設定される。
  - 設定データが本機に読み込まれたあと、画面が一度消え、本機が再起動する（メニューは消える）。

### 設定データの内容を確認する

設定データには、メニューやカスタムピクチャーの設定内容を記述したテキストファイルが含まれます。設定データを保存したSDカードを、パソコンに接続したカードリーダー（市販）などに入れて、「¥PRIVATE ¥CAMSET ¥CAMSET4.TXT」を開くと、設定内容を確認することができます。



**MEMO**

- 設定データをSDカードから読み込むとき、本機にプロテクトされたカスタムピクチャーファイルがあっても、上書きされます。
- C100の設定データのみ本機で読み込むことができます。

# 5

## 再生

クリップを再生する.....	132
クリップを操作する.....	137



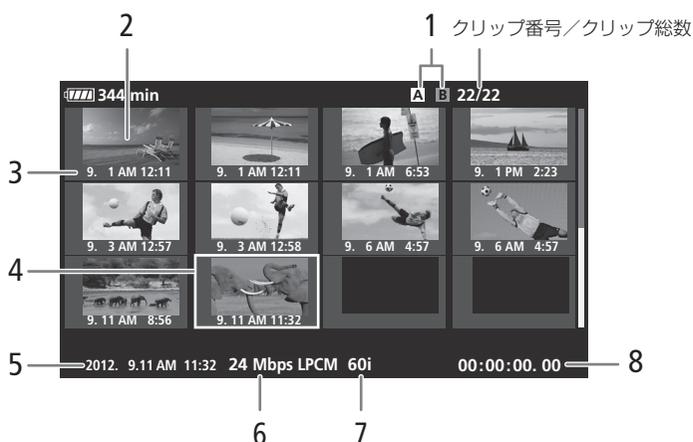
# クリップを再生する

CAMERA MEDIA

ここでは、撮影した映像（クリップ）の再生について説明します。外部のモニターに接続して再生するときは、「接続」(P.143)をご覧ください。

## ■ インデックス画面

POWER(電源)スイッチをMEDIAにする (P.26)と本機がメディアモードで起動し、SDカードに記録されているクリップのサムネイル（縮小画）がインデックス画面に表示されます（オリジナルインデックス画面）。なお、SDカードに記録されているクリップのシステム周波数が、本機の設定と異なると再生できません。本機の「システム周波数」(P.61)を再生するクリップと同じ設定にしてください。



5～8には、選択しているクリップの情報が表示されます。

- 1 現在選択しているSDカード（ハイライト表示）
- 2 クリップのサムネイル
- 3 収録日（月日）と記録開始時間
- 4 カーソル（オレンジ色の枠）
- 5 収録日（年月日）と記録開始時間
- 6 ビットレート／音声記録方式
  - 音声記録方式は「24 Mbps LPCM」のビットレートで記録されたクリップを選択したときのみ表示されます。
- 7 フレームレート
- 8 記録開始フレームのタイムコード

## SDカードを切り換える

両方のSDカードスロットにSDカードを入れているときは、SLOT SELECT(スロット選択)ボタンを押して、再生するSDカードを切り換えることができます (□ 49)。

## インデックス画面を切り換える

インデックス画面に表示する内容を選んで、インデックス画面を切り換えることができます。次の3種類のインデックス画面に切り換えることができます。

### SD動画インデックス画面

選択中のSDカードに記録されているSD動画 (□ 140)のみを表示する。

### 静止画インデックス画面

選択中のSDカードに記録されている静止画のみを表示する。

### ショットリストインデックス画面

選択中のSDカードに記録されている常時記録のショットのみを表示する。



### 1 INDEX(インデックス)ボタンを押す

- インデックスメニューが表示される。



### 2 ジョイスティックを上下に押して、切り換えたいインデックス画面を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す

- 選んだインデックス画面に切り換わる。

切り換えを中止するとき

「Cancel」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

オリジナルインデックス画面に戻るとき

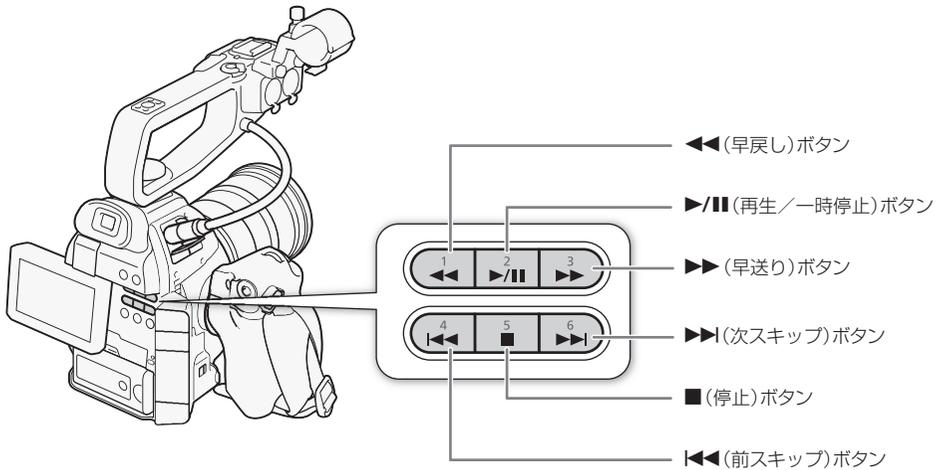
INDEX(インデックス)ボタンを押す。



- 常時記録モード中に、カメラモードからメディアモードに切り換えると、ショットリストインデックス画面が表示されます。

## 再生する

インデックス画面で選んだクリップを再生します。再生には各種再生操作ボタンを使用します。ジョイスティックガイドに従ってジョイスティックで操作することもできます。



### 1 ジョイスティックを上下左右に押して、クリップを選ぶ

- ジョイスティックを操作すると、インデックス画面のカーソル（オレンジ色の枠）が移動するので、再生したいクリップに合わせる。



### 2 ▶▶/|| (再生/一時停止) ボタンを押す

- 再生が始まる。
- 再度、▶▶/|| (再生/一時停止) ボタンを押すと再生一時停止となる。
- 選んだクリップの再生が終わると、自動的に次のクリップが再生される。最後のクリップの再生が終わると、最後のクリップの最終フレームで再生一時停止となる。

再生を終えるとき

本体の■ (停止) ボタンを押す。



⚠ **ご注意** アクセランプが点灯している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。

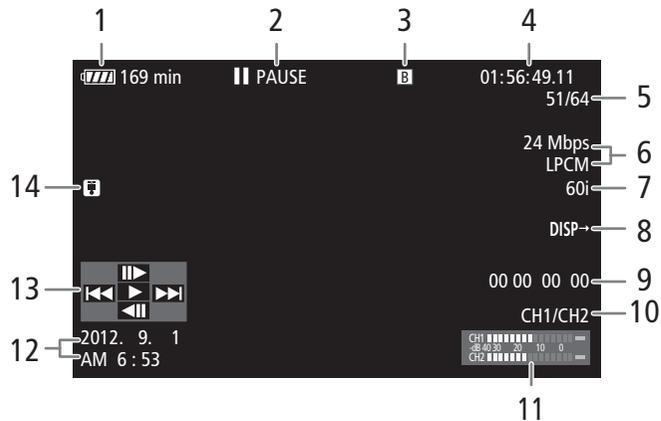
- 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- SDカードカバーを開けない。



MEMO

- クリップが切り換わるときに映像と音声途切れることがあります。
- SD動画(□ 140)のクリップは、再生と停止のみ操作できます。また、クリップは1クリップのみ再生されます。

## 再生時の画面表示



1 バッテリー残量の目安 ▶▶ 59

2 再生状況

- ▶▶ PLAY 再生中
- || PAUSE 再生一時停止中
- ▶▶▶ コマ送り
- ◀◀◀ コマ戻し
- F FWD x5 ▶▶▶ 早送り (5倍速)
- F FWD x15 ▶▶▶ 早送り (15倍速)
- F FWD x60 ▶▶▶ 早送り (60倍速)
- ◀◀◀ F REV x5 早戻し (5倍速)
- ◀◀◀ F REV x15 早戻し (15倍速)
- ◀◀◀ F REV x60 早戻し (60倍速)

3 SDカード ▶▶ 49

4 タイムコード ▶▶ 88

5 クリップ番号/クリップ総数

6 ビットレート/音声記録方式 ▶▶ 61

- 音声記録形式は「24 Mbps LPCM」のビットレートで記録されたクリップを再生しているときのみ表示されます。

\*1 LCD/AF設定メニュー ▶ 「Audio Level」が「入」のときに表示される。

\*2 LCD/AF設定メニュー ▶ 「日付/時刻」が「入」のときに表示される。

7 フレームレート ▶▶ 61

8 画面表示出力 ▶▶ 148

9 ユーザービット ▶▶ 91

10 音声出力チャンネル ▶▶ 149

11 オーディオレベルメーター \*1

12 収録日と記録時の時間\*2

13 ジョイスティックガイド ▶▶ 136

14 温度警告 ▶▶ 45、193

本体内部の温度が高くなると黄色く表示される。さらに温度が上昇すると、赤く表示される。

## さまざまな再生

早送りや早戻し、コマ送り、スキップ再生などの再生方法があります。操作は、本体またはジョイスティックガイドに従ってジョイスティックで行います。ジョイスティックガイドは、DISP.(ディスプレイ) / BATT.INFO(バッテリー情報) ボタンを押して表示を入/切できます。

機能	操作	操作		説明
		ボタン	ジョイスティック	
早送り*1	再生中に	▶▶	▶▶	押すたびに再生速度が約5倍→約15倍→約60倍に切り換わる。*2
早戻し*1	再生中に	◀◀	◀◀	
コマ送り	一時停止中に	—	▶▶▶	押すたびに1コマ進む。押し続けると連続してコマごとに進む。
コマ戻し	一時停止中に	—	◀◀◀	押すたびに1コマ戻る。押し続けると連続してコマごとに戻る。
スキップ再生	再生中に	▶▶▶	▶▶▶	次のクリップの先頭から再生。
	再生中に	◀◀◀	◀◀◀	現在のクリップの先頭から再生。
	再生中に2回押す	◀◀◀	◀◀◀	前のクリップの先頭から再生。

\*1 操作中、画面が乱れることがあります。

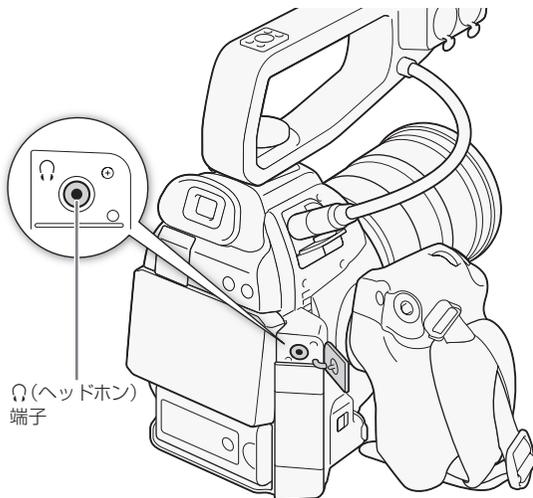
\*2 画面に出る倍速表示は目安です。



### MEMO

- 特殊再生中は音声が聞こえません。
- 早送りや早戻し中に▶▶/◀◀ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

## 音声を聞く



通常の再生中は、音声を内蔵スピーカー（モノラル）またはヘッドホンで聞くことができます。Ω（ヘッドホン）端子にヘッドホンを接続すると内蔵スピーカーは切になります。

### ヘッドホンの音量を調整する

ヘッドホンの音量は、オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Output」の「Headphone音量」またはアサインボタン (□ 112) で調整できます。

### 内蔵スピーカーの音量を調整する

内蔵スピーカーの音量は、オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Output」の「Speaker音量」またはアサインボタン (□ 112) で調整できます。



### MEMO

- モニターするチャンネルの選択については、「音声出力を選択する」(□ 149)をご覧ください。

# クリップを操作する

CAMERA MEDIA

クリップのコピー\*や消去を行うときは、クリップメニューを使用します。クリップメニューは動画のインデックス画面で表示することができます。また、すべてのクリップに対する操作は、その他機能メニューから行うことができます。

\* オリジナルインデックス画面の動画のみ

## ■ クリップメニューで操作する

例：オリジナルインデックス画面で1つのクリップを消去する場合



### 1 操作するクリップを選ぶ



### 2 ジョイスティックを押す

- クリップメニューが表示される。選択できる機能は、表示している画面や選択しているクリップによって変わる。



### 3 消去する

- ① 「クリップ消去」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ② 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 選択したクリップが消去される。
- ③ ジョイスティックを押す。

Cancel  
クリップコピー  
クリップ消去  
HD→SD変換



注意

アクセラランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。

- 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- SDカードのカードカバーを開けない。



MEMO

クリップを操作するときは、SDカードの誤消去防止ツマミの「LOCK」を解除してください。

再生

## クリップをコピーする

SDカードに記録されたクリップを、もう一方のスロットのSDカードにコピーすることができます。

### 1つのクリップをコピーする



- ① コピーするクリップを選ぶ
- ② クリップメニュー ▶ 「クリップコピー」を順に選ぶ。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 選択したクリップがもう一方のSDカードにコピーされる。
  - コピーの途中でジョイスティックを押してコピーを中止することもできる。
- ④ ジョイスティックを押す。

### 選択したクリップをコピーする



- ① その他機能メニュー ▶ 「クリップ」 ▶ 「コピー」を順に選ぶ。
- ② 「選択」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ③ コピーするクリップを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 選択したクリップのサムネイルに☑が表示される。
  - もう一度ジョイスティックを押すと選択が解除される。
- ④ ③の操作を繰り返して、コピーするクリップをすべて選ぶ。
- ⑤ MENUボタンを押す。
- ⑥ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 選択したクリップがもう一方のSDカードにコピーされる。
  - コピーの途中でジョイスティックを押してコピーを中止することもできる。
- ⑦ ジョイスティックを押す。

### すべてのクリップをコピーする



- ① その他機能メニュー ▶ 「クリップ」 ▶ 「コピー」を順に選ぶ。
- ② 「すべて」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 選択中のSDカードに記録されているすべてのクリップが、もう一方のSDカードにまとめてコピーされる。
  - コピーの途中でジョイスティックを押してコピーを中止することもできる。
- ④ ジョイスティックを押す。

## ■ クリップ／ショットを消去する

SDカードに記録されたクリップ／ショット（常時記録モードで記録）を消去することができます。なお、ショットを消去しても、常時記録で記録したクリップ内のイン点／アウト点情報が消去されるだけで、映像は消去されません。下記の説明では、必要に応じて「クリップ」を「ショット」に置き換えてお読みください。

### 1つのクリップ／ショットを消去する



- ① 消去するクリップを選ぶ。
- ② クリップメニュー ▶ 「クリップ消去」または「ショット消去」を順に選ぶ。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 選択したクリップが消去される。
  - 消去の途中で中止することはできない。
- ④ ジョイスティックを押す。

### 選択したクリップ／ショットを消去する



- ① その他機能メニュー ▶ 「クリップ」 ▶ 「消去」を順に選ぶ。
  - ショットリストインデックス画面のときは、その他機能メニュー ▶ 「ショット消去」を選ぶ。
- ② 「選択」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ③ 消去するクリップを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 選択したクリップのサムネイルに☑が表示される。
  - もう一度ジョイスティックを押すと選択が解除される。
- ④ ③の操作を繰り返して、消去するクリップをすべて選ぶ。
- ⑤ MENUボタンを押す。
- ⑥ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 選択したクリップが削除される。
  - 消去の途中でジョイスティックを押して消去を中止することもできる。
- ⑦ ジョイスティックを押す。

### すべてのクリップ／ショットを消去する



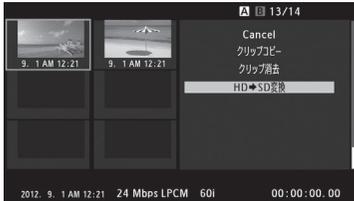
- ① その他機能メニュー ▶ 「クリップ」 ▶ 「消去」を順に選ぶ。
  - ショットリストインデックス画面のときは、その他機能メニュー ▶ 「ショット消去」を選ぶ。
- ② 「すべて」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 選択中のSDカードに記録されているすべてのクリップが消去される。
  - 消去の途中でジョイスティックを押して消去を中止することもできる。
- ④ ジョイスティックを押す。

## SD動画に変換（ダウンコンバート）する

AVCHD動画を標準画質\*（MPEG2形式）のSD動画に変換することができます。変換は一方のSDカードに記録されているクリップをSD動画に変換して他方のSDカードに記録します。

\* 変換した標準画質の動画を「SD動画」と呼びます。

### 1つのクリップを変換する



- ① 変換するクリップを選ぶ。
- ② クリップメニュー ▶ 「HD to SD変換」を順に選ぶ。
  - 変換元のSDカードアイコンの下に変換後のクリップサイズの目安が表示される。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 変換が始まりクリップが再生される。
  - 変換の途中でジョイスティックを押して変換を中止することもできる。
- ④ ジョイスティックを押す。

### 選択したクリップを変換する



- ① その他機能メニュー ▶ 「クリップ」 ▶ 「HD to SD変換」を順に選ぶ。
- ② 「選択」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ③ 変換するクリップを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 選択したクリップのサムネイルに☑が表示される。
  - もう一度ジョイスティックを押すと選択が解除される。
- ④ ③の操作を繰り返して、変換するクリップをすべて選ぶ。
- ⑤ MENUボタンを押す。
  - 変換元のSDカードアイコンの下に変換後のクリップサイズの目安が表示される。
- ⑥ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 変換が始まりクリップが再生される。
  - 変換の途中でジョイスティックを押して変換を中止することもできる。
- ⑦ ジョイスティックを押す。

### すべてのクリップを変換する



- ① その他機能メニュー ▶ 「クリップ」 ▶ 「HD to SD変換」を順に選ぶ。
- ② 「すべて」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 変換元のSDカードアイコンの下に変換後のクリップサイズの目安が表示される。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 変換が始まりクリップが再生される。
  - 変換の途中でジョイスティックを押して変換を中止することもできる。
- ④ ジョイスティックを押す。

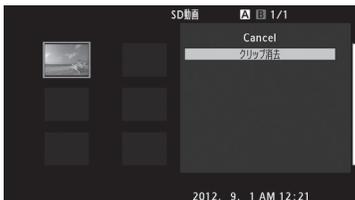
 MEMO

- 変換できる記録時間は12時間までです。
- 変換後のビットレートは9 Mbpsです。
- フレームレートを「24P」にして撮影した映像はSD変換できません(□ 61)。
- SD動画変換中は音声再生されません。変換中に音声を調整する場合はあらかじめアサインボタン(□ 112)に「Headphone +」／「Headphone -」または「Speaker +」／「Speaker -」を割り当ててアサインボタンで調整してください。
- SDカード内のフォルダー数とファイル数が最大になり、新しくファイル番号が作成できないときは変換できません(□ 190)。

## ■ SD動画を消去する

SD変換したSD動画を消去します。SD動画を「選択」して消去することはできません。

### 1つのSD動画を消去する



- ① SD動画インデックス画面に切り換える(□ 133)。
- ② 消去するSD動画を選ぶ。
- ③ クリップメニュー ▶ 「クリップ消去」を順に選ぶ。
- ④ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 選択したSD動画が消去される。
  - 消去の途中で中止することはできない。
- ⑤ ジョイスティックを押す。

### すべてのSD動画を消去する



- ① SD動画インデックス画面に切り換える(□ 133)。
- ② その他機能メニュー ▶ 「クリップ」 ▶ 「消去」 ▶ 「すべて」を順に選ぶ。
- ③ 「OK」 ▶ ジョイスティックを押す。
  - 選択中のSDカードに記録されているすべてのSD動画が消去される。
  - 消去の途中でジョイスティックを押して消去を中止することもできる。
- ④ ジョイスティックを押す。



# 接 続

出力信号形式 .....	144
外部モニターを接続する .....	145
音声出力を選択する .....	149
クリップをパソコンに保存する.....	151

# 出力信号形式

CAMERA MEDIA

HDMI™ OUT端子からの出力信号は、メニューの設定や接続した外部モニター的能力によって変わります。また、コンポジット出力端子 (AV OUT端子)からは、480/59.94iまたは576/50.00iで出力されます。

## 映像信号形式と出力信号形式

映像信号形式と各端子から出力される信号形式は、次の表のとおりです。映像に画面表示を重畳することもできます。

出力端子		59.94 Hz*1	50.00 Hz*1
HDMI OUT*2	HD出力	1080/59.94i	1080/50.00i
	SD出力	480/59.94P	576/50.00P
コンポジット出力端子	SD出力	480/59.94i	576/50.00i

\*1 その他機能メニュー ▶ 「システム周波数」の設定 (□ 177)。

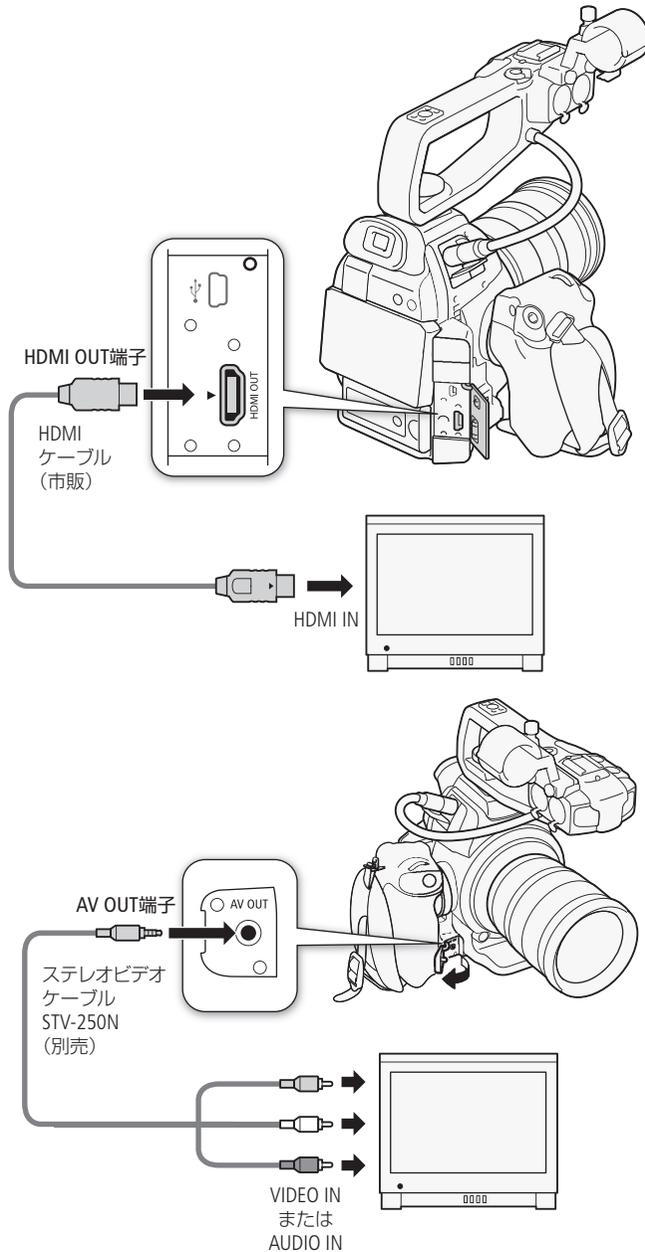
\*2 ゼブラパターンを出力可能 (□ 86)。ただし、SD出力には、ゼブラパターンは出力されない。

# 外部モニターを接続する

CAMERA MEDIA

撮影・再生映像を外部モニターに表示するときは、外部モニターに応じて使用する端子を決めて本機と外部モニターを接続したあと、使用する端子の出力信号形式をメニューで設定します(参考▶「出力信号形式」(P.144))。

## ■ 接続のしかた



接  
続

**MEMO** ACアダプターを使って、コンセントにつないで使うことをおすすめします。

## ■ HDMI OUT端子を使用する

CAMERA MEDIA

HDMI OUT端子を使用すると、映像と音声をデジタル信号で出力することができます。接続した外部モニターの能力に合わせて、HD出力とSD出力が自動的に切り換わります。HDMI OUT端子の出力に画面表示を重畳することもできます ( 148)。音声は2chリニアPCM(16ビット、48kHz)で出力されます。



### MEMO

- SD出力の表示方式は、メニューで選択できます ( 147)。
- HDMI OUT端子は出力専用です。他の出力端子と接続しないでください。故障の原因となります。
- HDMI OUT端子で接続していると、AV OUT端子から映像は出力されません。
- DVI対応モニターとの接続は保証していません。
- モニターによっては正しく表示されないことがあります。そのときは、AV OUT端子を使って接続してください。

## ■ コンポジット出力端子を使用する

CAMERA MEDIA

コンポジット出力端子 (AV OUT端子)からは、ダウンコンバートされたSDアナログコンポジット信号を出力します。コンポジット出力端子から出力される映像の表示方式は、メニューで選択できます ( 147)。

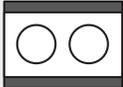


### MEMO

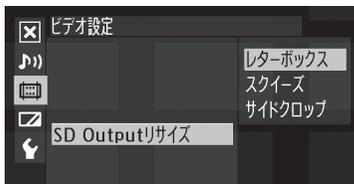
モニターがビデオID-1方式に対応していれば、自動的にワイド画面 (16 : 9)に切り換わります。

## ■ SD出力時の表示方式を選ぶ CAMERA MEDIA

アスペクト比が16:9のHD映像を4:3のSD映像にダウンコンバートして出力するときの表示方式は、次の3種類がありメニューで選択します。

元のHD映像 (16:9)	レターボックス	スクイーズ	サイドクロップ
			
	16:9の映像の上下に黒い帯を追加して4:3にする。	16:9の映像を左右方向に縮小して4:3にする*。	16:9の映像の両端を切り取って4:3にする

\* 接続した外部モニターが16:9のときは、正常なアスペクト比で出力される。



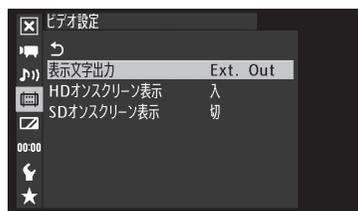
- ① ビデオ設定メニュー ▶ 「SD Outputリサイズ」を順に選ぶ。
- ② 「レターボックス」、「スクイーズ」、「サイドクロップ」のいずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。

### MEMO

- SD出力表示方式は、レックレビュー(□ 105)時にも反映されます。
- カメラモードの時はスクイーズ固定です。

## 出力映像に画面表示を重畳する CAMERA MEDIA

HDMI OUT端子、コンポジット端子 (AV OUT端子) から出力される映像に画面表示を重畳することができます。重畳の設定はビデオ設定メニューで行い、HD出力とSD出力を個別に設定できます。なお、この設定は、SDカードに記録される映像には影響しません。



メディアモードのときは②から操作してください。メディアモードのとき、HDMI OUT端子、AV OUT端子にケーブルを接続すると、自動的にファインダーの画面表示が消えます。

- ① ビデオ設定メニュー ▶ 「表示文字出力」 ▶ 「Ext. Out」を順に選ぶ。
    - ファインダーの画面表示が消える。
  - ② ビデオ設定メニュー ▶ 「HDオンスクリーン表示」または「SDオンスクリーン表示」を順に選ぶ。
  - ③ 「入」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
    - 画面に **DISP** が表示される\*。
- \* カメラモードでは、LCD/VF設定メニュー ▶ 「Custom Display 2」 ▶ 「Output Display」が「入」のときのみ表示される。

### MEMO

- 画面表示は、外部出力される映像とファインダーに同時に出力することはできません。
- SD出力時の表示方式が「サイドクロップ」のときは、「SDオンスクリーン表示」の設定にかかわらず、画面表示は重畳されません。
- アサインボタンに「オンスクリーン表示」を割り当てると、アサインボタンを押して「HDオンスクリーン表示」と「SDオンスクリーン表示」を同時に切り換えることができます(112)。

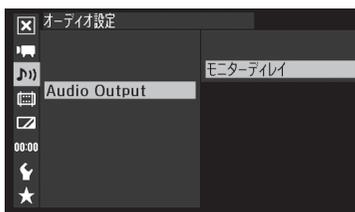
# 音声出力を選択する

HDMI OUT端子、AV OUT端子、 $\Omega$ (ヘッドホン)端子から音声を出力できます。AV OUT端子、 $\Omega$ (ヘッドホン)端子から出力される音声は、チャンネルなどを選択できます。また、AV OUT端子から出力される音声はレベルを2段階から選択できます。

## 映像と音声のタイミングを選ぶ (モニターディレイ)

CAMERA MEDIA

AV OUT端子、 $\Omega$ (ヘッドホン)端子から出力される音声について、映像とタイミングを合わせて遅延させるかどうかを設定することができます。



- ① オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Output」 ▶ 「モニターディレイ」を順に選ぶ。
- ② 次のいずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。  
Line Out：映像とタイミングを合わせるために、音声信号を遅延させて出力する。  
ノーマル：リアルタイム (ディレイなし) で音声を出力する。

## 音声出力チャンネルを選ぶ

CAMERA MEDIA

AV OUT端子、 $\Omega$ (ヘッドホン)端子から出力される音声のチャンネルを選択することができます。



- ① オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Output」 ▶ 「Channel」を順に選ぶ。
- ② 次のいずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。  
CH1/CH2：出力音声のL chにCH1を、R chにCH2を割り当てる。  
CH1/CH1：出力音声のL chとR chの両方にCH1を割り当てる。  
CH2/CH2：出力音声のL chとR chの両方にCH2を割り当てる。  
All/All：出力音声のL chとR chの両方にCH1とCH2をミックスした信号を割り当てる。



### MEMO

アサインボタンに「Audio Output CH」を割り当てると、アサインボタンを押して出力チャンネルを切り換えられます (p.112)。

## ■ AV OUT端子の音声出力レベルを選ぶ

CAMERA MEDIA

AV OUT端子から出力される音声の出力レベルを選択することができます。2Vrmsにすると、出力レベルが6dB上がります。



- ① オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Output」▶ 「Level」を順に選ぶ。
- ② 「1Vrms」または「2Vrms」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



**MEMO** 🎧 (ヘッドホン)端子の出力レベルは変わりません。

# クリップをパソコンに保存する

CAMERA MEDIA

付属のPIXELA社製のソフトウェアData Import Utilityを使うと、分割されたクリップを結合して、パソコンに取り込むことができます。

ソフトウェアData Import Utilityを使ってできること

- クリップをパソコンに取り込む。
- リレー記録 (□ 50) を使用して分割されたクリップを結合して取り込む。
- 2GB (□ 56) ごとに分割されたクリップを結合して取り込む。

インストールする前に

ソフトウェアをインストールする前に、Data Import Utilityの取扱説明書をご覧のうえ、Data Import Utilityでできることの詳細と動作環境をご確認ください。

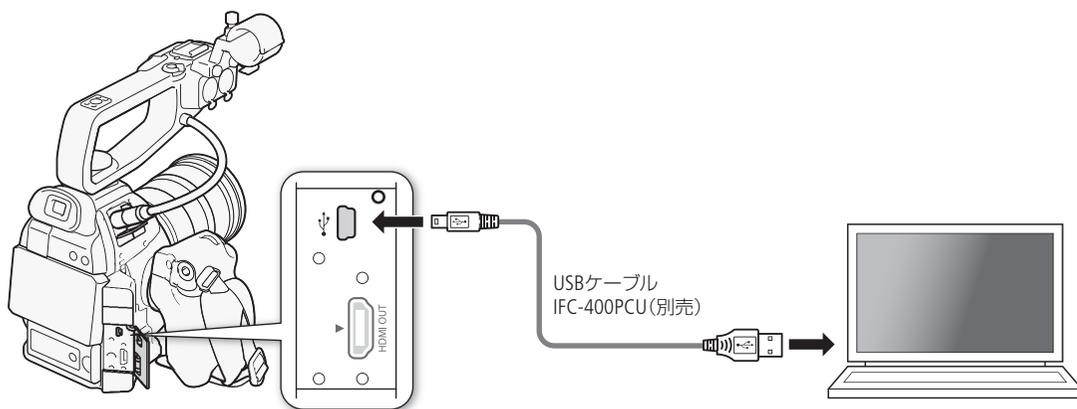
\*ソフトウェアディスクの[ ¥ Manual ¥ Japanese] フォルダの中にPDFファイルとして収納されています。PDF をご覧いただくには、Adobe®Reader® 6 以降が必要です。

主なシステム要件

OS	Windows 8 (32bit/64bit) Windows 7 SP1 (32bit/64bit) Windows Vista SP2 (32bit/64bit)	Mac OS X 10.6、10.7、10.8
CPU	Intel Core 相当以上	Intel製CPU (Power PCIは非対応)
メモリー	1GB 以上 (Windows 7/8 64bit版、Mac OS X 10.7/10.8 は2GB以上)	
ディスプレイ	1024x768 ピクセル	

インストールするときは

インストールの操作手順については、Data Import Utilityの取扱説明書 (PDFファイル) をご覧ください。



MEMO

ACアダプターを使って、コンセントにつないで使うことをおすすめします。

接  
続



# 静止画

静止画を記録する .....	154
静止画を再生する .....	156
静止画を操作する .....	158

# 静止画を記録する

カメラモードで撮影中または撮影一時停止中に、静止画をSDカードに記録することができます\*。また、メディアモードで動画の再生一時停止中に、動画から静止画を切り取ることもできます。記録される静止画のサイズは1920×1080です。

\* 記録できる枚数は、1GBのSDカードに約670枚です。

## ■ カメラモードで静止画を記録する

CAMERA MEDIA

撮影中または撮影一時停止中に静止画をSDカードに記録することができます。カスタムピクチャーファイルが選択されていると、静止画と一緒にカスタムピクチャーファイルも記録されます\*。静止画を記録するときは、アサインボタンに「Photo」を割り当てて使用します。

\* カスタムピクチャーファイルを記録しないようにすることもできます (□ 178)。

例：アサイン8ボタンに「Photo」を割り当てて、静止画を記録する場合



### 1 アサイン8ボタンに「Photo」を割り当てる

参考 ▶ 「アサインボタンの機能を変更する」(□ 112)。

MAGN.



### 2 動画撮影中 動画撮影一時停止中 静止画を記録する

- ① アサイン8ボタンを押す。
  - 「**A (B)**」と記録可能枚数が表示され、記録先として選択されているSDカードに静止画が記録される。このとき、カスタムピクチャーファイルが選択されていると、静止画と一緒にカスタムピクチャーファイルも記録される。
  - 記録中はSDカードアクセスランプが赤く点灯する。

## ■ 記録した動画から静止画を切り取る

CAMERA MEDIA

メディアモードで、動画の再生一時停止中に、動画から静止画を切り取ることができます。静止画を記録するときは、アサインボタンに「Photo」を割り当てて使用します。

例：アサイン8ボタンに「Photo」が割り当てられている場合



### 1 クリップを再生する

- ① 静止画の切り取りを行うクリップを選ぶ。
- ② ▶/|| (再生／一時停止) ボタンを押して、クリップを再生する。
- ③ 静止画を切り取りたいシーンで、再度▶/|| (再生／一時停止) ボタンを押す。
  - 再生一時停止状態になる。

MAGN.



### 2 静止画を記録する

- ① アサイン8ボタンを押す。
  - シャッターを切るように画面が一度途切れ、「A (B)」と記録枚数が表示され、記録先として選択されているSDカードに静止画が記録される。
  - 記録中はSDカードアクセスランプが赤く点灯する。
- ② ■ ボタンを押して、クリップの再生一時停止を解除する (インデックス画面に戻る)。



ご注意

SDカードアクセスランプが赤く点灯している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。

- 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- SDカードを取り出さない。



MEMO

- 静止画を記録するときは、記録先のSDカードの誤消去防止ツマミの「LOCK」を解除してください。
- その他機能メニュー ▶ 「Custom Function」 ▶ 「スキャンリバース記録」を「両方(上下左右反転)」、「垂直(上下反転)」、「水平(左右反転)」のいずれかに設定して静止画を記録しても、記録される静止画は反転されません。

# 静止画を再生する

CAMERA MEDIA

SDカードに記録した静止画を再生することができます。静止画を再生するときは、メディアモードで画面を静止画インデックス画面に切り換えます。

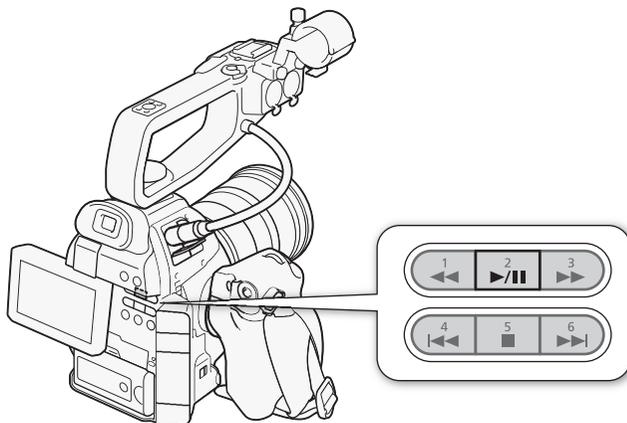
## ■ 静止画インデックス画面を表示する

静止画を再生するときは、メディアモードで静止画インデックス画面に切り換えます。

	<p>1 MEDIAモードにする</p>
	<p>2 本体のINDEX(インデックス)ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● インデックスメニューが表示される。</li></ul>
	<p>3 静止画インデックス画面を選ぶ</p> <p>① ジョイスティックを上下に押して、「静止画」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 静止画インデックス画面に切り換わる。</li></ul> <p>元のインデックス画面に戻るとき 本体のINDEX(インデックス)ボタンを押す。</p> 

## ■ 再生する

静止画インデックス画面で選んだ静止画を再生します。再生には本体の各種再生操作ボタンを使用します。本体のボタン操作では、▶/|| (再生/一時停止)、■ (停止)が行えるほか、ジョイスティックで操作することもできます。





## 1 ジョイスティックを上下左右に押して、再生する静止画を選ぶ

- ジョイスティックを操作すると、インデックス画面上のカーソル（オレンジ色の枠）が移動するので、再生したい静止画に合わせる。



## 2 ▶/|| (再生/一時停止) ボタンを押す

- 静止画が再生される（1枚表示される）。

前の静止画/次の静止画に移動するとき

◀◀を押すと前の静止画に、▶▶を押すと次の静止画に移動する。

- ジョイスティックを左右に押して、前後の静止画に移動することもできる。

撮影日付などの撮影情報の表示をON/OFFするとき

DISP.(ディスプレイ) / BATT. INFO.(バッテリー情報) ボタンを押す。

再生を終える（インデックス画面に戻る）とき

- (停止) ボタンを押す。



ご注意

- SDカードアクセスランプが赤く点灯している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - SDカードを取り出さない。



MEMO

- 次の静止画は正しく再生されないことがあります。
  - 本機以外の製品で記録したとき。
  - パソコンで作成や加工をしたとき。
  - パソコンでファイル名を変更したとき。

# 静止画を操作する

CAMERA MEDIA

静止画単位の操作を行うときは、静止画メニューを使用します。静止画メニューは静止画インデックス画面、静止画再生画面で表示することができ、それぞれの画面に応じた機能を選ぶことができます。

## ■ 静止画メニューで操作する

例：静止画インデックス画面で静止画を消去する場合



### 1 操作する静止画を選ぶ

- 静止画再生画面のときは、操作する静止画を再生する。



### 2 ジョイスティックを押す

- 静止画メニューが表示される。選択できる機能は、表示している画面や選択している静止画によって変わる。



### 3 静止画を消去する

- ① 「消去」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ② 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 選択した静止画が消去される。
- ③ ジョイスティックを押す。



## ■ 静止画をコピーする

SDカードに記録された静止画を、もう一方のスロットのSDカードにコピーすることができます。一緒に記録されたカスタムピクチャーファイルもコピーされます。

### 静止画の再生中にコピーする

再生中に静止画をコピーします。

Cancel  
コピー  
消去  
CPファイルコピー

- ① 静止画再生中 静止画メニュー ▶ 「コピー」を順に選ぶ。
- ② 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 選択した静止画がコピーされる。
- ③ ジョイスティックを押す。

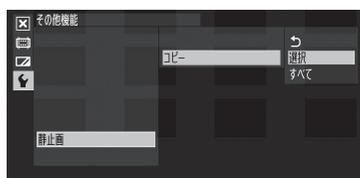
## 静止画インデックス画面で静止画をコピーする

静止画インデックス画面で選んだ静止画をコピーします。



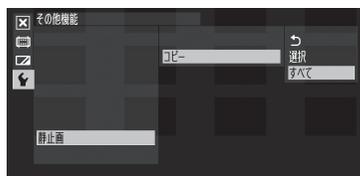
- ① コピーする静止画を選ぶ。
- ② 静止画メニュー ▶ 「コピー」を順に選ぶ。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 選択した静止画がコピーされる。
- ④ ジョイスティックを押す。

## 静止画インデックス画面で静止画を「選択」してコピーする



- ① その他機能メニュー ▶ 「静止画」 ▶ 「コピー」を順に選ぶ。
- ② 「選択」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ③ コピーする静止画を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 静止画が選択され  が表示される。もう一度ジョイスティックを押すと選択が解除される。
- ④ ③の操作を繰り返して消去する静止画をすべて選ぶ。
- ⑤ MENUボタンを押す。
- ⑥ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 選択した静止画がコピーされる。
  - コピーの途中でジョイスティックを押してコピーを中止することもできる。
- ⑦ ジョイスティックを押す。

## すべての静止画をコピーする



- ① その他機能メニュー ▶ 「静止画」 ▶ 「コピー」を順に選ぶ。
- ② 「すべて」を選ぶ
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - SDカードに記録されているすべての静止画がコピーされる。
  - コピーの途中でジョイスティックを押してコピーを中止することもできる。
- ④ ジョイスティックを押す。

## ■ 静止画を消去する

CAMERA MEDIA

不要な静止画を1枚ずつ消去することができます。静止画を消去すると、一緒に記録されたカスタムピクチャーファイルも消去されます。静止画の消去は、静止画再生画面と静止画インデックス画面で行うことができます。

### 静止画再生中に消去する

再生中の静止画を消去します。



- ① 静止画再生中 静止画メニュー ▶ 「消去」を順に選ぶ。
- ② 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 再生中の静止画が消去され、次の静止画が再生される。
  - カスタムピクチャーファイルと一緒に記録されていたときは、カスタムピクチャーファイルも消去される。
- ③ ジョイスティックを押す。

### 静止画インデックス画面で静止画を消去する

静止画インデックス画面で選んだ静止画を消去します。



- ① 消去する静止画を選ぶ。
- ② 静止画メニュー ▶ 「消去」を順に選ぶ。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 選択した静止画が消去される。
  - カスタムピクチャーファイルと一緒に記録されていたときは、カスタムピクチャーファイルも消去される。
- ④ ジョイスティックを押す。

## 静止画インデックス画面で静止画を「選択」して消去する



- ① その他機能メニュー ▶ 「静止画」 ▶ 「消去」を順に選ぶ。
- ② 「選択」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ③ 消去する静止画を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 静止画が選択され☑が表示される。もう一度ジョイスティックを押すと選択が解除される。
- ④ ③の操作を繰り返して消去する静止画をすべて選ぶ。
- ⑤ MENUボタンを押す。
- ⑥ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 選択した静止画が消去される。
  - 消去の途中でジョイスティックを押して消去を中止することもできる。
- ⑦ ジョイスティックを押す。

## すべての静止画を消去する



- ① その他メニュー ▶ 「静止画」 ▶ 「消去」を順に選ぶ。
- ② 「すべて」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - SDカードに記録されている静止画すべてが消去される。
  - 消去の途中でジョイスティックを押して消去を中止することもできる。
- ④ ジョイスティックを押す。



### ご注意

- 一度消した静止画は元に戻せません。消す前に静止画を確認してください。
- 他機でプロテクトされている静止画は消せません。

## ■ カスタムピクチャーファイルをコピーする

CAMERA MEDIA

静止画と一緒に記録したカスタムピクチャーファイルの設定を本機にコピーすることができます。コピーは、静止画再生画面と静止画インデックス画面で行うことができます。

### 再生中の静止画と一緒に記録されているカスタムピクチャーファイルをコピーする

再生中の静止画と一緒に記録されているカスタムピクチャーファイルを本機にコピーします。コピー先は、本機のカスタムピクチャーファイルのうちC1～C9から選択できます。



- ① 静止画再生中 静止画メニュー ▶ 「CP ファイルコピー」を順に選ぶ。
  - CP Data 1/3画面に切り換わり、カスタムピクチャーの設定内容が表示される。
  - CUSTOM PICTURE (カスタムピクチャー) ボタンを押しても、CP Data 1/3画面を表示できる。
  - ジョイスティックを上下に押すと、CP Data 2/3画面またはCP Data 3/3画面に切り換わり、その他の設定内容が表示される。
- ② ジョイスティックを左右に押して、コピー先のカスタムピクチャーファイルを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 「C1」～「C9」からコピー先を選ぶ。
- ③ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 再生中の静止画と一緒に記録されているカスタムピクチャーファイルがコピーされる。
- ④ ジョイスティックを押す。

## 静止画インデックス画面で静止画と一緒に記録されているカスタムピクチャーファイルをコピーする

静止画インデックス画面で選んだ静止画と一緒に記録されているカスタムピクチャーファイルをコピーします。



- ① カスタムピクチャーファイルのコピーする静止画を選ぶ。
- ② 静止画メニュー ▶ 「CP ファイルコピー」を順に選ぶ。
  - CP Data 1/3画面に切り換わり、カスタムピクチャーの設定内容が表示される。
  - CUSTOM PICTURE (カスタムピクチャー) ボタンを押しても、CP Data 1/3画面を表示できる。
  - ジョイスティックを上下に押すと、CP Data 2/3画面またはCP Data 3/3画面に切り換わり、その他の設定内容が表示される。
- ③ ジョイスティックを左右に押して、コピー先のカスタムピクチャーファイルを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 「C1」～「C9」からコピー先を選ぶ。
- ④ 「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
  - 選択した静止画と一緒に記録されているカスタムピクチャーファイルがコピーされる。
- ⑤ ジョイスティックを押す。



### MEMO

- プロテクトされたカスタムピクチャーファイルをコピー先に選択することはできません。
- カスタムピクチャーファイルのC7 / C8 / C9は初期状態ではプロテクトされています。



# メニュー

メニュー一覧.....	166
-------------	-----

# メニュー一覧

CAMERA MEDIA

本機のさまざまな機能をメニューによって設定することができます。ここではメニューの階層と設定項目の詳細について説明します。メニュー設定の基本操作については「メニューで設定を変える」(P.28)をご覧ください。

## メニューの階層

MENUボタンを押すと、画面左側に次のメニューのアイコンが表示されます。

🗨	カメラ設定メニュー：	ISO感度／ゲインやシャッターなど撮影に関する設定を行う。	▶▶	📖	167
🎧	オーディオ設定メニュー：	音声の入出力に関する設定を行う。	▶▶	📖	169
📺	ビデオ設定メニュー：	映像出力に関する設定を行う。	▶▶	📖	170
📺	LCD/VF設定メニュー：	液晶画面やファインダーに関する設定を行う。	▶▶	📖	171
🕒	TC/UB設定メニュー／User Bit設定メニュー：	タイムコードやユーザービットに関する設定を行う。	▶▶	📖	175
👉	その他機能メニュー：	その他、上記以外の設定を行う。	▶▶	📖	175
★	マイメニュー：	よく使うメニュー項目を登録する。	▶▶	📖	180

### MENU

- カメラ設定 \*1
  - 測光方式
  - AEシフト
  - ISO/Gain
  - Iris
  - Shutter
  - AF Mode
  - 本体グリップズーム
  - フリッカー低減
  - 📺 CINEMA固定
  - EF-Sレンズ
  - ABB
  - カラーバー
  - 周辺光量補正
- オーディオ設定
  - Audio Input \*1
    - Int. Micローカット
    - Int. Mic感度
    - MIC/Int. Mic Att.
    - MICモード
    - MIC Level
    - XLR Rec Channel
    - XLR1 Micトリミング
    - XLR2 Micトリミング
    - XLR1 Mic Att.
    - XLR2 Mic Att.
    - XLR ALCリンク
    - リミッター
    - 1 kHz トーン
  - Audio Output \*3
    - モニターディレイ \*1
    - Channel
    - Level
    - Headphone音量
    - Speaker音量 \*4

- ビデオ設定
  - 表示文字出力 \*1
  - HDオンスクリーン表示
  - SDオンスクリーン表示
  - SD Outputリサイズ \*2
- LCD/VF設定
  - LCD設定
  - VF設定
  - LCD/VFモノクロ
  - LCD/VF同時点灯
  - ビューアシスト \*1
  - Peaking \*1
    - 選択
    - Peaking 1
    - Peaking 2
  - Zebra \*1
    - 選択
    - Zebra 1 Level
    - Zebra 2 Level
    - Zebra HD Output \*1
  - マーカー \*1
  - Audio Level \*4
  - Custom Display 1 \*1
  - Custom Display 2 \*1
  - 日付／時刻 \*4
- TC/UB設定 \*1
  - Time Code
  - User Bit

- その他機能
  - リセット
  - メニュー / 📺 設定保存
  - タイムゾーン
  - 日時設定
  - WFM (LCD) \*3
  - 言語 (🗨)
  - REMOTE端子
  - アサインボタン \*3
  - タリールンプ \*1
  - MediaアクセスLED
  - ファン \*1
  - システム周波数 \*3
  - リレー記録 \*1
  - ダブルスロット記録 \*1
  - 常時記録 \*1
  - ビットレート \*1
  - フレームレート \*1
  - プレ記録 \*1
  - 最終クリップ消去 \*1
  - クリップ \*4
  - ショット消去 \*5
  - ファイル番号 \*4
  - レックレビュー \*1
  - HDMI \*1
  - 静止画
  - Custom Function \*1
  - アワーメーターリセット
  - Media初期化
  - Lens Firmware \*1
  - Firmware \*1
- マイメニュー
  - 編集

\*1 カメラモードのみ。

\*2 メディアモードのみ。

\*3 メディアモードの静止画インデックス画面／再生画面以外。

\*4 メディアモード (静止画インデックス画面／再生を除く)のみ。

\*5 メディアモードのショットリストインデックス画面のみ。

## ■ メニューの設定項目

各メニューで設定できる項目の機能と設定値について説明します。初期設定は太字で記載しています。

カメラ設定メニュー		CAMERA MEDIA		
設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
測光方式		バックライト、 <b>Standard</b> 、スポットライト	測光方式を設定する。 バックライト：逆光時の暗部をより明るく制御する。 Standard：画面中央の被写体に重点を置きながら、画面全体を測光する。 スポットライト：スポット的に明るくなった部分が最適な明るさになるように制御する。	74
AEシフト		+2.0、+1.5、+1.25、+1.0、+0.75、+0.5、+0.25、 <b>±0</b> 、-0.25、-0.5、-0.75、-1.0、-1.25、-1.5、-2.0	アイリスがオートの時の明るさ目標値を設定して、15段階で露出補正をおこなう。	73
ISO/Gain	選択	<b>ISO</b> 、Gain	感度の設定方法をISO感度とゲインから選ぶ。	68
	感度拡張	入、 <b>切</b>	入にすると、ISO感度がISO800000まで、ゲインが42 dBまで設定可能となる。	68
	ISOステップ	1段、 <b>1/3段</b>	ISO感度設定時の刻み幅を選ぶ。	68
	Gain	<b>ノーマル</b> 、ファイン	ゲイン設定時の刻み幅を選ぶ。 ノーマル：3 dB ファイン：0.5 dB (0 ~ 24 dBの範囲のみ)	68
Iris	モード*1	Automatic、 <b>Manual</b>	Automatic：アイリスを自動で調整する Manual：アイリスを手動で調整する	71
	Irisステップ	1/2段、 <b>1/3段</b> 、ファイン	アイリス設定時の刻み幅を設定する。ファインにすると、1/3段より細かい刻み幅で設定できる。	72
	Zoom連動F値補正	入、 <b>切</b>	ズーム操作によりF値が変化するレンズを使用時、入にすると、設定したF値を保つように絞りを補正する。ただし、絞りが動作するのにもない、若干の輝度のばらつきと動作音が発生する。切にすると、望遠側にズームするに従って、徐々にF値が大きくなる(暗くなる)。輝度変化は少なく、絞りの動作音は発生しない。	-

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
Shutter	モード	スピード、 アングル、 クリアスキャン、 スロー、 切	シャッタースピードのモードを設定する。 スピード： 秒数で設定。 アングル： 開角度で設定。 クリアスキャン： 周波数で設定。 スロー： フレームレートより低速のシャッター スピードを秒数で設定。	64
	Shutterステップ	1/3段、 <b>1/4段</b>	シャッタースピード設定時の刻み幅を設定する。	65
AF Mode		ワンショット、 連続	ワンショット： AF時、ONE-SHOT AFボタンを押すと、被 写体にピントを合わせる。 連続： AF時、連続して被写体にピントを合わせる。	79
本体グリップズーム	設定	入、切	入にするとグリップのジョイスティックでズームを操作 できる。	84
	スピード	1～16(8)	ズームスピード(固定速)を16段階で選ぶ。値が大きい ほど高速になる。	
フリッカー低減		Automatic、 切	Automaticにすると、蛍光灯のフリッカーを自動的に検知 して補正する。	67
 CINEMA固定		入、切	入にすると、画質設定がカスタムピクチャーのCINEMAプ リセットに固定される(カスタムピクチャーは設定不可)。 切にすると、カスタムピクチャーで好みの画質に調整で きる。	60
EF-レンズ		入、切	入にすると、約1.04%の電子拡大を行い、センサー切り 出し範囲を変更する。	36
ABB		Cancel、 OK	オートブラックバランスを実行する。	52
カラーバー	表示	入、切	入にすると、カラーバーを表示する。	101
	タイプ	59.94 Hz : <b>SMPTE</b> 、ARIB 50.00 Hz : <b>EBU</b> 、 <b>SMPTE</b>	カラーバーのタイプを選ぶ。	101
周辺光量補正		入、切	入にすると、レンズの特性によって四隅が暗くなるのを 補正する。	35

## ♪) オーディオ設定メニュー

CAMERA MEDIA

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
Audio Input*1	Int. Micローカット	切、LC1、LC2	内蔵マイクの特性を選ぶ。 切：一般的な音を録音するとき。 LC1：人の声を中心に録音するとき。 LC2：風の影響を受ける屋外で撮影するとき。風によるノイズを低減する。	96
	Int. Mic感度	ノーマル、ハイ	内蔵マイクの感度を選ぶ。 ノーマル：通常のレベルの音を録音するとき。 ハイ：より大きな音量で録音するとき。	96
	MIC/Int. Mic. Att.	入、切	入にすると、内蔵マイクまたはΦ3.5mmマイクにアッテネーター（12dB）がかかる。	96
	MICモード	Automatic、Manual	外部マイク（MIC端子）の録音レベルの調整方法を選ぶ。 Automatic：自動的に調整する。 Manual：手動で調整する。	94
	MIC Level	0～99(50)	外部マイク（MIC端子）の録音レベルを手動で調整する。	94
	XLR Rec Channel	CH1、CH1/CH2	CH1入力の音声を録音するチャンネルを選ぶ。 CH1：CH1入力をチャンネル1にCH2入力をチャンネル2に録音する。 CH1/CH2：CH1入力をチャンネル1 /チャンネル2の両方に録音する。	97
	XLR1 Micトリミング XLR2 Micトリミング	+12 dB、+ 6dB、 0 dB、-6 dB、 -12 dB	外部マイク（XLR端子）のCH1またはCH2の入力感度を調整する。	99
	XLR1 Mic Att. XLR2 Mic Att.	入、切	入にすると、外部マイク（XLR端子）のCH1またはCH2にアッテネーター（20 dB）がかかる。	99
	XLR ALCリンク	連動、 独立	録音レベルをオートで調整する場合、連動にすると、XLR端子のCH1とCH2の録音レベル調整を連動させることができる。	98
	リミッター	入、切	録音レベルをマニュアルで調整する場合、入にすると過大な音声入力によるひずみを防止できる。	99
1 kHzトーン	-12 dB、-18 dB、 -20 dB、切	カラーバーと同時にテストトーンを出力するときに設定する。	102	

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
Audio Output* <sup>2</sup>	モニターディレイ* <sup>1</sup>	Line Out、 <b>ノーマル</b>	映像と音声のタイミングを合わせるかどうかを選ぶ。 Line Out：映像とタイミングを合わせるために、音声信号を遅延させて出力する。 ノーマル：リアルタイム(ディレイなし)で音声を出力する。	149
	Channel	<b>CH1/CH2</b> 、 CH1/CH1、 CH2/CH2、 All/All	音声を出力するチャンネルを選ぶ。 CH1/CH2：出力音声のL chにCH1を、R chにCH2を割り当てる。 CH1/CH1：出力音声のL chとR chの両方にCH1を割り当てる。 CH2/CH2：出力音声のL chとR chの両方にCH2を割り当てる。 ALL/ALL：出力音声のL chとR chの両方にCH1とCH2をミックスした信号を割り当てる。	149
	Level	<b>1 Vrms</b> 、2 Vrms	AV OUT端子の音声出力レベルを選ぶ。2 Vrmsにすると出力レベルが6 dB上がる。	150
	Headphone音量	切、1～15( <b>8</b> )	ヘッドホンの音量を調整する。	136
	Speaker音量* <sup>3</sup>	切、1～15( <b>8</b> )	スピーカーの音量を調整する。	136

\*<sup>1</sup> カメラモードのみ。

\*<sup>2</sup> メディアモードの静止画インデックス画面以外。

\*<sup>3</sup> メディアモード(静止画インデックス画面を除く)のみ。

## 📺 ビデオ設定メニュー

CAMERA MEDIA

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
表示文字出力* <sup>1</sup>		<b>VF</b> 、Ext. Out	画面表示をファインダーか外部出力かを選ぶ。	148
HDオンスクリーン表示		入、 <b>切</b>	入にすると、HD出力に画面表示を重畳する。	148
SDオンスクリーン表示		入、 <b>切</b>	入にすると、SD出力に画面表示を重畳する。	
SD Outputリサイズ* <sup>2</sup>		レターボックス、 <b>スクイーズ</b> 、 サイドクロップ	HD映像(16:9)をSD出力するときの表示方式を選ぶ。 レターボックス：上下に黒い帯を追加して4:3にする。 スクイーズ：左右方向に縮小して4:3にする。 サイドクロップ：両端を切り取って4:3にする。	147

\*<sup>1</sup> カメラモードのみ。

\*<sup>2</sup> メディアモードのみ。

 LCD/VF設定メニュー

CAMERA MEDIA

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
LCD設定	明るさ	-99 ~ 99 (±0)	液晶画面の明るさを調整する。	41
	コントラスト	-99 ~ 99 (±0)	液晶画面のコントラストを調整する。	
	カラー	-20 ~ 20 (±0)	液晶画面のカラーを調整する。	
	シャープネス	1 ~ 4 (2)	液晶画面のシャープネスを調整する。	
	バックライト	ノーマル、明るい	液晶画面のバックライトの明るさを選ぶ。	
VF設定	明るさ	-99 ~ 99 (±0)	ファインダーの明るさを調整する。	41
	コントラスト	-99 ~ 99 (±0)	ファインダーのコントラストを調整する。	
	カラー	-20 ~ 20 (±0)	ファインダーのカラーを調整する。	
	シャープネス	1 ~ 4 (2)	ファインダーのシャープネスを調整する。	
	バックライト	ノーマル、明るい	ファインダーのバックライトの明るさを選ぶ。	
LCD/VFモノクロ		入、切	入にすると、液晶画面とファインダーがモノクロ表示になる。	41
LCD/VF同時点灯		入、切	入にすると、液晶画面とファインダーを同時に使用できる。	40
ビューアシスト*1		入、切	撮影中、映像にCanon Logガンマが適用されているときに、画面表示を通常のガンマに疑似変換する。	60
Peaking*1		入、切	入にすると、「選択」で選んだピーキングが表示される。	82
選択*1		Peaking 1、 Peaking 2	表示するピーキングの種類を選ぶ。	
Peaking 1*1	カラー	ホワイト、 レッド、 イエロー、 ブルー	ピーキング1の色を選ぶ。	82
	Gain	切、1 ~ 15 (8)	ピーキング1のゲインを選ぶ。	
	周波数	1 ~ 4 (2)	ピーキング1の周波数を選ぶ。	
Peaking 2*1	カラー	ホワイト、 レッド、 イエロー、 ブルー	ピーキング2の色を選ぶ。	82
	Gain	切、1 ~ 15 (15)	ピーキング2のゲインを選ぶ。	
	周波数	1 ~ 4 (1)	ピーキング2の周波数を選ぶ。	

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
Zebra* <sup>1</sup>		入、切	入にすると、「選択」で選んだゼブラパターンが表示される。	87
選択* <sup>1</sup>		<b>Zebra 1、</b> Zebra 2、 Zebra 1&2	表示するゼブラパターンの種類を選ぶ。 Zebra 1： 設定した輝度レベル±5%の領域にゼブラパターンを表示する。 Zebra 2： 設定した輝度レベル以上の領域にゼブラパターンを表示する。 Zebra 1&2：ゼブラパターン1と2を同時に表示する。	
Zebra 1 Level* <sup>1</sup>		<b>70 ±5%、</b> 75 ±5%、 80 ±5%、 85 ±5%、 90 ±5%、 95 ±5%	ゼブラパターン1の輝度レベルを6段階から選ぶ。	
Zebra 2 Level* <sup>1</sup>		70%、 75%、 80%、 85%、 90%、 95%、 <b>100%</b>	ゼブラパターン2の輝度レベルを7段階から選ぶ。	
Zebra HD Output* <sup>1</sup>		入、切	入にすると、ゼブラパターンが、HDMI OUT端子に出力される。	87
マーカー * <sup>1</sup>	表示	入、切	すべてのマーカーの表示を入/切する。	85
	センター	ホワイト、 グレー、切	センターマーカーの色を選ぶ。切にするとセンターマーカーは表示されない。	
	水平	ホワイト、 グレー、切	センターマーカーの色を選ぶ。切にするとセンターマーカーは表示されない。	
	グリッド	ホワイト、 グレー、切	グリッドの色を選ぶ。切にするとグリッドは表示されない。	
	セーフティゾーン	ホワイト、 グレー、切	セーフティゾーンの色を選ぶ。切にするとセーフティゾーンは表示されない。	
	セーフティゾーンエリア	80%、90%、 92.5%、 <b>95%</b>	セーフティゾーンのエリアを選ぶ。	
	アスペクトマーカー	ホワイト、 グレー、切	アスペクトマーカーの色を選ぶ。切にするとアスペクトマーカーは表示されない。	
	アスペクト比	4:3、13:9、14:9、 1.66:1、1.75:1、 1.85:1、 <b>2.35:1</b>	アスペクトマーカーのアスペクト比を選ぶ。	
Audio Level * <sup>2</sup>		入、切	入にすると、オーディオレベルメーターを表示する。	—

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
Custom Display 1*1	測光方式	入、切	入にすると、測光方式がバックライトまたはスポットライトのときに、それぞれ  または  アイコンを表示する。	58
	Custom Picture	入、切	入にすると、  (カスタムピクチャー) アイコンを表示する。	
	焦点距離	入、切	入にすると、焦点距離を表示する。	
	ND Filter	入、切	入にすると、NDフィルターの設定を表示する。	
	AF Mode	入、切	入にすると、オートフォーカスのときにAFアイコンを表示する。	
	キーロック	入、切	入にすると、  (キーロック) アイコンを表示する。	
	White Balance	入、切	入にすると、ホワイトバランスの設定を表示する。	
	Exposure	入、切	入にすると、露出バーを表示する。	
	Iris	入、切	入にすると、アイリスの設定 (F値) を表示する。	
	ISO/Gain	入、切	入にすると、ISO感度/ゲインの設定を表示する。	
	Shutter	入、切	入にすると、シャッタースピードの設定を表示する。	
	Peaking	入、切	入にすると、  /  (ピーキング) アイコンを表示する。	
	Magnification	入、切	入にすると、  (拡大表示) アイコンを表示する。	
	ビューアシスト	入、切	入にすると、  (ビューアシスト) アイコンを表示する。	
	EF-S レンズ	入、切	入にすると、  (EF-S レンズ) アイコンを表示する。	
レンズ	入、切	入にすると、装着したレンズと通信を行えないときに  (レンズ) アイコンを表示する。		

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
Custom Display 2* <sup>1</sup>	バッテリー残量	警告、 ノーマル、 切	バッテリー残量の表示のしかたを選ぶ。 警告： 警告時のみ表示する。 ノーマル：常に表示する。	58
	記録可能時間	警告、 ノーマル、 切	残りの記録可能時間を表示する。 警告： 警告時のみ表示する。 ノーマル：常に表示する。	
	記録モード	入、切	入にすると、撮影状態 (記録モード) を表示する。	
	Time Code	入、切	入にすると、タイムコードを表示する。	
	Photo	警告、 ノーマル、 切	静止画を記録したときのSDカードの状態表示のしかたを選ぶ。 警告： 警告時のみ表示する。 ノーマル：常に表示する。	
	ビットレート	入、切	入にすると、ビットレートを表示する。	
	フレームレート	入、切	入にすると、フレームレートを表示する。	
	表示文字記録	入、切	入にすると、 <b>CHAR REC</b> (表示文字記録) アイコンを表示する。	
	Output Display	入、切	入にすると、映像を出力する端子に画面表示を重畳することを示す <b>DISP</b> (画面表示出力) アイコンを表示する。	
	User Bit	入、切	入にすると、ユーザービットを表示する。	
	Audio Output CH	入、切	入にすると音声出力チャンネルを表示する。	
	Audio Level	入、切	入にすると、オーディオレベルメーターと <b>LIM</b> (オーディオリミッター) アイコンを表示する。	
	HDMI記録コマンド	入、切	入にすると、HDMI記録コマンド状態を表示する。	
	温度/ファン	入、切	入にすると、 <b>TEMP</b> (温度警告) アイコンや <b>FAN</b> (ファン) アイコンを表示する。	
日付/時刻	日付/時刻、 時刻、日付、切	日時を表示のしかたを選ぶ。	135	
日付/時刻* <sup>2</sup>	入、切	入にすると、クリップの再生中に日時を表示する。		

\*<sup>1</sup> カメラモードのみ。

\*<sup>2</sup> メディアモード (静止画インデックス画面を除く) のみ。

## 00:00 TC/UB設定メニュー

CAMERA MEDIA

設定項目	詳細項目	設定値	内容	
Time Code	モード	<b>Preset</b> 、 Regen.	タイムコードのカウントアップ方式を選ぶ。 Preset：「設定」で設定した任意のタイムコードから歩進する。 Regen.：メディアに記録されている最後のタイムコードの続きから歩進する。	88
	Run	<b>Rec Run</b> 、 Free Run	モードがPresetのときに歩進方法を選ぶ。 Rec Run：記録時に歩進する。 Free Run：記録に関係なく常に歩進する。	
	DF/NDF	<b>DF</b> 、 NDF	ドロップフレーム (DF) または ノンドロップフレーム (NDF) を切り換える。なお、次のときはNDFに固定される。 ・「システム周波数」が「50.00 Hz」のとき。 ・「システム周波数」が「59.94 Hz」で「フレームレート」が「24P」のとき。	89
	設定	<b>セット</b> 、リセット	タイムコードの初期値を設定する。	88
User Bit	Outputモード	<b>固定値</b> 、 プルダウン	出力するユーザービットを選ぶ。 固定値： 設定したユーザービット。 プルダウン： 2:3プルダウン情報。	91
	タイプ	<b>設定</b> 、 時刻、 日付	ユーザービットを設定する。 設定： 8桁の16進数を任意に入力する。 時刻： ユーザービットに時間を設定する。 日付： ユーザービットに日付を設定する。	

## 👉 その他機能メニュー

CAMERA MEDIA

設定項目	詳細項目	設定値	内容	
リセット	全設定	<b>Cancel</b> 、 OK	アワーメーターを除く本機の設定を初期状態に戻す。	194
	カメラ設定*1	<b>Cancel</b> 、 OK	ホワイトバランス、アイリス、ISO感度/ゲイン、シャッタースピード、カメラ設定メニュー、カスタムピクチャーの各設定を初期状態に戻す。	—
	アサインボタン*2	<b>Cancel</b> 、 OK	アサインボタンの機能割り当て設定を初期状態に戻す。	112
メニュー /  設定保存	 へ保存	 A、  B、 メニュー、 メニュー + CP	メニュー： メニュー設定のみを  Aまたは  Bに保存する。 メニュー + CP：メニュー設定とカスタムピクチャー（本機に保存されている9セット）を  Aまたは  Bに保存する。	129
	 から読み出し	 A、  B、 メニュー、 メニュー + CP	メニュー： メニュー設定のみを  Aまたは  Bから本機に読み込む。 メニュー + CP：メニュー設定とカスタムピクチャーを  Aまたは  Bから本機に読み込む。	

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
タイムゾーン		UTC -12:00 ～+14:00 (UTC+09:00)	タイムゾーンを設定する。	27
日時設定	日付/時刻	日付・時間	日付と時間を設定する。	27
	日時スタイル	YMD、YMD/24H、 MDY、MDY/24H、 DMY、DMY/24H	日時の表示のしかたを選ぶ。	
WFM (LCD)	設定	WFM、 Edge Mon.* <sup>1</sup> 、 切	映像信号を確認するモニターの表示を選ぶ。 WFM： 波形モニターを表示する。 Edge Mon.： エッジモニターを表示する。	103
	Waveform Monitor	ライン、 ライン+スポット、 フィールド、RGB、 YPbPr	波形モニターのタイプを選ぶ。	103
	Gain	1x、2x	波形モニターの波形のゲインを選ぶ。	104
	Edge Monitor* <sup>1</sup>	タイプ 1、 タイプ 2	エッジモニターのタイプを選ぶ。 タイプ 1： 水平方向の全体のエッジ成分とスポット (3 箇所)のエッジ成分を重ねて、水平方向の位 置を合わせて表示する。 タイプ 2： 波形モニターとエッジモニターを同時に画 面右下に表示する。	
	Gain* <sup>1</sup>	切、1～15(12)	エッジモニターの波形のゲインを選ぶ。	
言語 (🗨)		日本語、English	表示されるメニューやメッセージなどの言語を選ぶ。	—
REMOTE端子		RC-V100、 Standard	RC-V100： リモートコントローラー RC-V100(別売)を接 続するときに選ぶ。 Standard： RC-V100)以外のリモコン (市販)を接続する ときに選ぶ。	109
アサインボタン* <sup>2</sup>	1～6* <sup>1</sup>	(未設定)	アサインボタン1～15に機能を割り当てる。次の機能を 割り当てることができる。各機能の詳細について (📖112)。  (未設定)、ONE-SHOT AF、PUSH AUTO IRIS、Irisモード、 Iris +、Iris -、AE Shift +、AE Shift -、バックライト、 スポットライト、ISO/GAIN、SHUTTER、ビューアシスト、 PEAKING、ZEBRA、WFM、MAGN.、カラーバー、マーカー、 LCD設定、VF設定、LCD/VF モノクロ、オンスクリーン表示、 Time Code、Time Codeホールド、Headphone +、 Headphone -、Speaker +、Speaker -、Audio Output CH、 Audio Level、Photo、ファン、マイメニュー、Media初期化、 🔴上、🔴下、🔴左、🔴右、🔴SET、ユーザー設定	112
	7	MAGN.		
	8	MAGN.		
	9	PEAKING		
	10	ZEBRA		
	11	WFM		
	12	PUSH AUTO IRIS		
	13	ISO/GAIN		
	14	SHUTTER		
15	ONE-SHOT AF			
タリーランプ* <sup>1</sup>	前部	入、切	入にすると、撮影中に前部タリーランプが点灯する。	54
	後部	入、切	入にすると、撮影中に後部タリーランプが点灯する。	

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
MediaアクセスLED		入、切	入にすると、SDカードにアクセスしたときに、SDカードアクセスランプが点灯する。	47
ファン*1		入、Automatic	冷却ファンの動作のしかたを選ぶ。 入：常にファンは回転する。 Automatic：本機の内部温度が高くなると、自動的にファンが回転する。回転中は <b>FAN</b> が表示される。	45
システム周波数*2		<b>59.94 Hz</b> 、50.00Hz	59.94 Hzまたは50.00 Hzを選ぶ。	61
リレー記録*1		入、切	リレー記録の入/切を切り換える。	50
ダブルスロット記録*1		入、切	ダブルスロット記録の入/切を切り換える。	
常時記録*1	モード	入、切	常時記録モードの入/切を切り換える。	
	Start/Stop	Start、 <b>Stop</b>	常時記録モード時、常時記録の開始/終了を制御する。Startを実行すると常時記録が開始され、Stopを実行するまで映像を継続して記録する。	107
ビットレート*1		<b>24 Mbps LPCM</b> 、 24 Mbps、 17Mbps、7Mbps	ビットレートを選ぶ。	61
フレームレート*1		59.94 Hz時： <b>60i</b> 、PF30、 PF24、24P 50.00 Hz時： <b>50i</b> 、PF25	フレームレートを選ぶ。「システム周波数」で選択できるフレームレートが異なる。	61
プレ記録*1		入、切	プレ記録の入/切を切り換える。	106
最終クリップ消去*1		<b>Cancel</b> 、OK	最後に記録したクリップを消去する。	—
クリップ	コピー *3	<b>選択</b> 、すべて	現在選択しているSDカードのクリップを、もう一方のSDカードにコピーする。選んだクリップをコピーするか、全クリップをコピーするか選択可能。	138
	消去*3	<b>選択</b> 、すべて	現在選択しているSDカードのクリップを消去する。選んだクリップを消去するか、全クリップを消去するか選択可能。	139
	消去*4	すべて	現在選択しているSDカードのSD動画のクリップをすべて消去する。	140
	HD➡SD変換*3	<b>選択</b> 、すべて	現在選択しているSDカードのクリップをSD動画に変換する。選んだクリップを変換するか、全クリップを変換するか選択可能。	140
ショット消去*5		<b>選択</b> 、すべて	現在選択しているSDカードのショットを消去する。選んだショットを消去するか、全ショットを消去するか選択可能。	139
ファイル番号*6		オートリセット、 <b>通し番号</b>	オートリセット：オートリセット。ファイル番号は101-0101またはSDカード内に記録されているSD動画/静止画の続きの番号になる。 通し番号：ファイル番号は最後に記録したSD動画/静止画の続きの番号になる。	

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
レックレビュー *1		クリップ先頭から、 最終4 sec	レックレビューで再生する範囲を選ぶ。 クリップ先頭から：クリップの先頭からすべて。 最終4 sec：クリップの最後の4秒間のみ。	105
HDMI*1	Time Code	入、切	入にすると、HDMI信号にタイムコードを重畳する。HDMIケーブル（市販）で他の機器に接続しているときは設定できません。	—
	記録コマンド	入、切	入にして、本機とHDMI記録コマンド対応機器をHDMI端子でつなぐと、本機の撮影／撮影一時停止操作（START/STOPボタンの操作）と連動して、他機の記録／記録一時停止を行うことができる。HDMIケーブル（市販）で他の機器に接続しているときは設定できません。	56
静止画	ファイル番号*1	オートリセット、 通し番号	ファイル番号の付けかたを選ぶ。 オートリセット：オートリセット。ファイル番号は101-0101またはSDカード内に記録されているSD動画/静止画の続きの番号になる。 通し番号：ファイル番号は最後に記録したSD動画/静止画の続きの番号になる。	190
	📷ファイル 付加*1	入、切	入にすると、静止画と一緒にカスタムピクチャーが保存される。	
	コピー *7	選択、すべて	現在選択しているSDカードの静止画を選択してコピーするか、すべてコピーするかを選ぶ。	161
	消去*7	選択、すべて	現在選択しているSDカードの静止画を選択して消去するか、すべて消去するかを選ぶ。	161
Custom Function*1	ショックレスWB	入、切	入にすると、ホワイトバランスを切り換えたいときに値をなめらかに変化させる。	75
	AEレスポンス	ハイ、ノーマル、 スロー	AEの応答性を選ぶ。	128
	グリップ電子 ダイヤル方向	リバース、 ノーマル	グリップ電子ダイヤルの操作方向を選ぶ。	72
	電源オフ時の レンズ収納	入、切	次のレンズを使用時、レンズのフォーカスモードスイッチをAFにして電源を切ると、自動的にレンズの全長を最短に収納できる。 ● EF40mm F2.8 STM ● EF-S 24mm F2.8 STM ● EF50mm F1.8 STM	128
	フォーカス アシストB&W	両方、 Magnify、 Peaking、 切	フォーカスアシスト機能（ピーキング、拡大表示）を使うときに、画面を自動的にモノクロにするかどうかを設定する。記録される映像や外部出力には影響しない。 Magnify：拡大表示を使用時に画面をモノクロにする。 Peaking：ピーキングを使用時に画面をモノクロにする。 両方：拡大表示またはピーキングを使用時に画面をモノクロにする。	82

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
Custom Function* <sup>1</sup>	Magnification連動	Peaking、 Edge Mon.、 <b>切</b>	拡大表示を使用時にピーキングまたはエッジモニターも同時に表示するかを選ぶ。	82
	スキャン リバーズ記録	両方、 垂直、 水平、 <b>切</b>	映像を反転させて記録する。反転のしかたは3種類から選べる。 両方：上下左右反転 垂直：上下反転 水平：左右反転	40
	表示文字記録	入、 <b>切</b>	入にすると、画面上に表示されている文字やアイコンなどを映像に重ねて記録する。	—
	🔒START/STOP	入、 <b>切</b>	POWER(電源)スイッチを🔒(キーロック)にしているときにSTART/STOPボタンを有効にするかどうかを設定する。	57
アワーメーター リセット		<b>Cancel、 OK</b>	ビデオカメラ本体の使用時間として、購入時からの使用時間と、最後にこの設定でリセットしたときからの使用時間とがある。アワーメーターリセットでは、最後にリセットしたときからの使用時間をリセットする。	187
Media初期化	📁A	<b>完全初期化、 高速初期化</b>	📁Aスロットに入っているSDカードを初期化する。	48
	📁B	<b>完全初期化、 高速初期化</b>	📁Bスロットに入っているSDカードを初期化する。	
Lens Firmware* <sup>1</sup>		—	本機でレンズのファームウェアの更新を行う。	37
Firmware* <sup>1</sup>		バージョン番号	ファームウェアのバージョン。	—

\*<sup>1</sup> カメラモードのみ。

\*<sup>2</sup> メディアモードの静止画インデックス画面以外。

\*<sup>3</sup> メディアモードのオリジナルインデックス画面のみ。

\*<sup>4</sup> メディアモードのSD動画インデックス画面のみ。

\*<sup>5</sup> メディアモードのショットリストインデックス画面のみ。

\*<sup>6</sup> メディアモード(静止画インデックス画面/再生を除く)のみ。

\*<sup>7</sup> メディアモードの静止画インデックス画面のみ。

## ★ マイメニュー

CAMERA MEDIA

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
編集	登録	Cancel、 OK	任意のメニュー項目を登録する。	30
	並べ替え	Cancel、 OK	マイメニュー内で、選択したメニュー項目を並べ替える。	31
	消去	Cancel、 OK	マイメニュー内の選択したメニュー項目を消去する。	31
	設定初期化	Cancel、 OK	マイメニュー内のすべてのメニュー項目を消去する。	31

# その他

ステータス画面を表示する.....	182	日常のお手入れ.....	205
ファイル番号をリセットする.....	190	アクセサリ紹介.....	206
トラブルシューティング.....	191	主な仕様.....	207
エラーメッセージ.....	196	索引.....	214
安全上のご注意.....	199	保証書と修理対応.....	219
取り扱い上のご注意.....	201		

# ステータス画面を表示する

CAMERA MEDIA

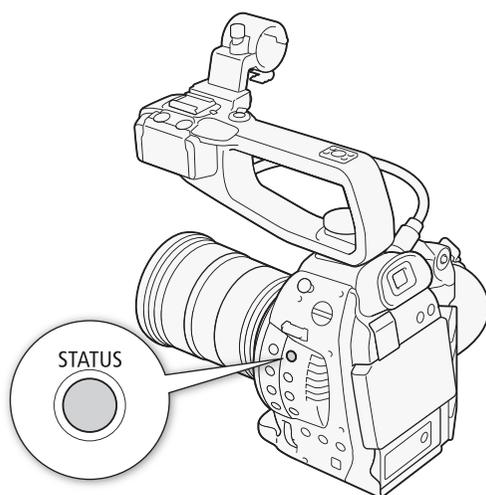
撮影や再生に関する様々な設定内容や状態をステータス画面に表示して確認することができます。ステータス画面は、外部モニター（ 145）に出力することもできます。次にあげるステータス画面を表示することができます。なお、ステータス画面ではすべて英語で表示されます。

ステータス画面の名称	表示内容	動作モード		
		カメラ	メディア	
カメラ	ISO感度／ゲイン、アイリス、周辺光量補正などの撮影設定とレンズ型名情報。	●	—	183
アサインボタン	アサインボタン設定。2つの画面からなる。	●	●	184
オーディオ	オーディオ設定。	●	●*	185
メディア	SDカードの状態。	●	●	186
ビデオ	ビデオ出力端子の設定やプレ記録の設定。	●	●	187
バッテリー／使用時間	バッテリーの残量・寿命や本体の使用時間。	●	●	187
カスタムピクチャー	カスタムピクチャーの設定。3つの画面からなる。	●	—	188

\* メディアモードの静止画インデックス画面以外。

## ■ 操作のしかた

ここでは、ステータス画面の表示のしかた、確認したい画面への切り換えかた、ステータス画面の消しかたを説明します。



STATUS



### 1 STATUS(ステータス)ボタンを押す

- ステータス画面が表示される。
- 最後にステータス画面を消したときの画面が表示される。



### 2 ジョイスティックを上下に押す

- 下に押すと次の画面に、上に押すと前の画面に、ステータス画面が切り換わる。

STATUS



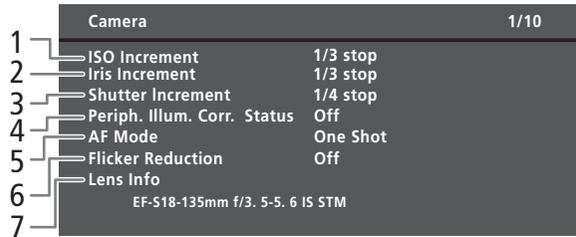
### 3 STATUS(ステータス)ボタンを再度押す

- ステータス画面が消える。
- MENU (メニュー) ボタンやCUSTOM PICTURE (カスタムピクチャー) ボタンを押しても、ステータス画面が消え、押したボタンに応じたメニューが表示される。

## ■ カメラステータス画面

CAMERA MEDIA

ISO感度/ゲイン、アイリス、シャッタースピードや周辺光量補正などの撮影設定とレンズ型名情報を表示します。



- 1 ISO感度/ゲインステップ ▶▶ 68
- 2 アイリスステップ ▶▶ 72
- 3 シャッターステップ ▶▶ 65
- 4 周辺光量補正 ▶▶ 35

- 5 AFモード ▶▶ 79
- 6 フリッカー低減 ▶▶ 67
- 7 レンズ型名情報 ▶▶ 34

## ■ アサインボタンステータス画面

CAMERA MEDIA

アサインボタンに割り当てられている機能の一覧を表示します。

### アサインボタン1画面の表示内容

アサインボタン1～8 ▶▶ 112

Assign Button 1/2		2/7
1	(NONE)	
2	(NONE)	
3	(NONE)	
4	(NONE)	
5	(NONE)	
6	(NONE)	
7	MAGN.	
8	MAGN.	

\* アサインボタン1～6は、カメラモードのみ。

### アサインボタン2画面の表示内容

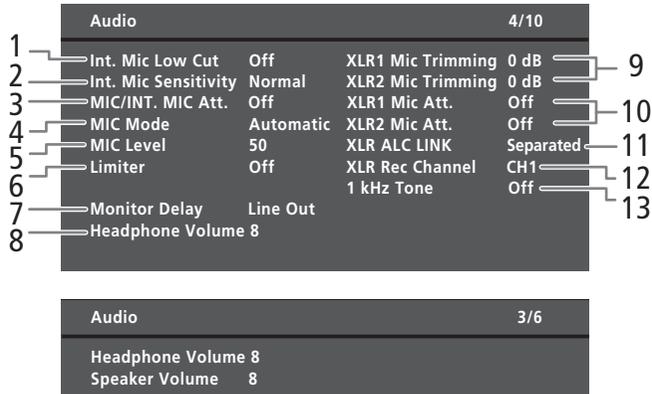
アサインボタン9～15 ▶▶ 112

Assign Button 2/2		3/7
9	PEAKING	
10	ZEBRA	
11	WFM	
12	PUSH AUTO IRIS	
13	ISO/GAIN	
14	SHUTTER	
15	ONE-SHOT AF	

## ■ オーディオステータス画面

CAMERA MEDIA

音声の記録、入出力などオーディオ関係の設定内容を表示します。

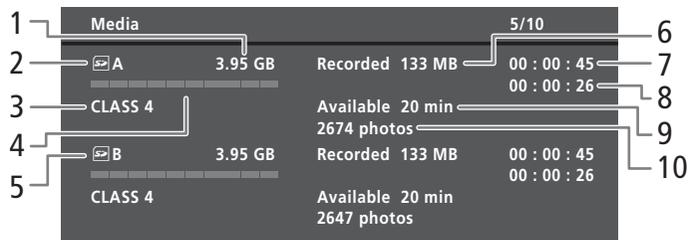


- |                                    |                        |
|------------------------------------|------------------------|
| 1 内蔵マイク特性 ▶▶ 96                    | 7 音声出カタイミング ▶▶ 149     |
| 2 内蔵マイク感度 ▶▶ 96                    | 8 ヘッドホンボリューム ▶▶ 100    |
| 3 内蔵マイク/<br>Φ3.5mmマイクアッテネーター ▶▶ 96 | 9 XLRマイク感度 ▶▶ 99       |
| 4 MICモード ▶▶ 94                     | 10 XLRマイクアッテネーター ▶▶ 99 |
| 5 MIC録音レベル ▶▶ 94                   | 11 XLR録音レベル連動 ▶▶ 98    |
| 6 オーディオリミッター ▶▶ 99                 | 12 XLR録音チャンネル ▶▶ 97    |
|                                    | 13 1 kHzテストトーン ▶▶ 102  |

## メディアステータス画面

CAMERA MEDIA

SDカードスロットの状態を表示します (p.47)。



- 1 SDカードAの総容量
- 2 SDカードA
- 3 SDカードAのスピードクラス
- 4 SDカードAの使用量の目安
- 5 SDカードB
- 6 SDカードAの使用量
- 7 クリップの総記録時間\*1
- 8 ショットの総記録時間\*1
- 9 SDカードAの記録可能時間\*2
- 10 SDカードAの静止画記録可能枚数\*2

\*1 常時記録モード中のみ。

\*2 SD動画インデックス画面、静止画インデックス画面では表示されません。



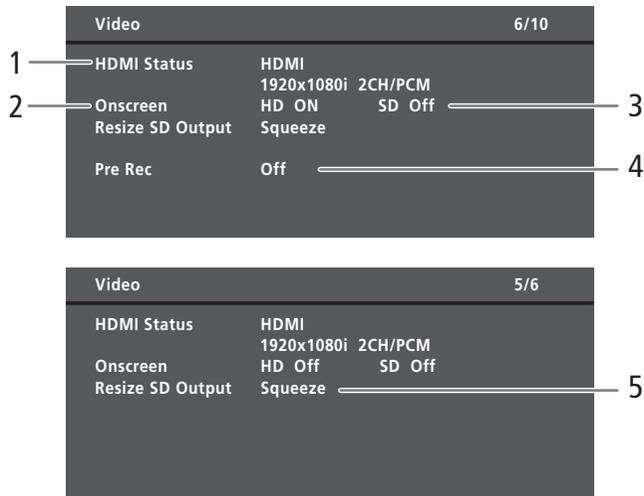
### MEMO

- SDカードによっては、SDカードの総容量が、SDカードに記載の容量より少なく表示されることがあります。
- 「リレー記録」や「ダブルスロット記録」が「切」のときやメディアモード時は、アクセスしているSDカード状態が表示されます。

## ■ ビデオステータス画面

CAMERA MEDIA

ビデオ出力端子の設定内容を表示します。



1 HDMI OUT端子の出力状態 ▶▶ 146

2 HDオンスクリーン表示 ▶▶ 148

3 SDオンスクリーン表示 ▶▶ 148

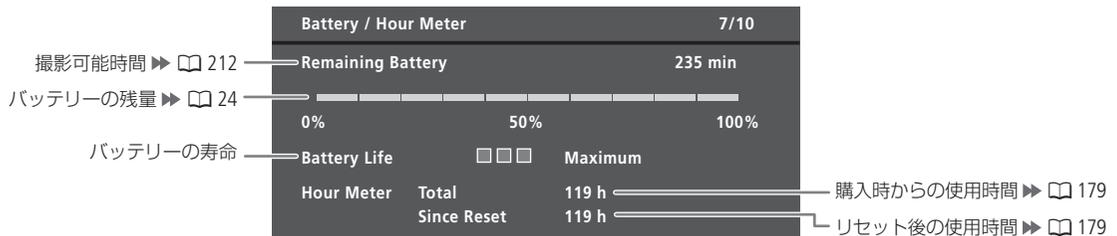
4 プレ記録 ▶▶ 106

5 SD出力の表示方式 ▶▶ 147

## ■ バッテリー／使用時間ステータス画面

CAMERA MEDIA

バッテリーの残量や寿命を表示します。また、本体のご購入時からの使用時間と、最後にリセットしたときからの使用時間を表示します。



撮影可能時間 ▶▶ 212

バッテリーの残量 ▶▶ 24

バッテリーの寿命

購入時からの使用時間 ▶▶ 179

リセット後の使用時間 ▶▶ 179

## ■ カスタムピクチャステータス画面

CAMERA MEDIA

現在選択しているカスタムピクチャーファイルの設定内容を表示します。

### カスタムピクチャー 1画面の表示内容

CP Data 1/3		8/10			
1	CP000003				
2	Gamma	Normal 1	Low Key Satur.	Off	Lvl ±0
3	Black	MP ±0			
4	Master Black	R ±0	G ±0	B ±0	
5	Black Gamma	Lvl ±0	Range ±0	Point ±0	
6	Knee	On	Slp ±0	P 95	Sat ±0
7	Skin Detail	Off	H ±0	C 16	A 16 Y 16
8	Selective NR	Off	H 0	C 16	A 16 Y 16
					9

- 1 カスタムピクチャーファイル名 ▶▶ 121
- 2 ガンマ ▶▶ 122
- 3 ブラック ▶▶ 122
- 4 マスターブラック ▶▶ 122
- 5 ブラックガンマ ▶▶ 123

- 6 ニー ▶▶ 123
- 7 スキンディテール ▶▶ 125
- 8 セレクティブNR ▶▶ 125
- 9 ローキーサチュレーション ▶▶ 123

### カスタムピクチャー 2画面の表示内容

CP Data 2/3		9/10			
Sharpness	Lvl ±0	HD Frq ±0	HV Bal ±0	Lim ±0	} シャープネス ▶▶ 124
	Sel 0	Knee Apt.	Gain 0	Slope 1	
Lvl Dpnd	Lvl 0	Slope 0	Ofst 0		
Coring	Lvl ±0	Ofst 0	Curve 0	Depth ±0	} ノイズリダクション ▶▶ 125
Noise Reduction	Off				
Color Matrix	Sel	Normal 1	Gain ±0	Phase ±0	} カラーマトリックス ▶▶ 125
	R-G	±0	G-R ±0	B-R ±0	
	R-B	±0	G-B ±0	B-G ±0	

カスタムピクチャー 3画面の表示内容

CP Data 3/3		10/10			
ホワイトバランス ▶▶ 126	White Balance	R Gain ±0	B Gain ±0		
カラーコレクション ▶▶ 126	Color Correction	Off			
	Area A Setting	P 0	C 16	A 16	Y 16
	Area A Revision	Lvl ±0	P ±0		
	Area B Setting	P 0	C 16	A 16	Y 16
	Area B Revision	Lvl ±0	P ±0		
100%クリップ ▶▶ 126	Other Functions	Setup Level	Lvl ±0	Press	Off
		Clip At	100% Off		
				セットアップレベル ▶▶ 126	

# ファイル番号をリセットする

CAMERA MEDIA

個々のSD動画/静止画に付けられる番号（ファイル番号）の付けかたを選びます。撮影されたSD動画/静止画は、自動的に101-0101、101-0102、101-0103のように順に番号が付けられ、SDカード内のフォルダーに保存されます。

ファイル番号の付けかたには次の2種類があります。通常は「通し番号」に設定しておくことをおすすめします。

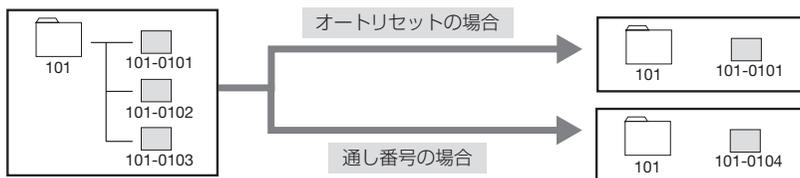
**オートリセット：** 初期化されたSDカードに記録する場合、ファイル番号は常に101-0101から始まる。SDカード内にすでにSD動画または静止画が記録されているときは、その続きの番号になる。

**通し番号：** ファイル番号は、最後にSD変換したSD動画または最後に記録した静止画の続き番号から始まる。ただし、SDカード内に記録されているファイル番号のほうが大きいときは、その続き番号になる。パソコンで管理するときなどに便利。

ファイル番号は、SDカード内に作られるフォルダーの番号（上3桁）とSD動画/静止画固有の番号（下4桁）をあらわしています\*。1つのフォルダーにはSD動画と静止画合わせて100個までのファイルを保存でき、それを超えると自動的にフォルダーが作成されます。

\* ファイル番号の範囲は、上3桁が101～998、下4桁が0101～9900です。

例：3枚記録したSDカードを、別のSDカードに入れ換えて記録する場合



例：静止画の画面



## ① 静止画のとき

その他機能メニュー ▶ 「静止画」 ▶ 「ファイル番号」を順に選ぶ。

## SD動画のとき

SD動画インデックス画面で、その他機能メニュー ▶ 「ファイル番号」を順に選ぶ。

② 「オートリセット」または「通し番号」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。



## MEMO

SD動画/静止画が記録されたSDカードをパソコンで見ると、ファイル番号が「101-0107」のSD動画または静止画の場合、「DCIM ¥101CANON」というフォルダーの中に「MVI\_0107.MPG」または「IMG\_0107.JPG」というファイル名で表示されます。

# トラブルシューティング

修理に出す前にこの「トラブルシューティング」で説明する内容をもう一度確認してください。それでも直らないときは、お客様相談センター（裏表紙）にご相談ください。

## 電源

こんなときは	どうするの？	□
電源が入らない。 途中で電源が切れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。</li> <li>● バッテリーを正しく取り付け直す。</li> </ul>	22
起動直後に電源が自動的に切れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機で使用できないバッテリーを取り付けた。本機に対応するバッテリーに交換する。</li> </ul>	206
バッテリーが充電できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● バッテリーの温度が0℃未満になったかまたは40℃を超えている。0℃未満のときはバッテリーを温めてから、40℃を超えたときは放置して40℃以下になってから、充電を開始する。</li> <li>● 周囲の温度が0℃～40℃のときに充電する。</li> <li>● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。</li> </ul>	22
常温でバッテリーの消耗が極端に早い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● バッテリーの寿命の可能性がある。バッテリーステータス画面でバッテリーの寿命を確認し、寿命がないときは、新しいバッテリーを購入する。</li> </ul>	187

## 撮影中

こんなときは	どうするの？	□
ビデオカメラ本体の操作が利かない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● グリップ接続プラグの接続が十分でない。グリップを取り付けるときは、接続プラグが奥までしっかり差し込まれていることを確認する。グリップの角度を変えるとときは、接続プラグがしっかり接続されていることを確認する。</li> <li>● POWER(電源)スイッチを<math>\mathbb{L}</math>(キーロック)にしていると、START/STOPボタン以外は操作できない*。POWER(電源)スイッチをCAMERAにする。 * その他機能メニュー &gt; 「Custom Function」 &gt; 「<math>\mathbb{L}</math> START/STOP」を「入」にしていると、START/STOPボタンも無効になる。</li> </ul>	43
START/STOPボタンを押しても録画しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SDカードに空き容量がない。または3999クリップ記録されている。別のSDカードと入れ換える。または不要なクリップを消すか、記録されているクリップをバックアップして初期化する。</li> <li>● ハンドルユニットのロックレバーが<math>\mathbb{L}</math>側になっていると、ハンドルユニットのSTART/STOPボタンを押すことができない。ロックを解除する。</li> </ul>	46 139 151 48 57
START/STOPボタンを押した時点と、記録されたクリップの始めと終わりの時点が異なる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● START/STOPボタンを押してから、録画の開始/終了までに、多少時間がかかることがある。故障ではない。</li> </ul>	—
ピントが合わない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ファインダーの視度が合っていない。視度調整レバーで画面がはっきり見えるように調整する。</li> <li>● レンズが汚れているのでお手入れする。</li> </ul>	39 205

こんなときは	どうするの？	📖
被写体が横切るとき、被写体がゆがんで見える。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、本機の前を被写体が素早く横切ると、少しゆがんで見えることがある。故障ではない。	—
画面に赤、緑、青の輝点が出る。	● 高度な精密技術で作られている撮像素子 (CMOSセンサー) が、宇宙線などの影響を受けると、まれに画面上に小さな輝点 (赤、緑、青) ができることがある。これは、撮像素子の原理によるもので、故障ではない。ブラックバランス調整を行うと改善することがある。なお、次の場合は画面上に生じる輝点が見えやすくなる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高温の場所で使用するとき。</li> <li>● ISO感度/ゲインが高いとき。</li> <li>● シャッタースピードのモードがスローのとき。</li> </ul>	52
画面に通常出ない映像が出て、動画を正しく記録できない。	● 消耗したバッテリーを装着し、ACアダプターをつないで動画記録中にACアダプターが抜かれた。または、停電した。ACアダプターを再度つないで本機の電源を入れ直すか、十分に充電したバッテリーと交換する。	23 25
動画の「● REC」 / 「STBY」の切り換えに時間がかかる。	● クリップ数が多いとこのようになることがある。別のSDカードと入れ換えるか、クリップをバックアップしてSDカードを初期化する。	47 151 48
動画を正しく記録できない。	● 記録や消去を繰り返すと、このようになることがある。SDカードに記録されているクリップをバックアップしたあと、SDカードを初期化する。	151 48
長時間使うと熱くなる。	● 長時間使い続けると熱くなることがあるが、そのまま使用しても問題ない。本機の温度が急激に上昇したり、持てないほど熱くなったときは故障の可能性はある。お客様相談センターにご相談ください。	裏表紙

## 再生中

こんなときは	どうするの？	📖
クリップまたは静止画の消去ができない。	● 他機でプロテクトされたクリップや静止画は本機では消去できない。 ● SDカードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、ロックを解除する。	47
クリップの消去に時間がかかる。	● クリップ数が多いとこのようになることがある。クリップをバックアップしてSDカードを初期化する。	151 48
クリップをコピーできない。	● コピー先となるSDカードの空き容量が足りないか、または記録可能なクリップ数 (3999個) を超えた。SDカードの不要なクリップを消すか、別のSDカードと入れ換える。	139 47
クリップまたは静止画を選択できない。	● クリップや静止画は、100個を超えて選択できない。「選択」ではなく「すべて」を使う。	139 161

## ■ 表示やランプ

こんなときは	どうするの？	□□
画面で  が赤く点灯する。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。	22
画面に  が出る。	● 本機と通信できないバッテリーが取り付けられているため、使用可能時間を表示できない。	—
タリーランプが点灯しない。	● その他機能メニュー ▶ 「タリーランプ」で、「前部」または「後部」を「入」にする。	176
タリーランプが速く点滅する。	 (1秒に4回の点滅) ● バッテリーが消耗している。十分に充電されたバッテリーと交換する。 ● SDカードAとSDカードBに空き容量がない。別のSDカードと入れ換えるか、不要なクリップを消す。 ● システムエラーが発生している。電源を入れなおしても解決しないときは、故障の可能性がある。お客様相談センターにご相談ください。	22 47 139 裏表紙
タリーランプがゆっくり点滅する。	 (1秒に1回の点滅) ● SDカードAとSDカードBを合わせた空き容量が少なくなっている。	47
 が赤く点灯する。	● SDカードエラー。電源を切り、SDカードを出し入れする。それでも赤く点灯しているときは、SDカードを初期化する。 ● SDカードに空き容量がない。別のSDカードと入れ換えるか、不要なクリップや静止画を消す。	47 48 160
撮影を中断してもアクセスランプが赤く点灯している。	● 撮影したクリップをメモリーに書き込んでいる。故障ではない。	—
画面に  (黄色)が出る。	● 本機内部の温度が高くなり一定の温度に達した。そのまま使用しても問題ない。	45
画面に  (赤色)が出る。	● 画面に  (黄色)が出ている状態で、さらに内部温度が高くなった。その他機能 ▶ 「ファン」が「Automatic」の場合は、自動的にファンが起動する (画面に  が出る)。	45
画面に  が出る。	● レンズと正常に通信できない。	196

## 画面や音

こんなときは	どうするの？	📖
画面がついたり消えたりを繰り返す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。</li> <li>● バッテリーを正しく取り付け直す。</li> </ul>	22
画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源を取り外し、しばらくしてから取り付ける。それでも解決しないときは、次のいずれかの操作を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源を取り外し、先のとがったものでRESET(リセット)ボタンを押す。カスタムピクチャーとHour Meter(リセット後の使用時間)を除く本機の設定が初期状態に戻る。</li> <li>● その他機能メニュー ▶ 「リセット」 ▶ 「全設定」を行う。Hour Meter(リセット後の使用時間)を除く本機の設定が初期状態に戻る。</li> </ul> </li> </ul>	22 14 175
画面にノイズが出る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 磁石、モーターの近くや電波塔の近くなど、強い時期や電波が発生する場所から離れて本機を使用する。</li> </ul>	—
画面に横帯が出る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、撮影時の照明によっては横帯が見えることがある。故障ではない。カメラ設定メニューの「フリッカー低減」を「Automatic」にするか、電源の周波数に応じたシャッタースピードを設定すると軽減することがある。電源周波数が50 Hzのときは1/50秒*または1/100秒を、60 Hzのときは1/60秒または1/120秒を設定する。 * フレームレートによっては選択できない。</li> </ul>	64
ファインダーに映像が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● メディアモード時、HDMI OUT端子、AV OUT端子にケーブルを接続していると、ファインダーに映像が出ない。端子に接続しているケーブルを抜く。</li> </ul>	—
ファインダーに画面表示が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● カメラモードの「表示文字出力」を「Ext. Out」に設定している。「VF」に設定する。</li> </ul>	148
音声記録されない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● AUDIO IN(音声入力)切り換えスイッチが正しく切り換えられていない。</li> <li>● XLR端子にファンタム電源が必要な外部マイクを取り付けたときに、XLR端子切り換えスイッチを「MIC+48V」に切り換えていない。</li> </ul>	— 97
音声極端に小さい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● AUDIO(録音レベル)切り換えスイッチを「M(マニュアル)」にしていて、録音レベルを上げていない。または、MIC(マイク)端子使用時、オーディオ設定メニュー ▶ 「Audio Input」の「MICモード」を「Manual」に設定していて、「MIC Level」(録音レベル)の値が小さすぎる。液晶画面のオーディオレベルメータで確認しながら適正なレベルに調整する。</li> <li>● 内蔵マイク/外部マイクのアッテネーターを「入」にしている。アッテネーターを「切」にする。</li> </ul>	98 96 99
音がひずんだり、実際より小さく記録される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大きな音の近く(打上げ花火やコンサートなど)で撮影すると、このようになることがある。内蔵マイク/外部マイクのアッテネーターを使うか、録音レベルを手動で調整する。</li> </ul>	96 99 98
映像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スピーカーの音量が「切」になっているので、音量を調整する。</li> <li>● ヘッドホンははずす。</li> </ul>	136

## ■ アクセサリー

こんなときは	どうするの？	□□
SDカードが入らない。	● SDカードを正しい向きで入れる。	47
SDカードに動画または静止画を記録できない。	● 対応しているSDカードを確認する。	46
	● はじめて使用するときは、SDカードを本機で初期化する。	48
	● SDカードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、ロックを解除する。	47
	● SDカードの空き容量がないか、動画の場合、記録可能なクリップ数(3999個)を超えた。SDカードの不要なクリップまたは静止画を消すか、別のSDカードと入れ換える。	139 160 47
SDカードへの書き込み／読み出しが遅くなった。	● SD動画や静止画に割り当てられるファイル番号が最大になったため、SDカードに記録できない。新しいSDカードを入れて、「ファイル番号」を「オートリセット」にする。	190
	● 記録や消去を繰り返すとこのようになることがある。SDカードに記録されている動画や静止画をバックアップしたあと、SDカードを完全初期化する。	48
リモートコントローラー RC-V100 (別売) または市販のリモコンが動作しない。	● ④その他機能メニュー ▶ 「REMOTE端子」を、RC-V100のときは「RC-V100」に、市販のリモコンのときは「Standard」に設定する。	109
	● カメラ設定 ▶ 「CINEMA固定」が「入」か、またはカスタムピクチャーファイルを選んでいないと、RC-V100からカスタムピクチャーの設定を調整できない。「CINEMA固定」を「切」にして、カスタムピクチャーファイル(C1～C9のいずれか)を選ぶ。	115
	● 本機の電源を切ってリモコンを再接続したあと、本機の電源を入れる。	—

## ■ 他機

こんなときは	どうするの？	□□
テレビの放送画面にノイズが出る。	● テレビの近くで使用するときは、テレビやアンテナケーブルからACアダプターを離す。	—
再生しても、外部モニターに映像が出ない。	● 本機と外部モニターとの接続が正しく行われていない。ケーブルの接続を確認する。	145
	● 外部モニターの設定を、接続した端子に切り換える。	—
HDMIケーブルで接続しているとき、外部モニターに映像や音が出ない。	● HDMIケーブルを抜き差しするか、本機の電源を入れ直す。	—
正しく接続しているのにパソコンから本機が認識されない。	● 接続ケーブルを抜き差しし、本機の電源を入れ直す。	—
	● パソコンの別のUSB端子につなぐ。	—
	● ショットリストインデックス画面を表示しているときはUSB接続できない。本体のINDEX(インデックス)ボタンを押して、オリジナルインデックス画面に切り換えてから再度接続する。	133

# エラーメッセージ

本機の画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。

メッセージ	原因と対処	📖
空き容量がありません	● SDカードAとSDカードBを合わせた空き容量がない。別のSDカードと入れ換えるか、不要なクリップを消す。	47 139
空き容量がわずかです	● SDカードAとSDカードBを合わせた空き容量が少なくなっている。記録中ではないスロットのSDカードを別のSDカードと入れ換える。	47
カードカバーがあいています	● カメラモードに切り換えたときに、SDカードカバーが開いていた。SDカードを入れたらSDカードカバーを閉じる。	47
画像がありません	● SDカードに静止画が記録されていない。静止画を記録してから再生する。	154
カメラとレンズの通信不良です レンズの接点を清掃してください	● レンズ接点が汚れているので、本機とレンズが通信できない。レンズ接点をお手入れする。画面に <b>[LENS]</b> アイコンが表示される。	—
記録できません	● 管理情報が壊れた*1か、またはエンコーダーにエラーが発生したため、記録できない。電源を入れなおしてSDカードを出し入れするか、別のSDカードと入れ換える。それでも解決しないときは、お客様相談センターにご相談ください。	47 裏表紙
クリップがありません	● SDカードにクリップが記録されていない。クリップを記録してから再生する。	54
再生できない画像です	● 他機で記録したり、パソコンで作成や加工をしたりした静止画は再生できないことがある。	—
再生できません	● 管理情報が壊れた*1か、またはデコーダーにエラーが発生したため、再生できない。電源を入れなおしてSDカードを出し入れする。それでも解決しないときは、お客様相談センターにご相談ください。	47 裏表紙
操作は無効です	● 次にあげる無効な操作を行った。 • 「プレ記録」や「ダブルスロット記録」で撮影した直後にレックレビューを行おうとした。 • SDカードが入っていないときに、START/STOPボタンを押した。 • 常時記録モードにおいて、記録できない状態*で常時記録停止中のときに、START/STOPボタンを押した。 * 記録メディアに空き容量がない、常時記録数/ショット数の上限に達したのいずれか。	—
バッテリー情報を取得できません	● キヤノンのインテリジェントリチウムイオンバッテリーを取り付けていないときは、バッテリー情報を表示できない。	—
バッテリー情報を取得できません このバッテリーを使用しますか？	● キヤノンのインテリジェントリチウムイオンバッテリーを使用しているときは、ビデオカメラまたはバッテリーの故障の可能性がある。お客様相談センターにご相談ください。	裏表紙
バッテリーパックを取り替えてください	● バッテリーが消耗している。十分に充電されたバッテリーと交換する。	22
ファイル名が作成できません	● フォルダー番号やファイル番号が最大になった。「ファイル番号」を「オートリセット」にしてSDカードを初期化するか、SD動画や静止画をすべて消す。	177 48 161 190
ファンエラー	● ファンが回転していない。冷却ファンが故障した可能性がある。お客様相談センターにご相談ください。	45 裏表紙
プレ記録を解除しました 再設定しますか？	● プレ記録を「入」にして、プレ記録撮影一時停止の状態で約1時間経過したため、プレ記録を解除した。「On」を選ぶと、再度プレ記録一時停止状態になる。	106

\*1 破損した管理情報は修復できません。また、管理情報が破損したSDカード/クリップを、付属のソフトウェアData Import Utilityで読み込むことはできません。

メッセージ	原因と対処	□
プレ記録をまもなく解除します	● プレ記録を「入」にして、プレ記録撮影一時停止の状態約1時間経過したため、約1分後にプレ記録を解除する。	106
レンズエラー 電源を入れなおしてください	● 本機とレンズの通信エラーが発生した。本機の電源を入れ直す。	—
レンズエラー フレームレートを変更してください	● 現在設定しているフレームレートに非対応のレンズが装着された。フレームレートを変更する。	—
50.00 Hz(59.94 Hz)で記録されています A(B)のデータの確認と初期化をお勧めします	● SDカードA(SDカードB)内のクリップが50.00 Hz(59.94 Hz)で記録されている。このSDカードに記録するときは、SDカードに記録されているクリップをバックアップしたあと、SDカードを初期化する。このSDカードを再生するときは、本機の設定を50.00 Hz(59.94 Hz)に変更する。	151 48 61
Lens firmware update ファームウェアのアップデートに失敗しました 再度アップデートを行ってください	● レンズのファームウェアの更新が正常に終了しなかった。再度アップデートを行う。	37
SDスロット切り換えできません	● 撮影中など、SDカードスロットの切り換えができないときにSLOT SELECT(スロット選択)ボタンを押した。撮影終了後にSDカードスロットを切り換える。	49
A(B) (A / B) 1クリップの記録上限です 記録を停止しました	● 1つのクリップ中に記録できる映像ファイルの数* <sup>2</sup> が上限に達したため、記録を停止した。 * <sup>2</sup> 記録中、映像ファイルのサイズが2 GBに達すると自動的に新しいファイルに記録し、最大50個まで記録できる。	—
A(B) 空き容量がありません	● SDカードA(SDカードB)に空き容量がないため記録を開始できない。もう一方のスロットに切り換えてから撮影する。	49
A(B)は修復が必要です カードの誤消去防止ツマミを解除してください	● SDカードA(SDカードB)に記録中に電源が切れた後、SDカードの誤消去防止ツマミをLOCK側にした。誤消去防止ツマミを反対側にする。	48
A(B) (A / B) カードの誤消去防止ツマミを確認してください	● SDカードA(SDカードB)の誤消去防止ツマミがLOCK側になっているため、SDカードに書き込めない。誤消去防止ツマミを反対側にする。	48
A→B(B→A) 切り換えました	● リレー記録またはスロット切り換え操作(SLOT SELECTボタンを押す)により、記録先がSDカードAからSDカードB(SDカードBからSDカードA)に切り換わった。	—
A(B) 記録を中止しました	● 管理情報が壊れた* <sup>1</sup> か、またはエンコーダーにエラーが発生したため、記録できない。電源を入れなおしてSDカードを出し入れするか、別のSDカードと入れ換える。それでも解決しないときは、お客様相談センターにご相談ください。	47 裏表紙
A(B) (A / B) クリップ数がいっぱいです	● 記録中のSDカードがクリップ数の上限(3999個)に達した。もう一方のスロットに切り換えるか、別のSDカードと入れ換える。 ● ダブルスロット記録時に、両SDカードのクリップ数がいっぱいで記録できない。	49 47
A(B) (A / B) クリップ内のショット数がいっぱいです	● 1つの常時記録クリップ内のショット数が上限(950個)に達した。常時記録自体は継続する。常時記録を一度終了し、再び開始する。	107

メッセージ	原因と対処	📖
📄A(📄B) このカードでは動画記録できないことがあります	● スピードクラスに対応していないSDカードまたはスピードクラス2のSDカードを入れた。SDスピードクラス4、6または10のカードを使用する。	46
📄A(📄B) このカードは動画記録できません	● 64MB以下のSDカードは動画の記録・再生ができない。推奨のSDカードを入れる。	46
📄A(📄B) 修復できませんでした	● SDカードA(SDカードB)を修復できなかった。カードに記録されているクリップをバックアップしたあと、SDカードを初期化する。	151 48
📄A(📄B) (📄A / 📄B) ショット数がいっぱいです	● 1枚のSDカードに記録できるショット数の上限 (3999個)に達した。2枚のSDカード使用時は、両方ともショットを記録できなくなる。別のSDカードと入れ換える。	47
📄A(📄B) (📄A / 📄B) 常時記録できません	● SDカード内に記録できる常時記録クリップの上限 (200個)に達した。別のSDカードと入れ換える。	47
📄A(📄B) (📄A / 📄B)にアクセス中です 取り出さないでください	● SDカードにアクセス中に、SDカードカバーをあけた。SDカードカバーを閉める。	47
📄A(📄B)のデータの確認と初期化をお勧めします	● 次の理由によりSDカードA(SDカードB)を使用できない。SDカードに記録されているクリップをバックアップしたあと、SDカードを初期化する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● SDカードに異常があるため、記録・再生できない。</li> <li>● SDカードの情報が取得できない。</li> <li>● パソコンなど他の機器で初期化されている。</li> <li>● SDカード内にパーティションが設定されている。</li> </ul>	151 48
📄A(📄B)は修復が必要です 修復しますか？	● 記録中に停電したなどSDカード内の情報に不具合があるため、修復を行う必要がある。修復を行うときは、「OK」を選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。	51
📄A(📄B) バッファオーバーです 記録を中止しました	● SDカードの書き込み速度が遅いため、SDカードA(SDカードB)の記録を中断した。推奨のSDカードを入れる。	46
📄A→📄B(📄B→📄A) まもなく切り換えます	● SDカードA(SDカードB)の空き容量が少なくなったため、リレー記録によって、約1分後に記録先スロットが切り換わる。	—
📄A(📄B)を確認してください	● SDカードにアクセスできない。SDカードが正しく入っているか、不具合がないか確認する。 ● SDカードにエラーがあり、記録や再生ができない。SDカードを出し入れするか、別のSDカードと入れ換える。	47
	● マルチメディアカードを入れた。推奨のSDカードを入れる。 ● メッセージが4秒後に消えて、SDカードAまたはSDカードBのアクセスランプが赤く点灯するときは、電源を切り、SDカードを出し入れする。SDカードAまたはSDカードBのアクセスランプが緑に点灯すれば、そのまま記録や再生ができる。それでも赤く点灯しているときは、動画と静止画をバックアップして初期化する。	46

# 安全上のご注意

お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

## こんなときは

- 煙が出ている
- へんなにおいがする
- 落として壊した
- 内部に水や異物が入った

バッテリーを外して、電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると火災や感電の原因になりますので、お客様相談センター（裏表紙）にお問い合わせください。

**警告** 死亡や重傷を負うおそれがある内容です。

内部に異物を入れたり、端子部に金属類をショートさせない。

▶ 火災 感電 けが

雷が鳴っているときには電源プラグに触れない。

▶ 感電



ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。

▶ 感電

ぬらさない。▶ 火災 感電 やけど

降雨降雪時、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は特に気をつける。

液漏れしたバッテリーは使用しない。

▶ 皮膚の損傷 失明 発火

液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐに医師に相談。

分解や改造をしない。

▶ 発熱 感電 火災 けが



強い衝撃や振動を与えない。

▶ 火災 やけど けが

ストラップ使用時は特に注意する。液晶画面やレンズは割れるとけがの原因。

電源コードについて次のことを守る。

▶ 火災 感電

- 傷つけない
- 加工しない
- 無理に曲げない
- 引っ張らない
- 熱器具に近付けない
- 加熱しない
- 重いものを載せない



バッテリーを熱しない、火中投入しない。

▶ やけど けが

バッテリー端子部に金属のキーホルダーやヘアピンなどを接触させない。

▶ やけど けが

ショートして、高熱や液漏れのおそれあり。

充電中、長時間にわたる接触をしない。

▶ 低温やけど

海外旅行者用の電子式変圧器や、航空機・船舶・DC/ACコンバーターなどの電源につながない。表示された電源電圧や周波数以外では使用しない。▶ 火災 感電 けが

油煙・ほこり・砂などの多い場所や、風呂場など湿度の高い場所で使用・保管しない。

▶ 火災 感電 やけど

内部にほこりや水などが入るおそれあり。



禁止



禁止

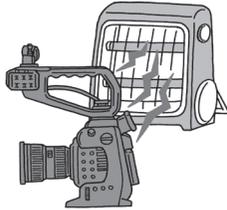


禁止

直射日光下、ストーブ・照明器具のそばなど60℃以上になる高温の場所や、炎天下の密閉された車中に置かない。

▶ 火災 やけど けが

発熱や破裂のおそれあり。



運転中に使用しない。▶ 交通事故

不安定な場所に置かない。

▶ けが

落下、転倒のおそれあり。



乳幼児の手の届くところに置かない。

▶ 感電 けが



禁止

ふとんやクッションなどをかけたまま使用しない。

▶ 火災

内部に熱がこもるおそれあり。



指定された機器を使う。

▶ 火災 感電 けが

電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。▶ 火災

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

▶ 火災 感電

コンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜く。▶ 火災 感電

撮影しているときは、周囲の状況に注意する。▶ けが 交通事故



強制

**⚠ 注意** 傷害、物的損害を負うおそれがある内容です。



強制

コード類は、つまずかないように配置する。

▶ けが

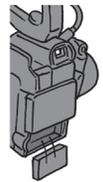
足を引っ掛けて転倒したり、製品が落下するおそれあり。

バッテリー、ショルダーストラップ、グリップベルトなどは脱落しないように確実に取り付ける。▶ けが



強制

バッテリーやレンズなどを取り外すときは、落とさないように気をつける。▶ けが



飛行機内で使用するときは、乗務員の指示に従う。

機器から出る電磁波により、飛行機の計器に影響を与えるおそれ。

使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。▶ 火災

# 取り扱い上のご注意

ここでは本機やバッテリーとメモリーカードなどを取り扱うときに注意していただきたいことを説明しています。

## ■ ビデオカメラ本体

### ホコリなどの多い場所で使わない

ホコリ・砂・水・泥・塩分の多い場所で使用・保管しないでください。これらが内部に入ると故障の原因となります。レンズにホコリや砂が付くのを防ぐため、使用後は、ホコリなどの少ない場所でレンズを外して、必ずボディキャップを取り付けてください。また、本機は防水構造になっていませんので、水中では使用できません。万一水に濡れてしまったときは、早めにお客様相談センター(裏表紙)にご相談ください。また、水滴が付いたときは乾いたきれいな布で、潮風に当たったときは固くしぼったきれいな布でよくふき取ってください。

### 強い磁気の発生する場所では使わない

磁石、モーターの近くや電波塔の近くなど、強い磁気や電波が発生する場所での使用は避けてください。映像や音声が乱れたり、ノイズが入ったりすることがあります。



### 強い光源にレンズやファインダーを向けない

カメラやファインダーを強い光源(晴天時の太陽や人工的な強い光源など)に向けしないでください。撮像素子などの内部の部品が損傷する恐れがあります。特に三脚を使用しているときやショルダーストラップを使って持ち運ぶときは、本体またはファインダーに直射日光などが入らないようにしてください。本機を使用しないときは、レンズを外して、ボディキャップを取り付けてください。

### 液晶画面を...

つかんでもちあげない → 液晶画面の接合部が破損することがあります。  
無理に閉じない → 正しい位置に戻してから閉じないと破損することがあります。



### カメラのレンズ接点に手で触れない

接触不良や腐食の原因になることがあります。接点が腐食するとビデオカメラが正しく動作しなくなることがあります。

### レンズを取り外したときは...

接点やレンズ面を傷つけないように、取り付け面を上にして置き、ダストキャップを取り付けてください。



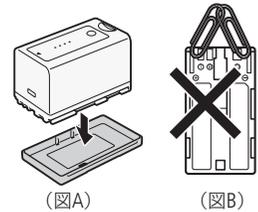
## ■ バッテリー

### 端子はいつもきれいに

バッテリーと本体端子(充電器の端子)の間に異物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の原因となります。

### 保管するときは端子カバーを使う

バッテリーを持ち運ぶときや保管するときは、必ず端子カバーを取り付けてください(図A)。金属などでショートすると高熱や液漏れ、破損の原因となります(図B)。



### 正しく残量表示されないときは

バッテリーをフル充電してください。ただしバッテリーを高温下で長時間使ったり、フル充電後に放置したりすると、正しく表示されないことがあります。使用回数が多いバッテリーも正しく表示されないことがあります。なお、表示は目安としてご使用ください。

### インテリジェントシステム非対応のバッテリーについて

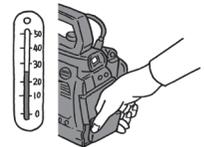
インテリジェントシステムに対応していないバッテリーを本機に取り付けて使用した場合、バッテリー残量は表示されません。

#### 使用時間を長くするコツ

こまめに電源を切り、10℃～30℃のところで使用すると、長く使えます。スキー場などでバッテリーが冷たくなると、一時的に使用時間が短くなりますので、ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

#### 長い間保管するとき

- バッテリーの消耗を防ぐため本体から取り外し、乾燥した30℃以下のところで保管してください。
- バッテリーの劣化を防ぐため、画面に「バッテリーパックを取り替えてください」が表示されるまで使い切ってから、保管してください。
- 1年に1回程度、充電完了まで充電してから使い切ってください。



### 充電済みバッテリーパックの見分けかた

ショート防止用端子カバーには□の穴があり、バッテリーに取り付けるときの向きによって□の穴から見える色が異なります。これを利用して端子カバーを取り付ければ、充電済みバッテリーを見分けることができます。

### 海外で使用するとき

海外でも付属のACアダプター(AC100～240V 50/60Hzまでの電源に対応)を使用できます。お使いになる国のコンセント形状にあった変換プラグを使用してください。

- ACアダプターを変圧器に接続しないでください。故障するおそれがあります。

## ■ SDカード

### データはバックアップする

ビデオカメラ本体／SDカードの故障や静電気などによるデータの損傷・消失に備えて、データはパソコンなどにバックアップしてください。なお、データ損傷および消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

### 端子に触れない

汚れが付着し、接触不良の原因となります。

### 磁気に注意する

強い磁気が発生する場所で使わないでください。



### 高温・多湿の場所に放置しない

### シールを貼らない

SDカード表面にシールなどを貼ると、シールが差し込み口につまるおそれがあります。

### ていねいに扱う

落とす、ぬらす、強い衝撃を与えるなどしないでください。分解は絶対にしないでください。

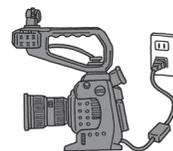


## ■ 充電式内蔵電池

本機には充電式のリチウム電池が内蔵されており、日付などの設定を保持しています。この電池は本機を使用中、自動的に充電されますが、約3か月間使わないと完全に放電してしまいます。このときは次のようにして充電してください。

### 充電のしかた(所要時間:24時間)

- ① 電源を切る。
- ② ACアダプターを使って、本機をコンセントにつなぐ。



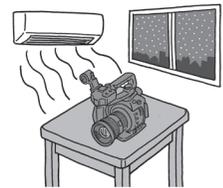
## ■ 其他のご注意

### 情報漏洩に注意（譲渡・廃棄するときは）

SDカードに記録されたデータは、消去や初期化をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消えません。譲渡・廃棄するときは、データを復元できないように、一度SDカードの完全初期化／初期化（ 48）を行った後、本機にボディキャップを取り付けて最後まで撮影し、再度完全初期化／初期化を行います。これによって、情報漏洩を防いでください。

### 結露について

室温が高いとき、冷水の入ったコップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。本機が結露した場合、そのままの状態を使うと故障の原因になりますので注意してください。なお、次のような条件のときに結露が発生しやすくなります。



- 寒い所から急に暖かい所に移動したとき
- 湿度の高い部屋の中
- 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

#### 結露したらどうする？

周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

#### 温度差のある場所へ移動するときは

バッテリーを取り外し、SDカードを取り出して、本機をビニール袋に空気がはいらぬように入れて密閉します。移動先の温度になじんだら袋から取り出します。

本機に付属の電源コードは、本製品専用です。他の機器に使用することはできません。



Li-ion

- 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。  
ホームページ <http://www.jbrc.com>
- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

---

# 日常のお手入れ

大切なビデオカメラをより長くお使いいただくために、日常のお手入れには十分注意してください。

## ■ ビデオカメラ本体を清掃する

### お手入れ

---

製品の汚れは乾いたやわらかい布で軽くふいてください。化学ぞうきんやシンナーなどの使用は、製品を傷めることがあるのでおやめください。

### レンズはいつもきれいに

---

レンズは常にきれいに保つようにしてください。レンズにホコリや汚れがついたときは、最初にブローアールで表面のゴミ、ホコリを取り除き、それから汚れをふき取るようにしてください。

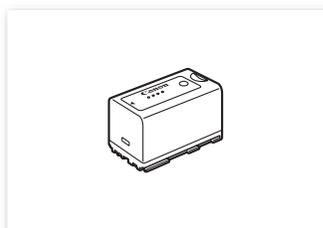
### 液晶画面について

---

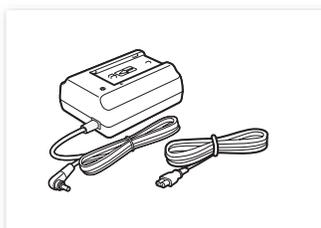
- 汚れたときは市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。
- 温度差の激しいところでは、液晶画面に水滴がつくことがあります。柔らかい乾いた布で拭いてください。

# アクセサリー紹介

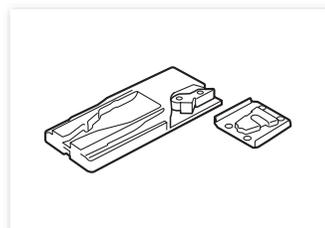
本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用したときに最適な性能を発揮するように設計されておりますので、**キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします**。なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、**弊社では一切責任を負いかねます**。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、**保証の対象外となり有償とさせていただきます**。あらかじめご了承ください。



バッテリーパック  
BP-955\*1



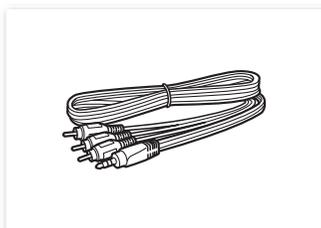
ACアダプター  
CA-935



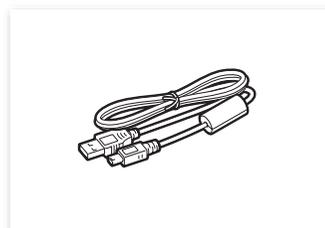
三脚アダプター  
TA-100



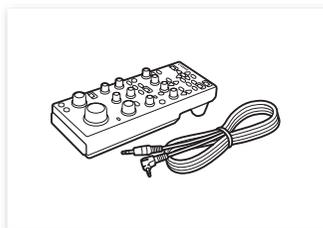
三脚ベース  
TB-1



ステレオビデオケーブル  
STV-250N



USBケーブル (インターフェースケーブル)  
IFC-400PCU



リモートコントローラー  
RC-V100

\*1 このバッテリーパックは、ビデオカメラと通信することにより、バッテリー残量を分単位（目安）で確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリーです。



このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

# 主な仕様

## ■ C100 本体

システム	
記録方式	動画： AVCHD規格 映像圧縮方法：MPEG4-AVC/H.264 音声記録方式：リニアPCM、16bit、48kHz、2ch Dolby Digital 2ch 静止画：DCF準拠、Exif Ver2.3準拠、静止画圧縮方法：JPEG
記録／再生信号形式	24 Mbps LPCM (VBR)、24 Mbps (VBR)、17 Mbps (VBR) : 1920×1080/60i、50i、PF30、PF25、PF24、24P 7 Mbps (VBR) : 1440×1080/60i、50i、PF30、PF25、PF24、24P
記録メディア	SD/SDHC/SDXCメモリーカード*1 (2スロット)
記録時間*2	16GB SDカード (24 Mbps LPCM、24 Mbps、17Mbps、7Mbps) ：約1時間25分、約1時間25分、約2時間5分、約4時間45分 32GB SDカード (24 Mbps LPCM、24 Mbps、17Mbps、7Mbps) ：約2時間55分、約2時間55分、約4時間10分、約9時間35分
撮像素子	スーパー 35mm相当、CMOS(単板)、有効画素：約829万画素 (3840×2160)
液晶画面	ワイドカラー液晶 (3.5型、約92.2万ドット相当、視野率100%)
ビューファインダー	ワイドカラー液晶ファインダー (0.24型、約155.5万ドット相当、視野率100%)
レンズマウント	キヤノンEFマウント、キヤノンEFレンズ群対応 (EF-Sレンズを含む)
35mmフィルム換算時の焦点距離	実焦点距離 (レンズの焦点距離) × 約1.53 (変換係数)
NDフィルター	内蔵 (OFF、2 stops、4 stops、6 stops)、手動式
ホワイトバランス	セットA、セットB、プリセット設定 (太陽光5400K、電球3200K)*3、色温度設定 (2000K～15000K)、オート
アイリス	マニュアル：ステップ (1/2段、1/3段、ファイン)、プッシュオートアイリス、オート
フォーカス	マニュアル、ワンショットAF、コンティニュースAF
ISO感度／ゲイン	ISO感度：ISO320～20000、25600*4～80000*4 ステップ (1段、1/3段) ゲイン：-6 dB～30 dB、33 dB*4～42 dB*4 (ノーマル：3 dBステップ)、 0～24 dB (ファイン：0.5 dBステップ)
シャッタースピード (□ 64)	スピード (1/3段ステップ、1/4段ステップ)、アングル、クリアスキャン、スロー、切
周辺光量補正	キヤノンEFレンズ群で可能*5
感度	<b>59.94 Hz</b> F9 (1920×1080/60i時)、 <b>50.00 Hz</b> F10 (1920×1080/50i時) いずれも、ISO640 (0 dB)、2000ルクス、反射率89.9%時
S/N	54dB (Typical、 <b>59.94 Hz</b> 1920×1080 / PF30時、 <b>50.00 Hz</b> 1920×1080 / PF25時) いずれもISO850、Canon Logガンマ時

\*1 カスタムピクチャーファイル、設定データの保存／読み込みにも使用。

\*2 連続記録したときの記録時間の目安。

\*3 色温度は目安です。

\*4 感度拡張時のみ。

\*5 一部のレンズは対応していません。

被写体照度	<b>59.94 Hz</b> 0.30ルクス (PF30、シャッタースピード1/30秒時) <b>50.00 Hz</b> 0.25ルクス (PF25、シャッタースピード1/25秒時) いずれも24 dB、F1.2レンズ装着時
静止画サイズ	1920×1080

入・出力端子	
HDMI OUT端子	HDMIコネクタ、出力のみ、タイムコード対応
USB端子	mini-B、Hi-Speed USB 対応、出力のみ
映像出力 (コンポジット) 端子	AV OUT端子：Φ3.5 mm 4極ミニジャック (AV兼用)、出力のみ 1 Vp-p / 75 Ω 不平衡
音声出力端子	AV OUT端子：Φ3.5 mm 4極ミニジャック (AV兼用)、出力のみ -10 dB (47 kΩ負荷時、出力レベル設定1 Vrms) / 3 kΩ以下
MIC(マイク)端子	Φ3.5mmステレオミニジャック、 -72 dBV(マニュアルボリュームセンター、フルスケール-18 dB) / 600 Ω Att. : 20 dB
Ω(ヘッドホン)端子	Φ3.5 mmステレオミニジャック -∞~-12 dBV(16 Ω負荷、ボリュームMin ~ Max) / 50 Ω以下
REMOTE端子	Φ2.5 mmステレオミニミニジャック
グリップ接続端子	グリップの接続プラグ専用

電源その他	
電源電圧	公称 DC 7.4 V(バッテリーパック)、DC 8.4 V(DC IN)
消費電力	液晶画面／ファインダー使用時： <b>59.94 Hz</b> 8.1 W、 <b>50.00 Hz</b> 7.6 W ファインダーのみ使用時： <b>59.94 Hz</b> 7.7 W、 <b>50.00 Hz</b> 7.3 W (いずれも、ビットレート24 Mbps LPCM / 24 Mbpsで録画中、ファインダー／液晶画面の明るさノーマル)
動作温度	0 °C ~ +40 °C
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	サムレスト装着時： 約135×170×129 mm グリップ装着時： 約182×170×129 mm サムレスト+ハンドルユニット装着時： 約142×281×236 mm グリップ+ハンドルユニット装着時： 約182×281×236 mm
撮影時総重量	本体、グリップ：約1475 g 本体、グリップ、ハンドルユニット使用時*：約1835 g * いずれもバッテリーパックBP-955、SDカード2枚を含む
本体質量	約1020 g(本体のみ)

## ■ 付属ユニット

グリップ	
ユニットの特徴	着脱可能、15°刻みで回転可能、操作ボタン/ダイヤル
質量	約230 g
ハンドルユニット	
ユニットの特徴	着脱可能、アクセサリースュー、1/4インチハンドルネジ
マイク	ステレオ、エレクトレットコンデンサーマイク
質量	約360 g
XLR端子	XLR(バランス) (①シールド、②ホット、③コールド)、2系統 感度 (MIC時) : -60 dBu(マニュアルボリュームセンター、フルスケール-18 dB) / 600 Ω 感度 (LINE時) : +4 dBu(マニュアルボリュームセンター、フルスケール-18 dB) / 10 kΩ Att. : 20 dB

## ■ 付属品

### ACアダプター CA-935

定格入力	AC 100 ~ 240 V、50/60 Hz アダプターモード時：44VA(AC 100V) ~ 57VA(AC 240V) チャージモード時：38VA(AC 100V) ~ 50VA(AC 240V)
定格出力	アダプターモード時：公称DC8.4V、2.4A チャージモード時：公称DC8.4V、2.0A
使用温度	0℃ ~ +40℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約85×51×110 mm
質量	約345 g

### バッテリーパック BP-955

使用電池	リチウムイオン（インテリジェントリチウムイオンバッテリー）
使用温度	0℃ ~ +40℃
公称電圧	DC 7.4 V
公称容量	5200 mAh
定格（最小）容量	37 Wh / 4900 mAh
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約38.2×43.5×70.5 mm
質量	約220 g

## ■ 対応レンズと機能

ご購入いただいた時期によっては、レンズのファームウェアのアップデートが必要になることがあります。詳細については、お客様相談センター（裏表紙）にお問い合わせください。

レンズ	カメラからのアイリス調整			カメラからのズーム調整	カメラからのフォーカス調整		
	マニュアル	プッシュオート	オート		マニュアル	ワンショット	コンティニューアス
EFレンズ	●	●	—	—	●	●	●*
オートアイリスに対応するEFレンズ	●	●	●	—	●	●	●
EFシネマレンズ	CN20x50 IAS H/E1	●	●	●	●	—	—
	CN7x17 KAS S/E1	●	●	●	●	●	●
	CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S	●	●	●	●	●	●*

\* デュアルピクセルCMOS AFに対応する機種のみ。

### オートアイリスに対応するEFレンズ

- EF-S 10-18mm F4.5-5.6 IS STM
- EF-S 18-55mm F3.5-5.6 IS STM
- EF-S 18-135mm F3.5-5.6 IS STM
- EF-S 55-250mm F4-5.6 IS STM
- EF24-105mm F3.5-5.6 IS STM
- EF-S 18-135mm F3.5-5.6 IS USM

## ■ バッテリーの充電時間／使用時間の目安

### 充電時間の目安

バッテリーパック	BP-955
充電時間* (ACアダプター CA-935を使用時)	約190分

\* 周囲の温度や充電状態によって異なります。

### 使用時間の目安 (液晶画面とファインダーを使用するとき)

システム周波数	ビットレート	使用時間	BP-955
59.94 Hz	24 Mbps LPCM / 24 Mbps	連続撮影時間	約265分
		実撮影時間	約160分
		再生時間	約405分
	17 Mbps	連続撮影時間	約265分
		実撮影時間	約160分
		再生時間	約405分
	7 Mbps	連続撮影時間	約270分
		実撮影時間	約165分
		再生時間	約410分
50.00 Hz	24 Mbps LPCM / 24 Mbps	連続撮影時間	約285分
		実撮影時間	約170分
		再生時間	約410分
	17 Mbps	連続撮影時間	約285分
		実撮影時間	約170分
		再生時間	約410分
	7 Mbps	連続撮影時間	約285分
		実撮影時間	約175分
		再生時間	約410分

使用時間の目安（ファインダーのみを使用するとき）

システム周波数	ビットレート	使用時間	BP-955
59.94 Hz	24 Mbps LPCM / 24 Mbps	連続撮影時間	約280分
		実撮影時間	約170分
	17 Mbps	連続撮影時間	約280分
		実撮影時間	約170分
	7 Mbps	連続撮影時間	約285分
		実撮影時間	約175分
50.00 Hz	24 Mbps LPCM / 24 Mbps	連続撮影時間	約305分
		実撮影時間	約180分
	17 Mbps	連続撮影時間	約305分
		実撮影時間	約180分
	7 Mbps	連続撮影時間	約310分
		実撮影時間	約180分

- \* 実撮影時間とは撮影、撮影一時停止、電源の入／切などの操作を繰り返したときの撮影時間です。
- \* 液晶画面を明るくしていると、バッテリー使用時間が少し短くなることがあります。
- \* 低温下で使用すると、使用時間が短くなります。



**MEMO** バッテリーパックは予定撮影時間の2～3倍分を用意

ビデオカメラの消費電力は、撮影のしかたによって変化します。そのため、バッテリーパックの実際の使用時間は、表記の時間より短くなることがあります。撮影時には、予定撮影時間の2～3倍のバッテリーパックを用意することをおすすめします。

- 接点のあるEFレンズは本機の電源を使用して動作します。使用するEFレンズによっては使用時間が短くなることがあります。

# 索引

## ア

アイリス	71
アクセサリ	206
アサインボタン	112
アスペクト比	147
アワーメーター	179
液晶画面	40
エッジモニター	104
エラーメッセージ	196
オーディオリミッター	99
音声を記録する	92
音声をモニターする	100

## カ

解像度	61
カウントアップ方式	88
拡大表示	82
カスタムディスプレイ	128
カスタムピクチャー	115
カスタムファンクション	128
カラーバー	101
キーロック	57
記録信号形式	61
クリップ	
: インデックス画面	132
: コピーする	138
: 再生する	134
: 消去する	139
グリップ	43
ゲイン	68
結露	204
コンティニューASF	79

## サ

再生	
: 静止画を再生する	156
: 動画を再生する	132

## 撮影

: 静止画を撮影する	154
: 動画を撮影する	54
サムレスト	43
三脚に取り付ける	42
視度調節	39
シネマ	60、118
シャッタースピード	64
周辺光量補正	35
修理対応	219
出力信号形式	144
ジョイスティックガイド	135
仕様	207
使用時間	179、187
常時記録	107
焦点距離	58
ショット	107、139
ショットリスト	133
ズーム	84
スキャンリバーズ記録	179
ステータス画面	182
ストラップ	44
静止画	
: カスタムピクチャーファイルをコピーする	162
: 記録する	154
: 再生する	156
: 消去する	160
接続	
: 音声出力を選択する	149
: 外部モニターを接続する	145
: パソコンに保存する	151
設定データ	129
ゼブラパターン	86
測光方式	74

## タ

タイムコード	88
タイムコードホールド	90
ダブルスロット記録	50
タリーランプ	55
端子カバーを取り付ける／取り外す	45
テストトーン	102

電源	75
: コンセントを使う	25
: バッテリーパックを使う	22
電源を入れる/切る	26
トラブルシューティング	191
ドロップフレーム	89
<b>ナ</b>	
ノンドロップフレーム	89
<b>ハ</b>	
波形モニター	103
バッテリー	
: 残量を確認する	24、187
: 充電時間/使用時間	212
: 充電する	22
: 本体に取り付ける/取り外す	23
ハンドルユニット	38
ピーキング	82
日付・時刻	27
ビットレート	61
ビューアシスト	60
ファイル番号をリセットする	190
ファインダー	
: 調整	39
: 表示	41
ファン	45
ファンタム電源	97
フォーカス	79
フォーカスアシスト	82
ブッシュオートアイリス	73
ブラックバランス	52
フリーラン	88
フリッカーを抑える	67
フレームレート	61
プレ記録	106
ヘッドホン端子	100、136
保存	
: パソコンに保存する	151
ホワイトバランス	75
: 色温度設定	77
: オートホワイトバランス	78
: プリセット設定	77
: ホワイトバランスセット	75
<b>マ</b>	
マーカー	85
マイク	92
マイクの感度	99
マイメニュー	30
メッセージ	196
メニュー	
: 基本操作	28
: メニュー一覧	166
<b>ヤ</b>	
ユーザービット	91
<b>ラ</b>	
リセット	175
リモートコントローラー	109、206
リレー記録	50
レックラン	88
レックレビュー	105、107
レンズファームウェア	37
録音レベル調整	94、98
<b>ワ</b>	
ワンショットAF	79
<b>記号</b>	
+48V	97
<b>その他</b>	
ABB	52
ACアダプター	25
AEシフト	73
Att.	99

AV OUT端子	145
Canon Logガンマ	60、122
CINEMA	60、118
DC IN端子	25
Edge Monitor	104
EFレンズマウント	34
HDMI OUT端子	145
HD ➡ SD変換	140
Hour Meter	179、187
ISO感度	68
LUT	60
MIC(マイク)端子	93
NDフィルター	70
POWER(電源)スイッチ	26
REMOTE(リモート)端子	14
SDカード	47
: 初期化する	48
: SDカードスロット記録方式を選ぶ	50
: SDカードスロットを切り換える	49
: SDカードを入れる／出す	47
: SDカードを修復する	51
SD動画	140
Waveform Monitor	103
XLR端子	92
Ω(ヘッドホン)端子	100、136

---

## 商標について

- SD、SDHC、SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Apple、Mac OSは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- “AVCHD” および “AVCHD” ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- DCFロゴマークは、(社)電子情報技術産業協会 (JEITA)の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。



---

## MPEG-2使用許諾について

個人使用目的以外で、MPEG-2規格に適合した本機を、パッケージメディア用に映像情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許使用許諾を取得する必要があります。この特許使用許諾はMPEG LA, L.L.C., (250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206 USA)から取得可能です。

---

## MPEG-4使用許諾について

This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

C100は、DCFに準拠しています。DCFは、(社)電子情報技術産業協会 (JEITA)で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

本機器は、MicrosoftからライセンスされたexFAT技術を搭載しています。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

# MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

# 保証書と修理対応

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。ここでは修理対応について説明しています。

## ■ 修理対応

### 製品の保証について

- 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間中に本製品が万一故障した場合は、保証書を製品に添付のうえ当該保証期間内にお買い求めの販売店、もしくは弊社修理受付窓口までご持参いただければ、無料で修理いたします。この場合の交通費および諸掛かりはお客様のご負担となります。
- 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容をご覧ください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。保証期間経過後の修理は有料となります。
- 本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地での修理対応はご容赦ください。
- 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害および付随的損害（録画再生に要した諸費用および録画再生による得べかりし利益の喪失、記録されたデータが正常に保存・読み出しができないことによって発生した損害等）については、弊社ではその責任を負いかねますのでご了承ください。

### 修理対応期間について

カメラの修理対応期間は、製造打ち切り後7年です。なお、弊社の判断により保守サービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。その場合、旧製品でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。

### 修理料金について

- 故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。
- 窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

### 修理に出すまえに

- 不具合症状の再現・確認のために、記録メディアをお預かりすることがあります。その場合、修理の前に必ずデータをバックアップしてください。なお、修理によってデータが消去された場合の補償についてはご容赦ください。
- 修理の際、必要最小限の範囲で記録メディア内のデータを確認させていただくことがあります。ただし、データを弊社が複製・保存することはありません。

### 修理を依頼されるときは

修理についてはお買い求めの販売店、もしくはお客様相談センター（「裏表紙」）にお問い合わせください。

- 購入年月日、製品の型名、故障内容を明確にお伝えください。不具合内容を確認の上、修理方法をご案内いたします。
- 修理品を送付される場合は十分な梱包でお送りください。



## 使用方法に関するご相談窓口は

キヤノンお客様相談センター  
**050-555-90006** (全国共通)

平日 9:00～17:00

※土・日・祝日と年末年始、弊社休業日は休ませていただきます。

※上記番号をご利用になれない方は03-5428-1208をご利用ください。

※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってつながらないことがあります。

### ■保証書は製品の箱に添付されています

保証書は必ず「購入店・購入日」等の記入を確かめて、購入店よりお受け取りください。

## CINEMA EOS SYSTEMホームページ

CINEMA EOS SYSTEMのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されておりますので、ぜひお立ち寄りください。

CINEMA EOS SYSTEM製品情報  
[canon.jp/cinema-eos](http://canon.jp/cinema-eos)

キヤノン サポートページ  
[canon.jp/support](http://canon.jp/support)

### ■本書の記載内容は2017年11月現在のものです

製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。ご了承ください。最新の使用説明書については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

# Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社  
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6



リチウムイオン電池のリサイクル  
にご協力ください。